取扱説明書

ナビゲーションシステム

SUZUKI

このたびはお買い求めいただき ありがとうございます

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

特に「安全にお使いいただくために」では、ご本人や他の人々への危害や損害を負うことなく安全にご使用いただくための注意を記述しておりますので必ずお読みください。→ 8 ページ

お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

- 本書の内容の一部は、仕様変更等により、本機と一致しない場合があります。
  あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部は、予告なく変更する場合があります。
  あらかじめご了承ください。
  最新の情報は以下のURLよりご確認ください。

URL: https://www.integrated-infotainment-system.com/portal/user-manual/

- スズキ株式会社が正式に認めていないアフターマーケット製品 / サービスを接続してご使用いただいた際の損害につきましては、スズキ株式会社は一切責任を負いかねます。
- 本書は、インテグレーテッドディスプレイの取り扱いを説明しています。車両本体の「取扱説明書」と併せてお読みください。
  本書の画面と実際の画面は、装備、契約の有無、地図データの作成時期などによって異なります。

お車を第三者に譲渡、売却、廃棄される場合は、お客様の個人情報 及び 著作権保護のため、本機に保存されたすべてのデータの消去（初期化）を行ってください。

■ナビゲーションシステムについて

ナビゲーションシステムは、衛星からの電波を受信して現在地を測位するGNSS（Global Navigation Satellite System：グローバルナビゲーションサテライトシステム）によって、現在地を地図の上に表示しながら目的地までの道案内（ルート誘導）をするものです。

本機は、あらかじめ目的地を指定すれば、目的地までの誘導ルートを自動的に探し出し（国道、主要地方道、都道府県道、主要一般道、高速道、有料道路で自動計算）、画面表示と音声で目的地までの道案内を行います。

ルート誘導時でも、走行中は実際の交通規制が優先されます。必ず道路標識など実際の交通規制に従い、安全を確かめて走行してください。

なお、一方通行・右折禁止などの地図データは鋭意正確性を心がけておりますが、日本全国で数万件以上の膨大なデータベースのため、まれに実際の道路標識と異なる場合があり得ます。

その際は、実際の道路標識などにしたがってください。

■車種およびタイプ別装備について

グレードや装着したオプションなどにより、機能の有無があります。それらの機能は※で説明しています。

目次

1. はじめに

安全にお使いいただくために・・・8

安全に関する表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
警告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
現在地表示と GNSS ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
GNSS について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
起動時の自車位置について ・・・・・・・・・ 10
自車位置のずれについて ・・・・・・・・・・・ 11
お願いとお知らせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
USB 端子のご利用について ・・・・・・・・・ 13
液晶表示について ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
使用環境について ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
ルートについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
適切なルート設定ができない場合について・・・ 14
有料道路の料金表示について ・・・・・・・ 14
地図更新について ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
データの補償に関する免責事項について・・・ 14
補機用バッテリーの取り外しについて・・・ 14
保証期間内の保証に関するご注意 ・・・ 15
著作権について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
オープンソースソフトウェアについて
（メーター／マルチメディア／ナビ）・・・ 15
プローブ情報の利用及び取り扱いについて・・・ 15
安全運転への配慮 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
ルート案内中の音声案内例 ・・・・・・・・・・・ 19
画面の操作方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
表記のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

2. 基本操作

各部の名称と配置 ・・・・・・・・ 22

電源のオン／オフ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

各部の操作 ・・・・・・・・・・・・・・ 23

インテグレーテッドディスプレイ ・・・・・ 23
センターディスプレイと画面の操作 ・・・ 24
画面のレイアウトについて ・・・・・・・・・ 24
画面のレイアウト変更について・・・・・・25
設定のオン／オフ切り換え・・・・・・・・・・25
複数オプションの設定項目の操作・・・・26
リストのスクロール操作・・・・・・・・・・・・27
文字や数字を入力する・・・・・・・・・・・・・27
画面での音量調整・・・・・・・・・・・・・・・・・29
画面の戻り方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
ステアリングスイッチで操作する・・・・・・30
音量を調整する（音量ノブ）・・・・・・・・・・・31
USB 機器を接続する・・・・・・・・・・・・・・・・32
HDMI 機器を接続する ・・・・・・・・・・・・・・・32

ホーム画面とタブの操作・・・・ 33

ホーム画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
メインメニュータブ・・・・・・・・・・・・・・・・・34
クイックアクセスメニュー・・・・・・・・・・・・36
クイックアクセスメニューを表示させる ・・・36
クイックアクセスメニューを操作する ・・・37
格納メニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
格納メニューを表示させる・・・・・・・・・・38
格納メニューを操作する・・・・・・・・・・・・38
タイルに機能を表示させる・・・・・・・・・・・・39
タイルを入れ替える・・・・・・・・・・・・・・・・・40
左右のタブを入れ替える・・・・・・・・・・・・・41
タブの表示順を入れ替える・・・・・・・・・・・・42
アプリタブ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
ステータスバー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44

ナビゲーションの操作 ・・・・ 46

地図画面表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
現在地の表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
地図のスケール（縮尺）を切り換える・・・・48
地図の向きを切り換える・・・・・・・・・・・・・49
目的地を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
地図の動かし方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53

メディアソースを切り換える・・・・ 54

Bluetooth®機器の登録 ・・・・ 55

Bluetooth 機器を登録する・・・・・・・・・・・・・56

Bluetooth 機器のプロファイルを切り換える ···· 59

Apple CarPlay®の操作 ····· 62

Apple CarPlay の接続方法 ····· 62
USB で接続する ····· 62

Android Auto™の操作 ····· 64

Android Auto の接続方法 ····· 64
USB で接続する ····· 64

3. ナビゲーション

ナビゲーションシステムについて ··· 68

ハイブリッドナビ ····· 68

地図画面の各表示について ··· 69

施設情報の見方 ····· 69
　周辺施設を表示する ····· 71
交通情報や走行軌跡などを表示する ··· 72
地図記号・地図表示一覧 ····· 72
ハイウェイモードについて ····· 74
　ハイウェイモードの画面の見方 ····· 74
　設備のマークの表示一覧 ····· 75

目的地を検索する ····· 76

目的地検索画面の見方 ····· 76
文字入力で目的地を検索する ····· 78
電話番号で目的地を検索する ····· 78
住所で目的地を検索する ····· 79
履歴で目的地を検索する ····· 79
マップコードで目的地を検索する ····· 80
おでかけプランで目的地を検索する ··· 80
自宅を目的地に設定する ····· 81
自宅を登録する ····· 81
登録地を目的地に設定する ····· 81
地点を登録する ····· 81
　登録地を編集する ····· 82
　登録地を削除する ····· 82
検索結果リスト画面の見方 ····· 83
　検索結果の表示を変更する ····· 83

目的地の設定 ····· 84

全ルート図表示画面の見方 ····· 84
ルートを設定する ····· 86
ルートの詳細を見る ····· 86
　目的地案内のデモを見る ····· 86
　ルート情報を表示する ····· 87
経由地を追加する ····· 87
ルートオプションを変更する ····· 88
　経由地を編集する ····· 88
　通過する地点を設定する ····· 89
他の経路に変更する ····· 89
出入り口 IC（インターチェンジ）を指定する ···· 90
目的地の詳細情報を表示する ····· 90
ルート案内を開始する ····· 90
ルートを消去して案内を中止する ····· 90

ルート案内 ····· 91

ルート案内画面の見方 ····· 91
ルート案内中の表示について ····· 92
　交差点案内 ····· 92
　立体的な拡大図 ····· 92
音声案内について ····· 93
　都市高速レーン案内 ····· 93
　交差点目印・信号機案内 ····· 93
別のルートを探索する ····· 94

VICS・交通情報 ····· 95

VICS・交通情報を使う ····· 95
VICS・交通情報について ····· 95
タイムスタンプの情報表示について ···· 96
渋滞や規制情報の音声案内について ···· 96
VICS 記号の内容を表示する ····· 96
VICS・交通情報を表示する道路を設定する ···· 97
VICS・交通情報を表示する内容を設定する ···· 97
VICS 図形情報や文字情報を表示する ··· 98
緊急情報の表示について ····· 98
　緊急情報を地図画面から再表示する ··· 98
　緊急情報を設定画面から再表示する ··· 98
気象、災害情報のエリア表示について ···· 99
割込情報（ETC2.0 サービス）の表示について ··· 99
　安全運転支援（ETC2.0 注意警戒情報）
　案内サービス ····· 99
　道路交通情報提供サービス ····· 100
　割込情報（ETC2.0 サービス）を再表示する ···· 100
自動割込を設定する ····· 100
自動割込表示時間を調整する ····· 101
ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする ····· 101
ETC2.0 の個人・プライバシー情報消去について ··· 102
　個人・プライバシー情報の消去方法 ···· 102
新旧ルートを比較して表示する ····· 102

VICS 放送局を選択する ・・・・・・・・・・・・・・ 103
VICS について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 104
知っておいていただきたいこと ・・・・ 104
VICS 記号と表示一覧 ・・・・・・・・・・・・・・ 104
「VICSWIDE」について ・・・・・・・・・・・・・ 106
VICS のメディアについて ・・・・・・・・・・ 106
VICS の運用時間について ・・・・・・・・・・ 106
VICS FM 多重放送を受信できないとき・・・・ 106
VICS の用語について ・・・・・・・・・・・・・・ 106
VICS センター著作権について ・・・・・・ 107
VICS、ETC2.0（ITS スポット）の
問い合わせ先について ・・・・・・・・・・・・ 107
道路管理者からのお知らせとお願い ・・・・ 108
車載器の ID 付きプローブ情報の
利用及び取り扱い方針 ・・・・・・・・・・・・ 108
プローブ情報の利用及び取り扱いについて・・・・ 110
VICS 過去データについて ・・・・・・・・・・ 112

ETC情報を見る ・・・・・・・・・・ 113

ETC カード情報を見る・・・・・・・・・・・・・・・ 114
ETC の利用履歴を見る・・・・・・・・・・・・・・・ 114
プローブ情報アップリンクを設定する・・・・ 115
ETC 情報の表示と音声案内を設定する・・・・ 115

**ナビゲーション機能の地図更新
およびソフトウェア更新 ・・・ 116**

地図およびソフトウェアを更新する・・・・ 116
USB メモリー（パソコン）で更新する ・・・ 116
地図データベースの情報を見る ・・・・・・ 117
地図データベースについて ・・・・・・・・ 117

4. メディア

ラジオを聴く ・・・・・・・・・・・・ 120

ラジオ画面の見方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 120
ラジオを受信する ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 122
バンドを切り換える ・・・・・・・・・・・・・・ 122
リストから選局する ・・・・・・・・・・・・・・ 122
自動で放送局を選ぶ ・・・・・・・・・・・・・・ 122
手動で放送局を選ぶ ・・・・・・・・・・・・・・ 123
放送局をプリセットする ・・・・・・・・・・・・ 123
リストに自動で登録する（オートストア）・・・ 123
リストに手動で登録する・・・・・・・・・・・123

交通情報を聴く ・・・・・・・・・・ 124

交通情報画面の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・124

テレビを視聴する ・・・・・・・ 126

テレビ画面の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・126
チャンネルをプリセットする・・・・・・・・・129
ホームモードでチャンネルプリセットする ・・・・129
ドライブモードでチャンネルプリセットする・・・130
エリアモードでチャンネルプリセットする ・・・・130
番組表から探す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・130

iPodを使う ・・・・・・・・・・・・ 131

iPod の再生と画面の見方 ・・・・・・・・・・・・131
iPod の再生について ・・・・・・・・・・・・・・・133
リストから音楽を再生する・・・・・・・・・133

Bluetooth Audioを使う・・・ 134

Bluetooth Audio の再生と画面の見方 ・・・134
Bluetooth Audio の再生について・・・・・・137
リストから音楽を再生する・・・・・・・・・137

USBメモリーを使う ・・・・・・ 138

USB の再生と画面の見方・・・・・・・・・・・・・138
音楽ファイル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・138
映像ファイル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・141
USB メモリーファイルの再生について ・・・・144
リストからファイルを再生する・・・・・144
再生モードを切り換える・・・・・・・・・・・145

Apple CarPlayで音楽を聴く・・・ 146

Apple CarPlay の再生と画面の見方 ・・・・146
Apple CarPlay での音楽再生について・・・・149

Android Autoで音楽を聴く ・・・ 150

Android Auto の再生と画面の見方 ・・・・150
Android Auto での音楽再生について ・・・・153

HDMIを使う ・・・・・・・・・・・・ 154

HDMI 再生画面の見方 ・・・・・・・・・・・・・・・154

5. 電話

通話する（ハンズフリー） ・・・ 158
携帯電話と本機を接続する ・・・・・・・・・・158
ステアリングスイッチで操作する ・・・・158
電話帳を本機に読み込む ・・・・・・・・・・・・159
電話帳を消去する ・・・・・・・・・・・・・・・・・159
電話をかける ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・160
電話番号を入力して電話をかける・・・・160
リダイヤルする ・・・・・・・・・・・・・・・・・160
電話帳から電話をかける ・・・・・・・・・・161
ワンタッチダイヤルで電話をかける・・・・161
発着信履歴から電話をかける ・・・・・・162
電話を受ける ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・162
通話中の画面について ・・・・・・・・・・・・163
割込着信について ・・・・・・・・・・・・・・・・163
電話着信時に SMS で返信する・・・・・・・・164
SMS の着信を通知する ・・・・・・・・・・・・・164

6. 設定

設定メニューの表示 ・・・・・ 166
設定メニューについて ・・・・・・・・・・・・・・166

車両設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 167

画面設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 168

メディア設定 ・・・・・・・・・・・・ 169

通信設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 173
Bluetooth 機器と接続する ・・・・・・・・・・176
本機を待ち受け状態にして
Bluetooth 機器を登録する ・・・・・・・・・・176
使用する Bluetooth 機器を切り換える ・・・・177
登録した Bluetooth 機器を設定する・・・178
登録した Bluetooth 機器を消去する・・・179

ナビ設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 180
迂回エリアを設定する ・・・・・・・・・・・・・185
迂回エリアを登録する ・・・・・・・・・・・・185
迂回エリアを編集する ・・・・・・・・・・・・186
迂回エリアを削除する ・・・・・・・・・・・・186
逆走注意案内を設定する ・・・・・・・・・・・186
道路形状案内を設定する・・・・・・・・・・・・187
踏切案内を設定する・・・・・・・・・・・・・・・188
合流案内を設定する・・・・・・・・・・・・・・・188
レーン案内を設定する・・・・・・・・・・・・・188
事故多発地点案内を設定する・・・・・・・・・189

システム設定 ・・・・・・・・・・・・ 190
お知らせ設定の項目と条件・・・・・・・・・・・195
スズキコネクトについて・・・・・・・・・・・・・196
スズキコネクトを使う・・・・・・・・・・・・・196
コールセンターに電話する・・・・・・・・・196
通知画面を見る・・・・・・・・・・・・・・・・・・197
壁紙画像をダウンロードする・・・・・・・198
壁紙画像を変更する・・・・・・・・・・・・・・・198
壁紙画像の表示範囲を設定する・・・・・199

7.Apple CarPlay/Android Auto

Apple CarPlayを使う ・・・・・ 202
Apple CarPlay でできること ・・・・・・・・・・203
Siri を起動する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・203
USB で接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・204
Wi-Fi で接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・204
準備する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・204
接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・205

Android Autoを使う ・・・・・ 206
Android Auto でできること ・・・・・・・・・・207
音声認識機能を起動する・・・・・・・・・・・・・207
USB で接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・208
Wi-Fi で接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・208
準備する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・208
接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・209

8. 音声認識

音声認識を使う ・・・・・・・・・ 212
音声認識を起動する・・・・・・・・・・・・・・・・212
音声認識スイッチを押す・・・・・・・・・・・213
ウェイクワードを発話する・・・・・・・・・213
音声認識操作を終了する・・・・・・・・・・・・213

操作中画面の見方 ・・・・・・・ 214

音声コマンド一覧について ・・・ 215

9. カメラ

全方位モニターについて ・・・ 218
映像を表示する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 218
画質を調整する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 218

10. ドライブレコーダーとの連携

ドライブレコーダー画面の見方・・・・ 220

再生リスト画面の見方 ・・・ 221

再生中画面の見方 ・・・・・・・ 222

11. 付録

故障かなと思ったら ・・・・・ 224
共通項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 224
ナビゲーション ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 225
オーディオ共通項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 226
Apple CarPlay ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 226
Android Auto ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 226
FM/AM ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 227
テレビ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 227
USB ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 228
iPhone/iPod ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 228
Bluetooth Audio ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 228
カメラ関連 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 229
電話関連 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 229
ETC 関連・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 230
地図／ソフトウェア更新関連 ・・・・・・・・ 230
ドライブレコーダー関連 ・・・・・・・・・・・・ 231

再生できるUSBメモリー・・・ 232

再生可能な音声ファイルについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 233
音楽データの規格について ・・・・・・・・・・ 233

再生可能な動画ファイルについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 234
動画データの規格について ・・・・・・・・・・・・234

USBで再生できるファイルの種類・・・ 235
オーディオおよびビデオファイルの互換性・・・237
USB メモリーのフォルダー構成・・・・・・・238
本機で MP3・WMA を再生するためのご注意 ・・・238

お手入れ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 239
本体のお手入れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・239

主な仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 240

商標について ・・・・・・・・・・・・ 241

Bluetoothについて ・・・・・・ 243
Bluetooth（ブルートゥース）とは ・・・・243
Bluetooth 機器の取り扱いについて・・・・244

お車を廃棄・譲渡・売却するときは ・・・・・・・・・・・・・・ 245
本機内のデータ消去について ・・・・・・・・・245
データを消去（初期化）する ・・・・・・・・・245

地図データをご利用いただくにあたって ・・・・・ 246
検索に関する注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・246
ルートに関する注意事項 ・・・・・・・・・・・・・246
VICS 情報に関する注意事項 ・・・・・・・・・・248
収録地図データベースに関する注意事項 ・・・・248

VICS情報有料放送サービス契約約款 ・・・・・・・・・・・・・・・ 249
VICS 情報に関する注意事項 ・・・・・・・・・・249

テレビ／ラジオの受信について ・・・・ 252

索引 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 253

はじめに 1

安全にお使いいただくために

安全に関する表示

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
⚠注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

⚠警告

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

安全運転を妨げるような使い方はしない

ナビゲーションは、目的地に到着するまでのサポートをするものです。運転者には、安全運転をして乗員の安全を守る全責任があります。

運転中は常に交通規則にしたがって安全運転を心がけてください。

運転者は運転中に画面を注視しない

前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない

カメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかるおそれがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかるおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。

本製品を液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

電装品を外すなどの作業をする前は、必ず補機用バッテリーのマイナス端子を外す

感電やけがのおそれがあります。また、機器の故障の原因になります。

本製品での誘導情報を救急施設などへの誘導用に使用しない

本製品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また実際の情報と異なる場合があり、そのため予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

実際の交通規制にしたがう

ナビゲーションの画面に表示された地図、一方通行標識、交通規制標識・標示等、またはルート案内（推奨ルートや音声案内）などの情報は、実際の道路状況と異なる場合があります。必ず実際の道路標識、交通状況にしたがって走行してください。交通事故の原因となります。

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。

ヒューズ交換時は専門技術者に交換を依頼し、規定容量品を使用する

規定容量を超えたヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

製品の前面や通風口を塞いだり、紙やフロアマット、布で覆わない

放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

⚠注意

取り付け、取り外しなどの変更や配線は、専門技術者に依頼する

正しく取り付けや配線をしてください。誤った取り付けや配線をすると、運転に支障をきたし事故や故障の原因となります。

本機を車載以外の用途に使用しない

けがや感電の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

操作パネルの上に物を置いたり、強い衝撃を与えない

操作パネルや液晶表示部が故障や破損・変形する原因となります。

- 上に物を置かない
- 手で強く押さない
- ボールペンの先端、ピン、爪の先など、硬いものでこすったり、たたいたりしない
- 水滴やジュースなどの飲み物をかけない

本機を使用するときは、必ず車両を READY ON にする

READY ON 以外で本機を長時間使用すると、補機用バッテリーが放電し、システムのパフォーマンスに影響を与える可能性があります。

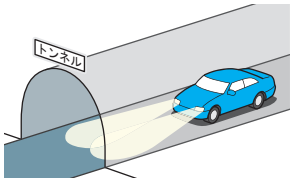
現在地表示と GNSS

本機では、GNSS によって現在地の特定を行っています。

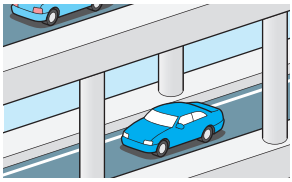
GNSS について

GNSS 衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GNSS（Global Navigation Satellite System：グローバルナビゲーションサテライトシステム）です。本機では、GPS および準天頂衛星システム「みちびき」と GLONASS、Galileo の 4 種の人工衛星からなる GNSS による測位が可能です。
以下のような条件により、位置の特定ができなかったり、位置特定が影響を受けたりすることがあります。

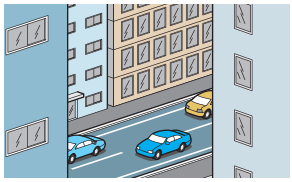
・トンネルや建物内などの屋内



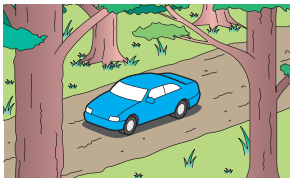
・2 層構造の高速道路の下



・高層ビルなどの高い建物で囲まれた場所



・密集した樹木の間



起動時の自車位置について

- ナビゲーションの起動から現在地の測位に至るまで、周囲の環境や電波の状態、また電源状態によっては数分～数十分程度の時間がかかる場合があります。
- ナビゲーションを起動したとき、始めに表示される現在地は、前回ナビゲーションを終了した時の地点となります。突然の電源断など、始めに表示される現在地が異なる位置となった場合、GNSS 測位開始後に、受信状況に応じた位置が表示されます。

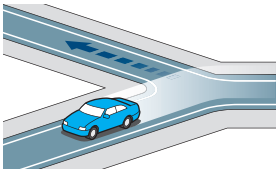
※ 初回起動時は東京駅に設定されています。

自車位置のずれについて

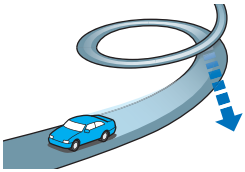
以下のような場合は、自車位置マークが実際の車の位置とずれることがありますが、本機の故障ではありません。

- 起動してすぐのとき。
  本機は、車が走行することにより、そのデータから車が地図を進む距離や方向を学習して認識します。そのため、ある程度の走行データが必要です。しばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。
- 衛星精度が低下したとき。
  GNSS 情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により、測位誤差が大きくなることがあります。その他にも GNSS アンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で一時的に GNSS 衛星からの電波を受信できなくなることがあります。
- その他、以下のような走行環境や GNSS 衛星の状態のとき。

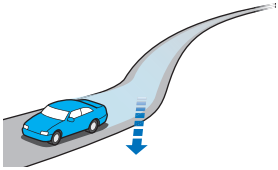
- 角度の小さな Y 字路を走った場合。



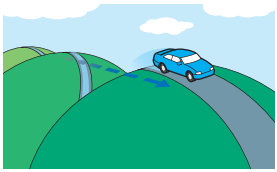
- ループ橋などを通った場合。



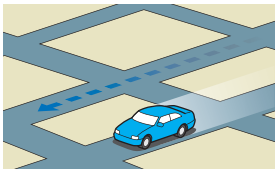
- 直線および緩やかなカーブを長距離走行している場合。



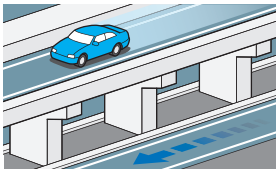
- 勾配の急な坂道など、高低差のある道を走った場合。



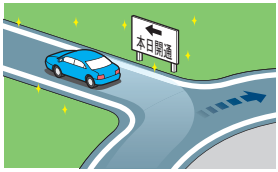
- 碁盤の目状の道路を走った場合。



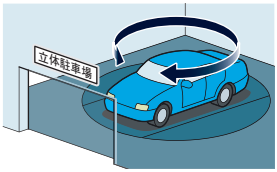
- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。



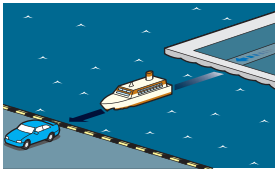
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



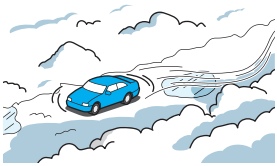
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



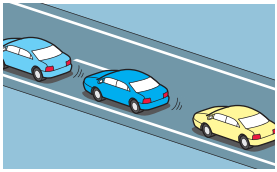
- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。



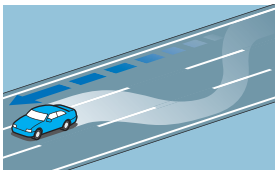
- ヘアピンカーブが続いた場合。



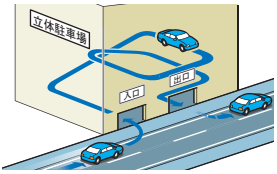
- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



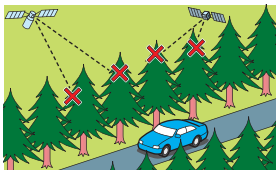
- 蛇行運転をした場合。



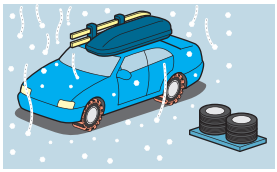
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



- GNSS による測位ができない状態が長く続いた場合。



- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



- 坂道での車庫入れやバンク路を走行している。
- 長時間連続で走行している。
- ホイールスピンなど乱暴な走行をしている。
- 自車位置の移動時に車両の方向が合っていない。
- GNSS 衛星からの受信ができない駐車場で、時速 30 km 以上の速度で走行した場合。
- 起動直後、GNSS 衛星からの受信ができない場所で低速の後退やハンドル操作などで自車方向が変わった場合。

USB 端子のご利用について

-  の付いた USB 端子はスマートフォンなどの充電を目的としたものではないため、製品によっては充電できなかったり、充電に時間がかかる場合があります。
  詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。

液晶表示について

- 画面の中に小さな黒点、輝点が現われる場合がありますが、これは液晶モニター特有の現象で、故障ではありません。
- タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。液晶パネルが汚れた場合は、「本体のお手入れ」（239 ページ）をお読みください。

使用環境について

- 補機用バッテリーあがり防止のため、本機の操作は POWER スイッチが READY ON モードの状態で行ってください。本機は高速 CPU を搭載していますので、ケースが熱くなることがあります。使用中や POWER スイッチをオフにした直後の取り扱いは、十分に注意してください。
- キーを本機に近づけると、本機が動作しなくなる場合があります。また、キーを本機や Bluetooth オーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合がありますので、キーを離してご使用ください。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面や音声が乱れたり、タッチパネルが反応しない場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。

ルートについて

- 検索機能から表示される施設の位置をそのまま目的地に設定した場合、施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。あらかじめご了承のうえ、目的地付近の経路を確かめてください。
- 目的地が片側 2 車線以上の反対側の道路に隣接している場合、目的地の前に到着するように（目的地が自車の左側になるように）ルートを探索します。道路形状によっては目的地に横付けする探索を行うため遠回りのルートを表示する場合があります。
- 音声データにより聞き取りにくい名称があります。
- 提供される VICS 情報は参考情報であり、最新のものではない場合もあります。
- ルート（経路）探索ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して探索してください。詳しくは「目的地の設定」（84 ページ）を参照してください。

適切なルート設定ができない場合について

- 広い施設（広大なショッピングモールなど）を目的地として設定しようとしたとき、駐車場までの適切なルート設定ができない場合があります。

有料道路の料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。
- 一部の有料道路で料金表示ができない場合があります。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所への進入、退出の情報から計算されます。
- 1 つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行うと、2 つ目の区間だけの料金が表示される場合があります。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行うと、料金表示はされず、「不明」と表示される場合があります。（ルートの出発地／目的地が高速（有料）道路上にあるときも、料金の表示は「不明」となります。）
- インターチェンジの出口を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路／有料道路の料金は表示されない場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- 表示される料金は目的地までの残料金であり、支払い料金所を通過することで表示が変わります。
- 新規開通道路または料金非対応路線を含むルートの場合は、「○○円以上」や「不明」と表示される場合があります。

地図更新について

- 本機の地図／ソフトウェアのデータを利用開始日から最大3年間無料で更新できます。詳しくは「ナビゲーション機能の地図更新および ソフトウェア更新」（116 ページ）を参照してください。

データの補償に関する免責事項について

- インテグレーテッドディスプレイ（詳しくは「各部の名称と配置」（22 ページ）を参照してください）は各種データを内蔵メモリーに保存します。インテグレーテッドディスプレイの故障、修理、誤作動、不具合などにより、メモリーに保存されたデータなどが変化、消失することがあります。
- お客様がメモリーに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接または間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。ご了承ください。

補機用バッテリーの取り外しについて

- インテグレーテッドディスプレイは POWER スイッチをオフにするごとに、各種データをインテグレーテッドディスプレイに保存しています。各種データの保存が終わる前に補機用バッテリーを取り外すと、データが正常に保存できないことがあります。

保証期間内の保証に関するご注意

- 保証を受ける際は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 本機の故障により保存できなかったデータ、および消失したデータに関しては、保証しておりません。
- 次のような場合は、保証期間内でも保証は適用されません。
  - お取り扱い上の不注意（車両のオーナーズマニュアルや本書に記載されていない誤った操作、落下、衝撃、水濡れなど）
  - 不当な修理や改造・分解による故障および損傷
  - 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷
  - ご使用後の傷、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷

著作権について

- 本機は許諾契約に基づきスズキ株式会社が使用許諾を受けた第三者が著作権を所有するソフトウェアおよびデータを収録しています。取扱説明書記載内容にて明示的に許諾される場合を除き、本機からのソフトウェア（更新プログラム、データを含む）の取り出し、複製、改変等の行為は法律で固く禁じられています。

オープンソースソフトウェアについて（メーター／マルチメディア／ナビ）

- 本製品に組み込まれたソフトウェアは、オープンソースソフトウェアを含みます。オープンソースソフトウェアの詳細に関しては、以下のウェブサイトをご覧ください。

（https://www.aisin.com/oss/25idsnb/）

プローブ情報の利用及び取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビからプローブ情報を収集する場合における情報の利用や取り扱いについて、次の通りお知らせします。

プローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みにも活用する予定です。

なお、道路管理者はこのお知らせを変更することがあります。この場合には変更後のお知らせを道路管理者 Web サイト等に掲載します。

1．プローブ情報

(1) ここで「プローブ情報」とは、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者が管理する ITS スポット（DSRC 路側無線装置）※1 と無線通信を行うことにより ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビから収集される情報を言います。
なお、このプローブ情報から車両又は個人を特定することはできません。

プローブ情報として収集する情報は次の通りです。※2

- ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカー、型番等）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカー、型番等））
- 車両に関する情報 ※3
- 走行位置の履歴 ※4
- 急な車両の動きの履歴 ※4

※1：道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理する ITS スポットを含みます。

※2：ただし、個別サービスの種類によっては、車載器の ID 付きプローブ情報として収集される情報以外の情報を利用する場合があるため、このようなサービスを利用する場合には、その利用や取り扱いについて、当該サービス提供者の説明を受け、同意した上で当該サービスを利用してください。

※3：車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号又は車両番号の 4 桁の一連番号は含まれないため、車両又は個人を特定することはできません（例：「品川 500 あ 1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

※4：走行開始地点や走行終了地点などの個人情報にかかわる情報は、収集されません。

2．プローブ情報の利用目的

(1) 道路管理者は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサービス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。※5

※5：例えば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ドライバーに情報提供することが考えられます。

(2) 道路管理者は、(1) の目的以外でプローブ情報を利用しません。

3．プローブ情報の収集

(1) 道路管理者は、道路管理者が管理する ITS スポット ※1 によって、プローブ情報を収集する場合があります。

(2) ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ利用者は、設定により、１．(1) で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択することができる場合があります。※6※7　選択の方法は ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビの取扱説明書をご覧下さい。

※6 : カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは該当しません。

※7 : ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、設定により道路管理者への (2) で示す情報の提供を拒否する選択を行えません。

(3) ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供することで、これを利用した様々な追加サービスの提供を受けられる場合があります。

４．プローブ情報の第三者への提供

(1) 道路管理者は、２．(1) の目的のため、プローブ情報を統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

(2) 道路管理者は、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ、ITS スポット等の関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。

(3) 道路管理者は、(1) 及び (2) 以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

５．プローブ情報の取り扱い

(1) 道路管理者は、プローブ情報を安全に管理し、情報の漏えい等の防止に努めます。

(2) 道路管理者は、プローブ情報が不要となった時点で、当該プローブ情報を消去します。

(3) 道路管理者は、プローブ情報の提供先における情報の安全管理について、提供先を適切に指導します。

６．問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室

03-5253-8111(代)

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社

2015 年 7 月改定
2014 年 10 月改定
2010 年 10 月現在

安全運転への配慮

安全運転への配慮から、本機は車を走行中に以下などの操作ができないようになっています。

この点をご理解のうえ、安全運転を心がけてくださるようお願いいたします。

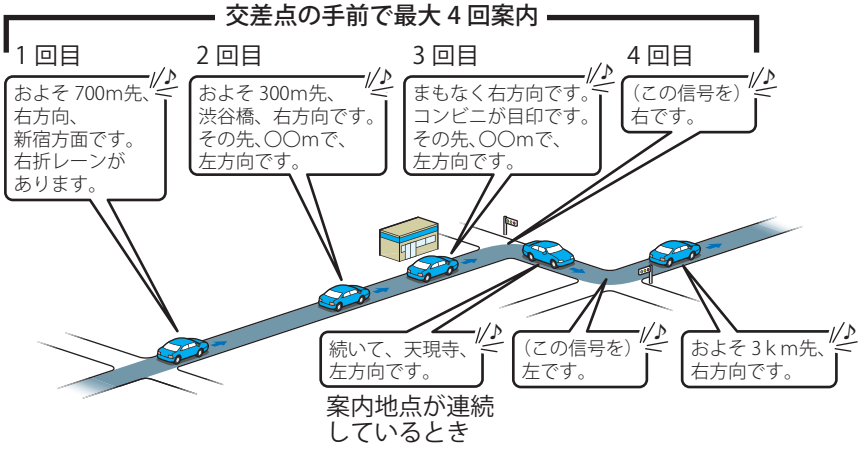
項目	できない操作
画面の操作	• 文字入力 • リスト操作
ナビゲーション	• 周辺施設の詳細表示 • 目的地設定
メディア	• テレビ映像の表示 • USB 映像の表示 • HDMI 映像の表示
設定	• 走行中の設定を除くすべて

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中に本機と接続機器を操作しないでください。運転者には、安全運転をして乗員の安全を守る全責任があります。運転中は常に交通規則にしたがって安全運転を心がけてください。

ルート案内中の音声案内例

車の走行に合わせ、交差点の手前で最大 4 回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。

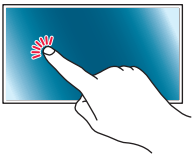


画面の操作方法

ここでは画面のタッチ操作について説明します。

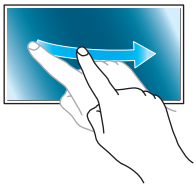
タッチ

タッチキーや地図を指で軽くたたきます。



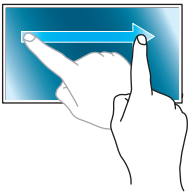
フリック

タッチしたまま、移動したい方向へ指を軽くはじきます。



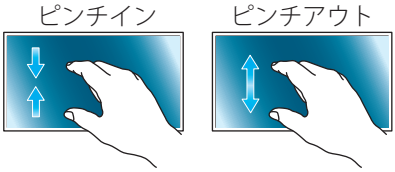
ドラッグ／スワイプ

タッチしたまま、目的の場所まで指をスライドします。



ピンチイン／ピンチアウト

2 本の指でタッチしたまま指を開きます／閉じます。



⚠注意

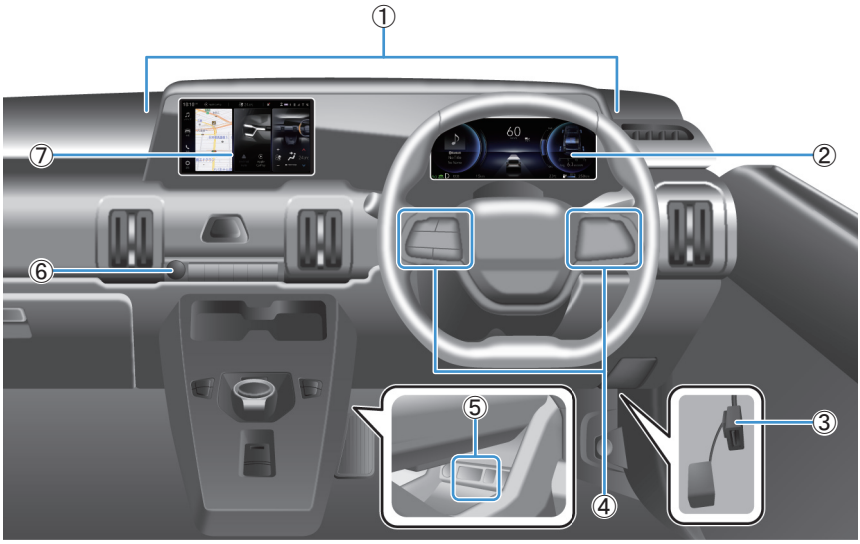
- 画面保護のため、指を軽く画面にふれてタッチスクリーンを操作してください。
- 画面の汚れは、メガネ用クリーニングクロスなどのやわらかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすったりすると表面に傷がつくことがあります。
- ベンジンやアルカリ性溶液などを使用して画面を清掃しないでください。画面が損傷するおそれがあります。

表記のしかた

本書では、それぞれの操作を、以下のように簡略化して示しています。

表記	操作
メインメニュータブの [メディア]→[AM]をタッチする	センターディスプレイのメインメニュータブから [メディア] をタッチし、さらに [AM] をタッチします。

各部の名称と配置



① インテグレーテッドディスプレイ
センターディスプレイとメーターディスプレイ一体型システムです。
② メーターディスプレイ
警告灯や走行情報などを表示します。詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。
③ USB 端子（地図更新／ソフトウェア更新専用）
地図更新およびソフトウェア更新を行うときに、USB メモリーを接続します。
④ ステアリングスイッチ
メディアの音量の調整／ミュート、音声認識などの操作ができます。
⑤ USB 端子（スマートフォン接続／メディア再生用）／ HDMI 端子
機器接続用ケーブルや USB メモリーを接続します。
端子の位置について、詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。
⑥ 音量ノブ
メディアの音量の調整／ミュートなどの操作ができます。
⑦ センターディスプレイ
地図画面やメディア画面などの操作ができます。

電源のオン／オフ

本機には独立した電源スイッチはありません。車両の POWER スイッチが ACC や POWER ON モードまたは READY ON モードになっている場合は電源がオンとなり、POWER スイッチがオフになっている場合は電源もオフになります。

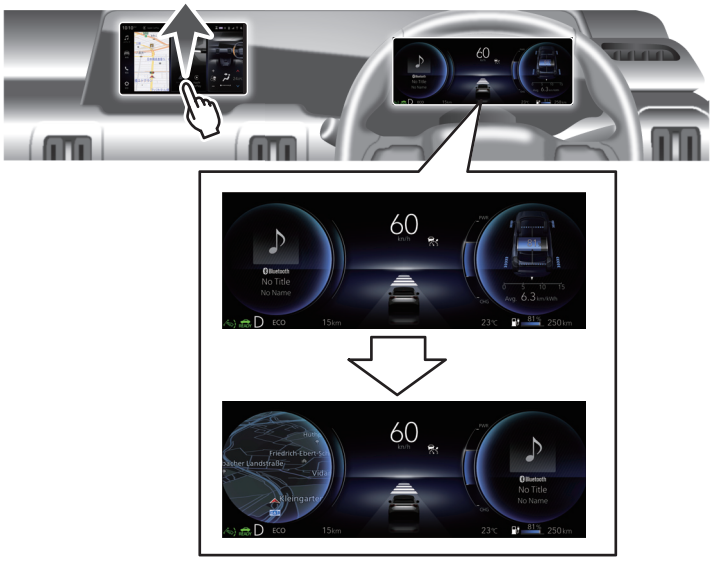
各部の操作

インテグレーテッドディスプレイ

センターディスプレイにホーム画面を映し、タイルを上にドラッグすることで、地図画面や車両情報、時計などのセンターディスプレイの一部機能をメーターディスプレイにも表示することができます。
センターディスプレイ画面をメーターディスプレイに同時に表示するには、事前に以下の設定が必要です。

- 画面設定でメーターディスプレイのカスタマイズ設定をオンにする。
  詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。
- ステアリングスイッチの [INFO] スイッチを押し、メーターディスプレイのカスタムモードでブランクを選択する。（カスタムモードへ反映後は設定が保持されます）

1 ホーム画面のタイルを長押しして上にドラッグする



MEMO

- メーターディスプレイの表示レイアウトなどを変更することができます。
  詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。
- 本機が高温になるとセンターディスプレイに表示される Apple CarPlay/Android Auto の地図データがメーターディスプレイに表示できない場合があります。

センターディスプレイと画面の操作

画面のレイアウトについて

センターディスプレイのホーム画面は、3 画面または 2 画面で表示させることができます。

■3 画面表示



■2 画面表示



画面のレイアウト変更について

画面のレイアウトは、3 画面表示、2 画面表示（1：2）または 2 画面表示（2：1）に変更できます。

1 メインメニュータブの [設定] →[画面] →[センターディスプレイ] →[レイアウト] をタッチする

2 希望のレイアウトを選ぶ



設定のオン／オフ切り換え

オン／オフスイッチをタッチすると、設定のオン／オフが切り換わります。



複数オプションの設定項目の操作

 が付いた項目をタッチすると、複数のオプションから項目を選択できます。



リストのスクロール操作

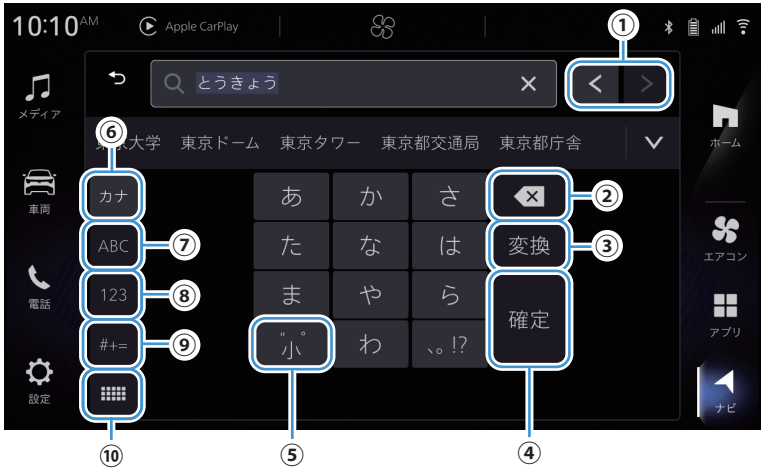
リストが表示されている状態で画面を長押しし、ドラッグまたはフリック操作でリストをスクロールできます。



文字や数字を入力する

キーボードを使用して、文字や数字を入力できます。また、キーボードの入力モードを変更できます。

■画面例（携帯電話型入力）



MEMO

- フリック入力もできます。

■画面例（文字キーボード入力）



■画面例（テンキー入力）



① カーソルを移動
入力文字のカーソルを移動します。
② 文字削除
カーソルの１つ前の文字を削除します。
③ 入力した文字を変換
④ 入力した文字を確定
⑤ 大文字と小文字を切り換える
⑥ ひらがな／カタカナの入力モードを切り換える
⑦ 英字の入力モードに切り換える
⑧ 数字の入力モードに切り換える
⑨ 記号の入力モードに切り換える
⑩ キーボードの入力モードを切り換える

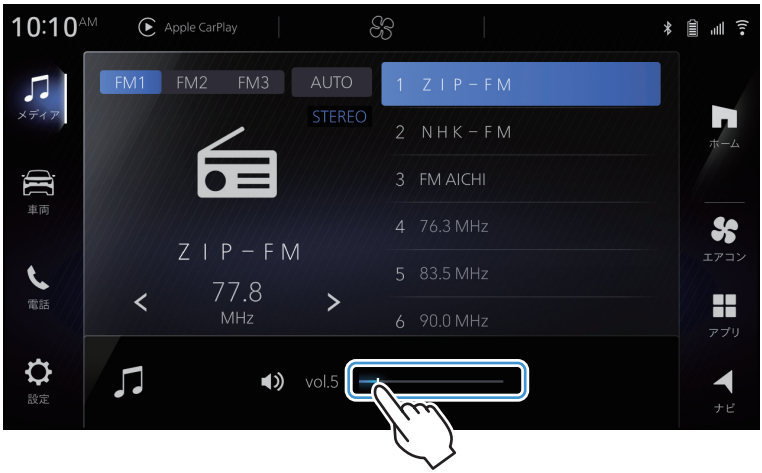
画面での音量調整

1 格納メニューバーをタッチまたは上にフリックする

「格納メニュー」（38 ページ）を参照してください。

2 [音量] をタッチする

3 スライダーをドラッグして音量を調整する



MEMO

- スライダーを表示させた状態で をタッチして音量をミュートすると、 が表示されます。再度タッチするとミュートが解除されます。

画面の戻り方

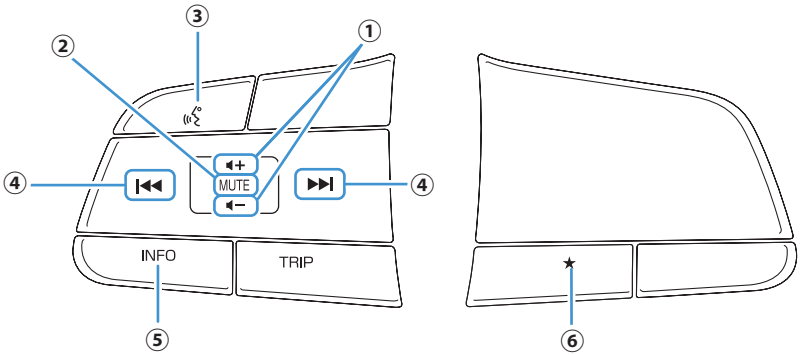
をタッチすると、前の画面に戻ります。一部の操作では、戻らないこともあります。

ステアリングスイッチで操作する

ステアリングスイッチを使用すると、運転中でもステアリングから手を放さずに本機の操作ができます。

⚠警告

- 走行中、運転の妨げにならないように十分注意してください。



① 音量スイッチ
音量を調整します。メディア以外の音声が再生されている場合、再生中のソースの音量を調整できます。
[＋] 側に押すと音量が大きくなり、[－] 側に押すと小さくなります。
押し続けると連続して音量が変化します。

② ミュートスイッチ
押すと、音声が一時的にミュートされます。もう一度押すと、ミュートが解除されます。一部の機能はミュートされません。
着信時または通話中に押すと、音量が下がります。もう一度押すと、前の音量レベルに戻ります。

③ 音声認識スイッチ
押すと、音声操作が起動します。「音声認識を使う」（212 ページ）を参照してください。
長押しすると、Apple CarPlay/Android Auto の音声操作が起動します。（Apple CarPlay/Android Auto 接続時）「Apple CarPlay を使う」（202 ページ）、「Android Auto を使う」（206 ページ）を参照してください。

④ [戻る／進む] スイッチ

メディアソース	押す	長押しする
FM ／ AM ／ TV	プリセットチャンネルのアップ／ダウン	自動選局
USB（音楽）／ USB（動画）／ iPod ／ Bluetooth オーディオ ／ Apple CarPlay ／ Android Auto	ファイル／トラックのアップ／ダウン	早戻し／早送り（音楽のみ）

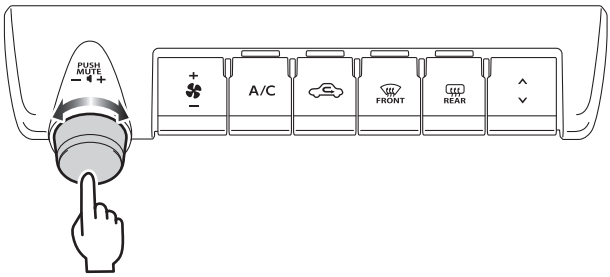
⑤ [INFO] スイッチ
メーターディスプレイの表示内容を切り換えます。詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。

⑥ お気に入りスイッチ
押すと、メディアソースの変更やハンズフリー通話のオンフック／オフフックなど、お気に入り登録されている機能が呼び出されます。長押しすると、お気に入り登録画面が表示されます。

MEMO

- 音声認識スイッチ長押し時の動作は、接続端末の仕様により異なることがあります。
- [戻る／進む] スイッチはコンテンツによっては動作が異なる場合があります。

音量を調整する（音量ノブ）



音量を調整します。メディア以外の音声が再生されている場合、再生中のソースの音量を調整できます。
音量をミュート／ミュート解除するには、音量ノブを押します。音量を調整するには、音量ノブを回します。
着信時または通話中に音量ノブを押すと、音量が下がります。ノブをもう一度押すと、前の音量レベルに戻ります。

MEMO

- 一部の機能はミュートされません。

USB 機器を接続する

スマートフォンやポータブルプレーヤーなどの機器を接続できます。

1 USB メモリーまたは USB ケーブルを USB 端子に接続する

「各部の名称と配置」（22 ページ）を参照してください。

⚠注意

- 接続中に機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。
- USB 端子に異物を入れないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。

MEMO

- USB メモリーを接続する際は、USB 端子に直接接続してください。
- お使いの機器によって、視聴できない場合があります。
- USB ケーブルおよび接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリーソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。

HDMI 機器を接続する

HDMI 出力に対応した機器を接続できます。

1 HDMI ケーブル（別売）を HDMI 端子に接続する

「各部の名称と配置」（22 ページ）を参照してください。

⚠注意

- 接続中に機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。
- HDMI 端子に異物を入れないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。

MEMO

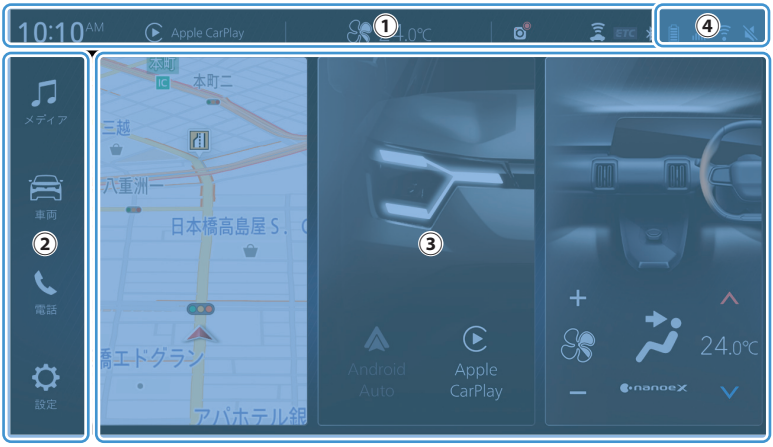
- お使いの機器によって、視聴できない場合があります。
- HDMI ケーブルおよび接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリーソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。

ホーム画面とタブの操作

ホーム画面

ホーム画面は、本機のすべての機能や設定への入り口になっています。
ホーム画面は複数の機能を表示できます。
本書では 3 画面表示を例に説明します。

1 メインメニュータブの [ホーム] をタッチし、ホーム画面を表示する



① ステータスバー
時刻、エアコン、通信情報などを表示・操作できます。
「ステータスバー」（44 ページ）を参照してください。

② メインメニュータブ
タブ（アイコン）を選択して表示・操作する機能を切り換えることができます。
「メインメニュータブ」（34 ページ）を参照してください。

③ タイル
選択したタブの内容が表示されます。

④ クイックアクセスメニュー
クイックアクセスメニューを表示することができます。
「クイックアクセスメニュー」（36 ページ）を参照してください。

メインメニュータブ

メディア画面（54 ページ参照）



車両情報画面
（車両のオーナーズマニュアルを参照）



電話画面（158 ページ参照）



設定画面（166 ページ参照）





格納メニュー（38 ページ参照）

ホーム画面のタイルで選択した
コンテンツが表示されます



ホーム画面（33 ページ参照）



エアコン画面
（車両のオーナーズマニュアルを参照）



アプリ画面（43 ページ参照）



ナビ画面（46 ページ参照）

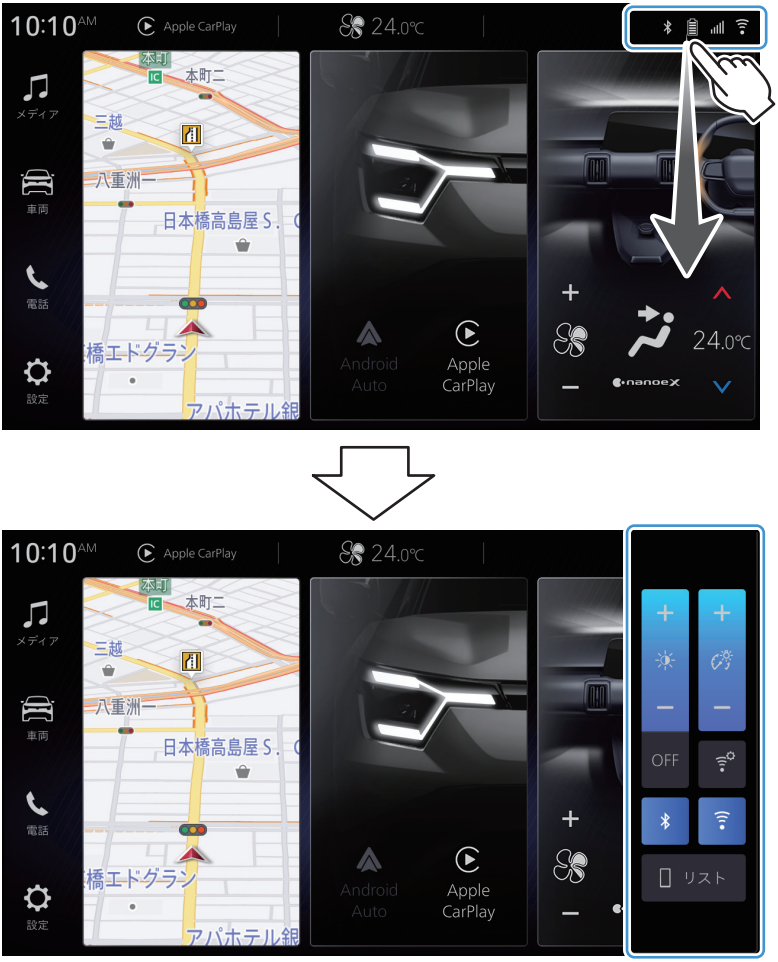


クイックアクセスメニュー

クイックアクセスメニューを表示させる

クイックアクセスメニューでは、画面の明るさの調整や Bluetooth/Wi-Fi 設定などが設定できます。

1 ステータスバーの右側をタッチまたは下にフリックする



クイックアクセスメニューを操作する



① スライダーをドラッグしてセンターディスプレイの明るさを調整することができます。[＋]／[－]をタッチしても調整できます。

② スライダーをドラッグしてメーターディスプレイの明るさを調整することができます。[＋]／[－]をタッチしても調整できます。

③ センターディスプレイ表示をオフできます。画面を再度表示するには、画面をタッチします。

④ Bluetooth/Wi-Fi など通信の設定を行うことができます。「通信設定」（173 ページ）を参照してください。

⑤ Bluetooth 接続のオン／オフを切り換えます。「通信設定」（173 ページ）を参照してください。

⑥ Wi-Fi 接続のオン／オフを切り換えます。

⑦ 接続端末リスト画面が表示されます。「Bluetooth 機器のプロファイルを切り換える」（59 ページ）を参照してください。

格納メニュー

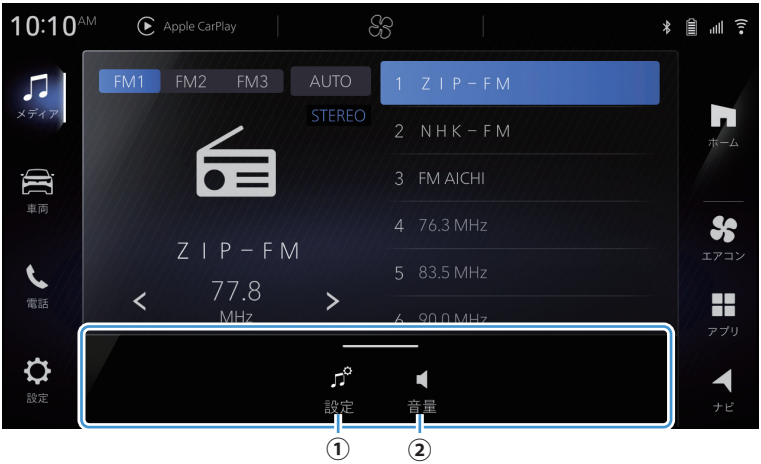
格納メニューを表示させる

格納メニューでは、音量などを調整できます。

1 **格納メニューバーをタッチまたは上にフリックする**



格納メニューを操作する



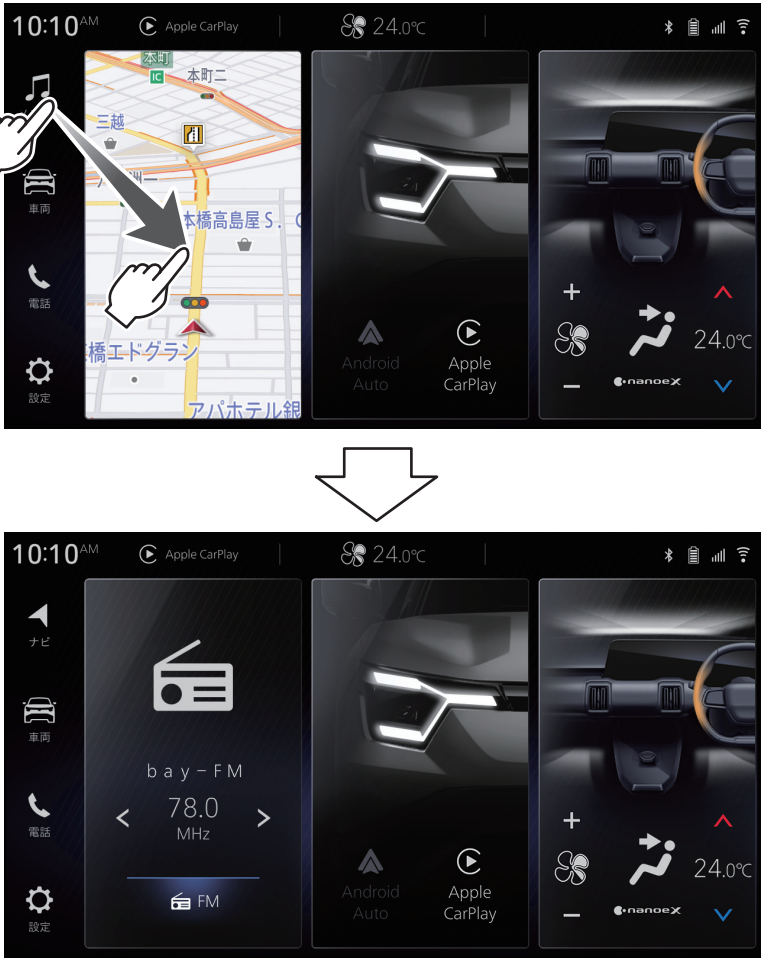
① メディア設定画面を表示します。
② タッチすると、音量調整ポップアップ画面が表示されます。
スライダーをドラッグして音量を調整できます。

MEMO

- 格納メニューに表示される機能は、画面により異なります。

タイルに機能を表示させる

1 ホーム画面で入れ替えたいタブを長押ししたまま、タイルの上までドラッグ＆ドロップする

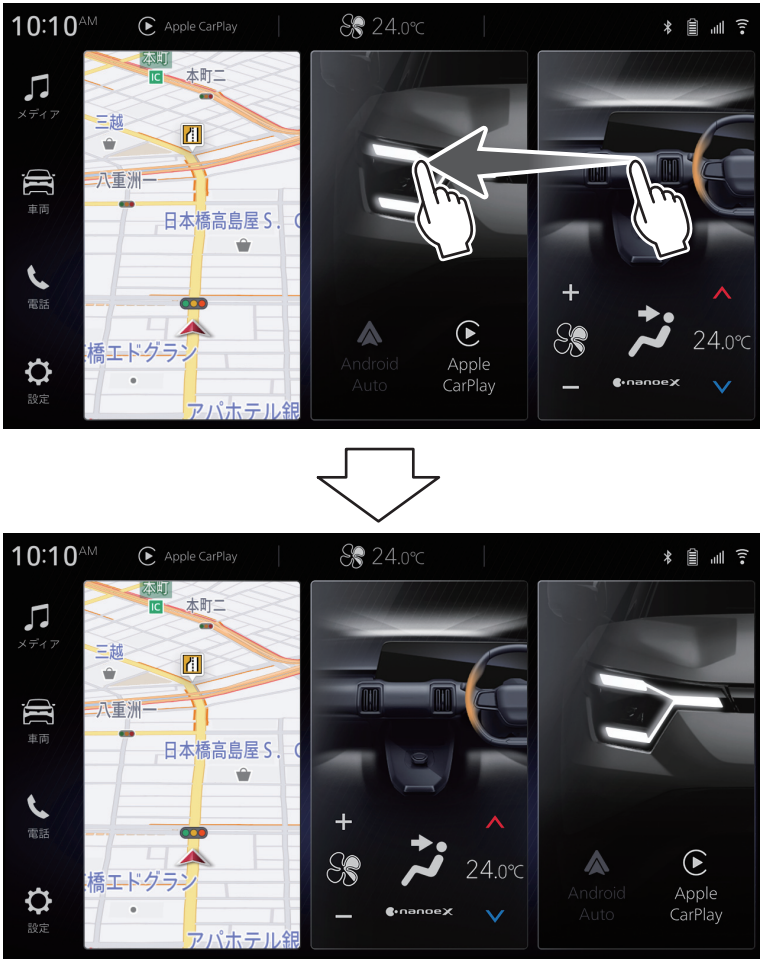


MEMO

- [ホーム]、[電話] および [設定] は、入れ替えることができません。

タイルを入れ替える

1 ホーム画面で入れ替えたいタイルを長押ししたまま、左右にドラッグ＆ドロップする

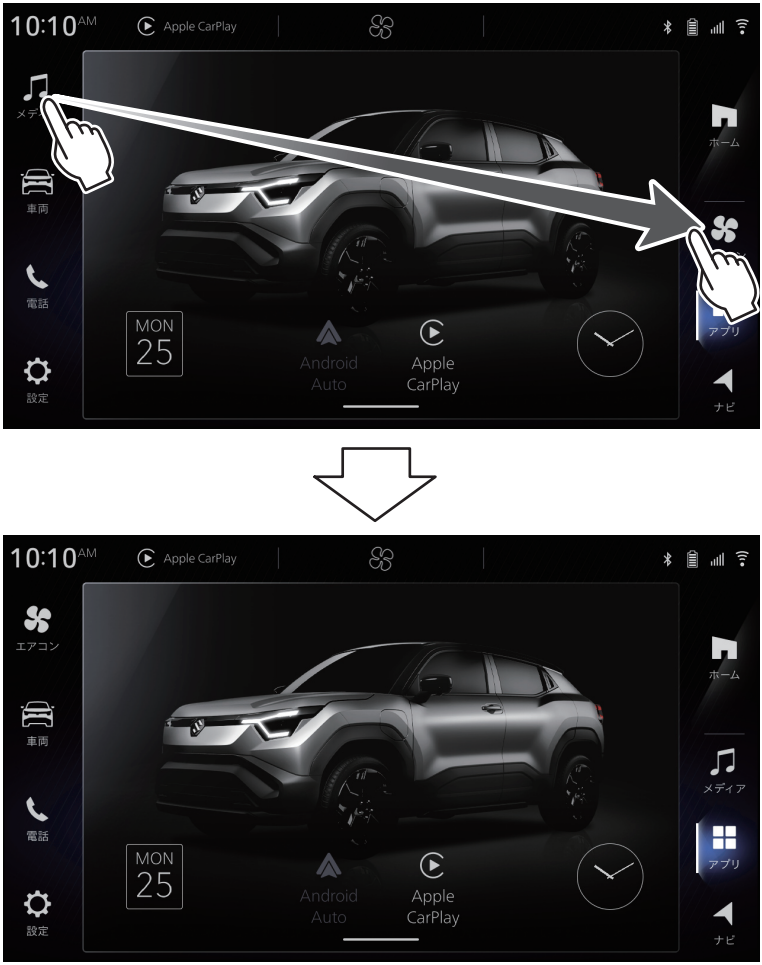


MEMO

- 長押しするときはエアコンなどの操作部を避け、タイルの上半分を操作してください。

左右のタブを入れ替える

1 入れ替えたいタブを長押ししたまま、左右のメインメニュータブまでドラッグ＆ドロップする

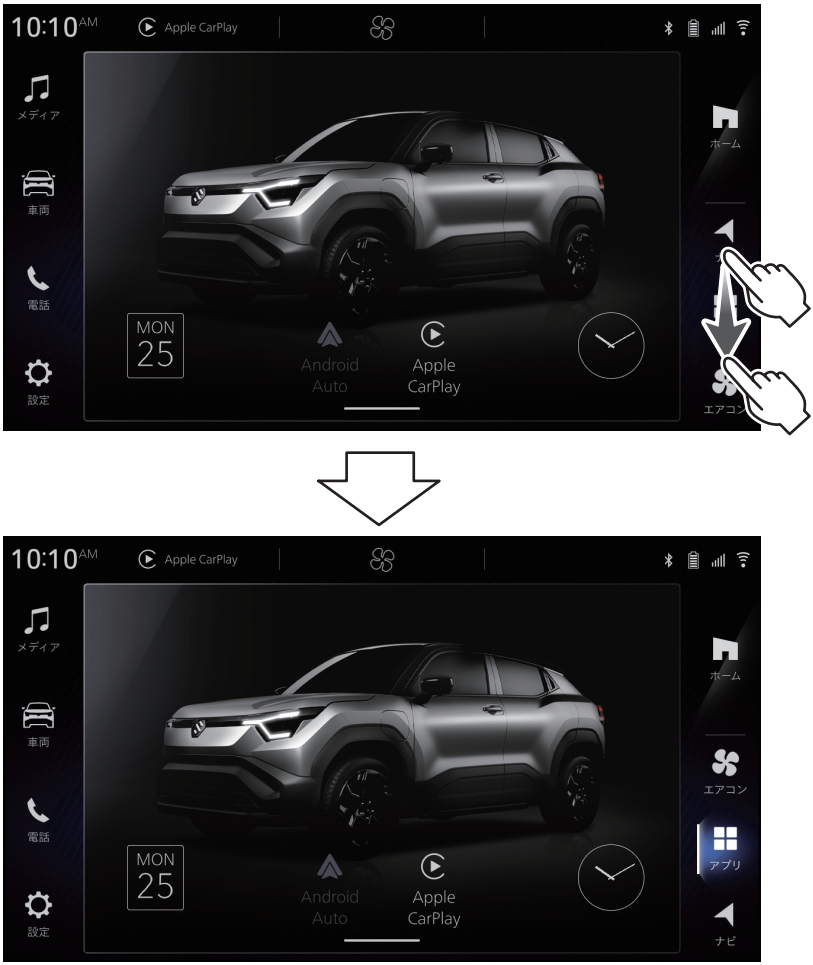


MEMO

- [ホーム]、[電話] および [設定] は、入れ替えることができません。

タブの表示順を入れ替える

1 入れ替えたいタブを長押ししたまま、上下にドラッグ＆ドロップする



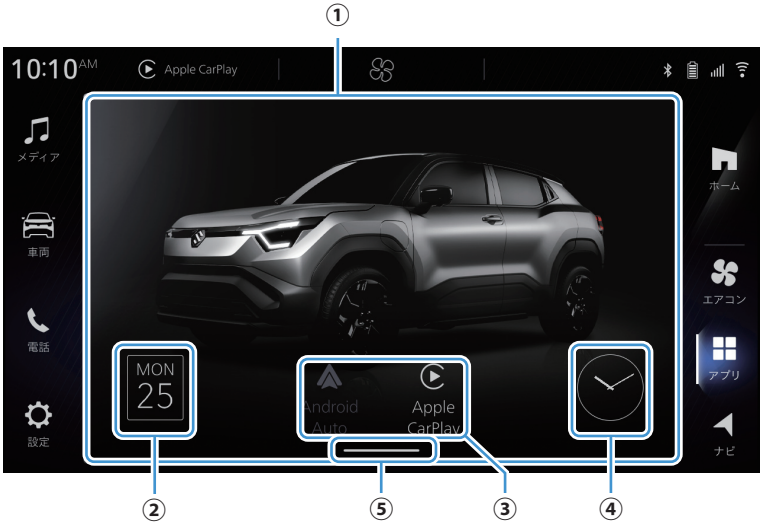
MEMO

・ [ホーム]、 [電話] および [設定] は、入れ替えることができません。

アプリタブ

1 メインメニュータブの [アプリ] をタッチする

■アプリ画面



- アプリ画面が表示されます。

① 壁紙
壁紙が表示されます。壁紙は変更することができます。「スズキコネクトについて」（196 ページ）を参照してください。
・「スズキコネクト」利用契約が必要となります。

② 日付
日付が表示されます。設定から表示／非表示を切り換えることができます。「システム設定」（190 ページ）を参照してください。
日付の位置はドラッグ操作で移動できます。

③ Apple CarPlay/Android Auto

Apple CarPlay または Android Auto 画面が表示されます。

④ 時計
現在の時刻が表示されます。設定から表示／非表示を切り換えることができます。「システム設定」（190 ページ）を参照してください。
時計の位置はドラッグ操作で移動できます。

⑤ 格納メニューバー
タッチまたは上にフリックして格納メニューを表示します。
［壁紙］をタッチすると壁紙設定画面が表示されます。

ステータスバー

設定した時刻、エアコン、通知アイコンなどを表示・操作することができます。



① 時計
現在の時刻が表示されます。タッチすると時刻を設定できます。

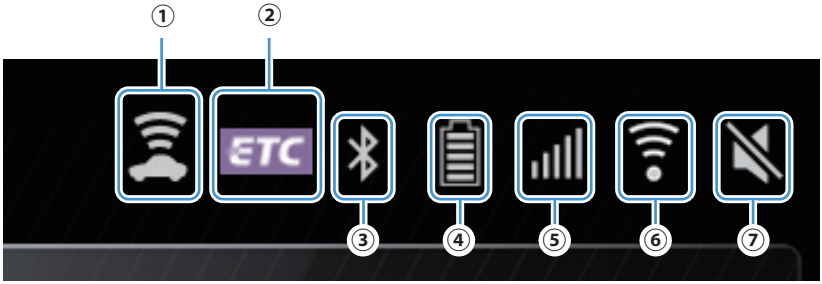
② Apple CarPlay/Android Auto
Apple CarPlay および Android Auto 接続時に表示されます。
タッチすると Apple CarPlay/Android Auto 画面が表示されます。

③ エアコン
エアコンの動作状態が表示されます。タッチするとエアコン画面が表示されます。
詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。

④ ドライブレコーダー
連動タイプのドライブレコーダー（別売）が装着されている場合、ドライブレコーダーの録画状態が表示されます。タッチするとドライブレコーダー操作画面が表示されます。「ドライブレコーダー画面の見方」（220 ページ）を参照してください。

⑤ 通知アイコン
（45 ページ）を参照してください。

■通知アイコン



① DCM 接続
DCM の受信状態を表示します。
スズキコネクト未契約の場合は表示されません。
スズキコネクト契約が一時停止中の場合は が表示されます。
圏外の場合は が表示されます。

② ETC 表示
ETC 車載器が接続されていて、ETC カードが挿入されている場合に表示されます。ETC カードが使用できない場合は、 （灰色）が表示されます。

③ Bluetooth 接続
本機に登録された Bluetooth 機器と Bluetooth 接続中の場合は が表示されます。本機の Bluetooth がオフの場合と未接続の場合は表示されません。

④ 電池残量
接続された Bluetooth 機器の電池残量を表示します。

⑤ 電話受信レベル
接続された Bluetooth 機器の信号強度を表示します。

⑥ Wi-Fi 接続
本機に登録された Wi-Fi 機器と Wi-Fi 接続中の場合は が表示されます。
本機の Wi-Fi がオフの場合と未接続の場合は表示されません。

⑦ ミュートアイコン／電話音量減衰アイコン
ミュートされているときに が表示されます。
着信音または通話音量を下げると が表示されます。

ナビゲーションの操作

地図画面表示

地図画面上に表示される情報および役割を説明します。

1 メインメニュータブの [ナビ] をタッチする



① 自車位置マーク
現在地と車が向いている方角を表示します。

② レーン（車線）表示
通過および分岐する交差点の車線を表示します。（地図データに情報のある交差点のみ）「ルート案内中の 表示について」（92 ページ）を参照してください。
目的地案内中は走行を推奨する車線がハイライト表示されます。

③ スケール表示
表示させている地図の縮尺を表示します。「地図のスケール（縮尺）を切り換える」（48 ページ）を参照してください。

④ 方位マーク
地図表示の方法を切り換えます。「地図の向きを切り換える」（49 ページ）を参照してください。

⑤ 拡大／縮小ボタン
地図の表示を拡大／縮小します。「地図のスケール（縮尺）を切り換える」（48 ページ）を参照してください。

⑥ 表示設定ボタン
地図オプション画面を表示します。「地図画面の各表示について」（69 ページ）を参照してください。

⑦ 目的地検索
自宅や登録地などの目的地を検索します。「目的地を検索する」（76 ページ）を参照してください。

⑧ 名称表示
走行している道路名称を表示します。（地図データに情報のある地点のみ）

現在地の表示

現在地は自車位置マーク で表示されます。

地図画面をスクロールしたとき、 をタッチすると、現在地に戻ります。



地図のスケール（縮尺）を切り換える

1 地図上の **＋** または **－** をタッチする



- 地図を拡大して、スケール表示が 50m のときに **＋** をタッチすると、市街図を表示します。
- 市街図表示を解除するには、スケール表示が 50m のときに **－** をタッチ、または画面のピンチイン操作をします。

MEMO

- 地図データに情報がないときは、市街図は表示されません。
- 市街図がない地域に地図または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。

地図の向きを切り換える

車の進行方向に合わせて地図の向きを切り換えることができます。

1 N をタッチする



- N ：2D ノースアップ
  車の進行方向に関係なく、常に北が上になるように表示します。車両の走行に合わせて、自車位置マークが回転します。
- ：2D ヘディングアップ
  車の進行方向が、常に上向きになるように地図を表示します。車両の走行に合わせて、地図が回転します。
- ：3D ヘディングアップ
  地図を立体的に表示させることができます。また、車の進行方向が、常に上向きになるように地図を表示します。車両の走行に合わせて、地図が回転します。

MEMO

- 3D 表示は角度を調整することができます。「ナビ設定」（180 ページ）を参照してください。
- ヘディングアップ表示は、目的地の設定で呼び出した地図や全ルート図表示画面などの現在地画面以外の地図にするとノースアップ表示になりますが、現在地画面にするとヘディングアップ表示に戻ります。

目的地を設定する

さまざまな方法で目的地に設定する場所を検索することができます。検索する方法には、文字入力、履歴、おでかけプラン、住所、電話番号、マップコードなどがあります。「目的地を検索する」（76 ページ）を参照してください。
ここでは、施設名称など、文字を入力して目的地を検索する方法を例として説明します。

1 地図画面上の [目的地検索] をタッチする



2 [施設名、住所、電話番号で検索] をタッチする



3 入力した文字を確定して、［検索］をタッチする

「文字や数字を入力する」（27 ページ）を参照してください。



- 入力された文字に対して、過去の検索入力文字列や文字列の一致条件から、ユーザーがこれから入力しようとする文字列を予測して入力文字列の候補として表示します。

4 検索結果リストから目的地に設定したい場所を選択する

検索結果が複数あった場合、検索結果リストが表示されます。

「検索結果リスト画面の見方」（83 ページ）を参照してください。



5 全ルート画面が表示されたら、［開始］をタッチする

ルート案内画面が表示されます。「全ルート図表示画面の見方」（84 ページ）を参照してください。



- ［他のルート］を選択すると、条件の異なるルートに変更できます。
- IC 名称をタッチすると、入口および出口 IC を変更することができます。

地図の動かし方

地図を移動したり、タッチした地点を地図画面の中心に表示することができます。

1 地図上の地点をタッチする

地図画面の中心がタッチした地点に移動します。



地図を移動した場所を目的地に設定したり、登録地として設定することができます。また、登録地に情報がある場合は表示することができます。「地図画面の各表示について」（69 ページ）を参照してください。

-  ：地図を任意の地点までスクロールした後にタッチすると、その地点を新しい目的地や経由地として設定することができます。
-  ：地図を任意の地点までスクロールした後にタッチすると、その地点を登録地として設定することができます。
-  ：タッチすると現在地に戻ります。


MEMO

- タッチしてドラッグするか、画面をフリックすると、地図をスクロールすることができます。「画面の操作方法」（20 ページ）を参照してください。

メディアソースを切り換える

メディアソースバーでラジオや USB などのソースを変更できます。

1 メインメニュータブの [メディア] をタッチする

2 メディアソースバーをフリックまたはドラッグして、利用したいメディアソースをタッチする



① メディアソースバー

■メディアソース

[AM・FM]	:「ラジオを聴く」（120 ページ）を参照してください。
[交通情報]	:「交通情報を聴く」（124 ページ）を参照してください。
[TV]	:「テレビを視聴する」（126 ページ）を参照してください。
[iPod]	:「iPod を使う」（131 ページ）を参照してください。
[Bluetooth]	:「Bluetooth Audio を使う」（134 ページ）を参照してください。
[USB]	:「USB メモリーを使う」（138 ページ）を参照してください。
[HDMI]	:「HDMI を使う」（154 ページ）を参照してください。
[OFF]	:オーディオがオフになります。
[Mobile]	:Apple CarPlay/Android Autoが接続されていないときに表示されます。［接続する］をタッチすると接続端末リストが表示されます。
[Apple CarPlay]	:Apple CarPlay が接続されている場合に表示されます。「Apple CarPlay で音楽を聴く」(146 ページ)を参照してください。
[Android Auto]	:Android Auto が接続されている場合に表示されます。「Android Auto で音楽を聴く」(150 ページ)を参照してください。

MEMO

- 緊急警報放送割り込みがオンのときは、緊急警報放送を受信すると、音声がテレビに切り換わります。「メディア設定」（169 ページ）を参照してください。

Bluetooth® 機器の登録

携帯電話、iPhone やスマートフォンなどの Bluetooth 機器を本機に接続して、Bluetooth 機器の音楽などを再生したり、ハンズフリー通話をすることができます。
はじめて Bluetooth 機器を使用するときは、本機に登録（ペアリング）してください。
Apple CarPlay/Android Auto を Wi-Fi で接続するときも本機の登録（ペアリング）が必要です。

MEMO

- 登録後、機能を使う機器を設定します（接続プロファイルの設定）。

電話	Bluetooth 機器をハンズフリー電話として使用できます。
電話＋ SMS	Bluetooth 機器をハンズフリー電話として使用できます。また、Bluetooth 機器への電話着信に対する SMS 返信機能や SMS 着信通知機能を使用できます。 ＊SMS 返信機能、SMS 着信通知機能は対応機器によってご使用になれない場合があります。
音楽	Bluetooth 機器の音楽を再生できます。

- あらかじめ Bluetooth 機器側でも Bluetooth をオンに設定して、本機側から検索可能な状態にしてください。オフになっていると正しく登録できない場合があります。
- 本機側から Bluetooth 機器を登録する方法（「Bluetooth 機器を登録する」（56 ページ）を参照）で登録できない場合は、本機を待ち受け状態にして Bluetooth 機器を登録する方法をお試しください。「本機を待ち受け状態にして Bluetooth 機器を登録する」（176 ページ）を参照してください。
- 接続プロファイルは変更が可能です。「登録した Bluetooth 機器を設定する」（178 ページ）を参照してください。

⚠注意

- すべての Bluetooth 機器との接続・動作を保証するものではありません。
- Apple CarPlay の使用中および Android Auto の使用中は、自動的にハンズフリー通話が利用可能になります。この場合、Bluetooth での音楽再生は使用できません。

Bluetooth 機器を登録する

MEMO

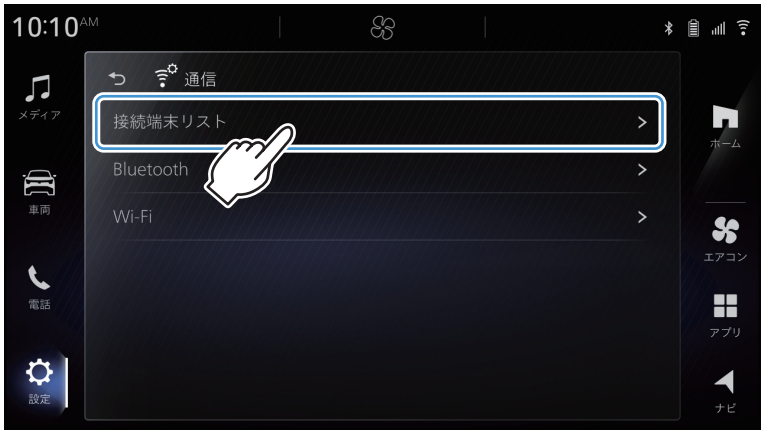
- 接続できる Bluetooth 機器は 1 台、登録できる Bluetooth 機器は 10 台までです。すでに 10 台登録済みで新たに Bluetooth 機器を登録する場合は、登録済みの Bluetooth 機器を消去してください。「登録した Bluetooth 機器を消去する」（179 ページ）を参照してください。

1 Bluetooth 端末の Bluetooth 機能をオンにする

2 メインメニュータブの [設定] →[通信] をタッチする



3 [接続端末リスト] をタッチする



4 [端末検索] をタッチする

MEMO

- 周辺の Bluetooth 端末を検索してリスト表示します。最大 30 台まで検索できます。

5 登録したい Bluetooth 端末をタッチする



6 本機と Bluetooth 対応端末の画面に表示される番号が同じことを確認し、[はい] をタッチする



7 Bluetooth 対応端末の画面の指示にしたがって操作する

- 接続が始まります。接続が成功すると、メッセージが表示されます。
- 登録（ペアリング）が完了すると、プロファイル選択画面が表示されます。

8 Bluetooth 端末で使う機能をオンにして、[確定] をタッチする



- 接続端末リスト画面が表示されます。

MEMO

- 接続する機器によっては対応していないプロファイルがあります。機器が対応していないプロファイルは選択できません。
- 接続する機器によっては、表示されたパスキーの確認操作が必要です。
- 本機の電源を入れると、前回使用していた Bluetooth 機器に自動で再接続されます。
- 手動で再接続するには、Bluetooth 機能をオンにして、接続端末リスト画面から端末名をタッチして接続してください。
- Apple CarPlay/Android Auto 対応端末を登録した場合は、登録の最後に Apple CarPlay/Android Auto を開始するかを確認するメッセージが表示されます。[はい] をタッチすると Apple CarPlay/Android Auto の接続を開始します。

Bluetooth 機器のプロファイルを切り換える

登録した Bluetooth 機器の機能の割り当てをすることができます。

1 クイックアクセスメニューの［リスト］をタッチする

「クイックアクセスメニューを操作する」（37 ページ）を参照してください。



2 登録した Bluetooth 機器名の右側にあるプロファイルアイコン領域をタッチする



3 Bluetooth 端末で使う機能をオンにして、[確定] をタッチする



- 機能の割り当てを解除する場合は、設定をオフにします。
- 処理が完了すると、接続端末リスト画面が表示されます。

MEMO

- [Apple CarPlay] および [Android Auto] を選択すると他のプロファイルは選択できません。
- 機器によっては対応していないプロファイルがあります。機器が対応していないプロファイルは選択できません。

■接続端末リスト画面



① 接続状態アイコン

 ：Bluetooth を接続している状態

 ：何も接続していない状態

 ：Apple CarPlay を接続している状態

 ：Apple CarPlay と接続したことがあるが、現在は接続していない状態

 ：Android Auto を接続している状態

 ：Android Auto と接続したことがあるが、現在は接続していない状態

② 接続プロファイルアイコン

電話

 ：接続中

 ：未接続端末（過去接続端末）

 ：過去未接続

電話＋ SMS

 ：接続中

 ：未接続端末（過去接続端末）

 ：過去未接続

音楽

 ：接続中

 ：未接続端末（過去接続端末）

 ：過去未接続

③ 削除アイコン

 ：Bluetooth 機器を削除

Apple CarPlay® の操作

Apple CarPlay の接続方法

本機と iPhone を USB または Wi-Fi で接続すると Apple CarPlay を利用できます。ここでは USB で接続する場合を例に説明します。詳しくは「Apple CarPlay を使う」（202 ページ）を参照してください。

USB で接続する

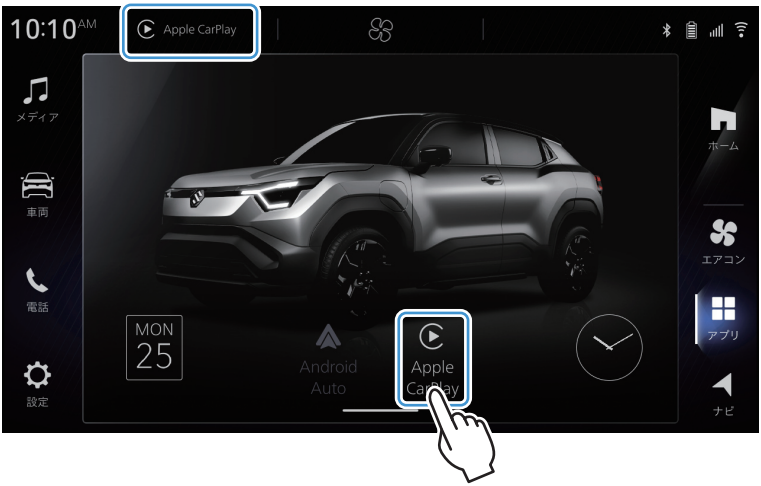
1 iPhone の端子と USB ポートタイプ A をつなぐ適切なケーブルを使用して本機と接続する

USB 端子の位置については「各部の名称と配置」（22 ページ）を参照してください。

- USB で接続すると Apple CarPlay の画面が表示されます。

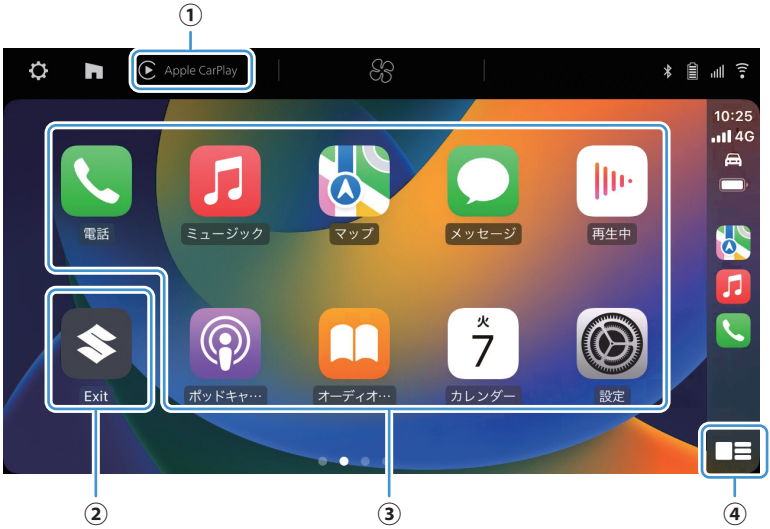
■ Apple CarPlay が利用可能なとき

ステータスバーおよびアプリ画面にアイコンが表示されます。表示されているアイコンをタッチすると Apple CarPlay を利用できます。



- Apple CarPlay 画面が表示されます。

■Apple CarPlay 画面



① Apple CarPlay 画面が表示されているときは、ホームアイコンと設定アイコンが表示されます。

② ホーム画面に戻ります。

③ Apple CarPlay 対応アプリを起動します。

④ 長押しして Siri を起動すると、音声操作が可能になります。

MEMO

- Apple CarPlay が利用可能な状態のときはメインメニュータブの［電話］をタッチしても Apple CarPlay を利用できます。
- iOS のアップデートにより、予告なく Apple CarPlay で使用できる機能が変わる場合があります。

Android Auto™ の操作

Android Auto の接続方法

本機と Android 端末を USB または Wi-Fi で接続すると Android Auto を利用できます。ここでは、USB で接続する場合を例に説明します。
Android Auto アプリを Google Play™などからダウンロードし、Android 端末にインストールします。詳しくは、Android Auto Help（https://support.google.com/androidauto）および「Android Auto を使う」（206 ページ）を参照してください。

USB で接続する

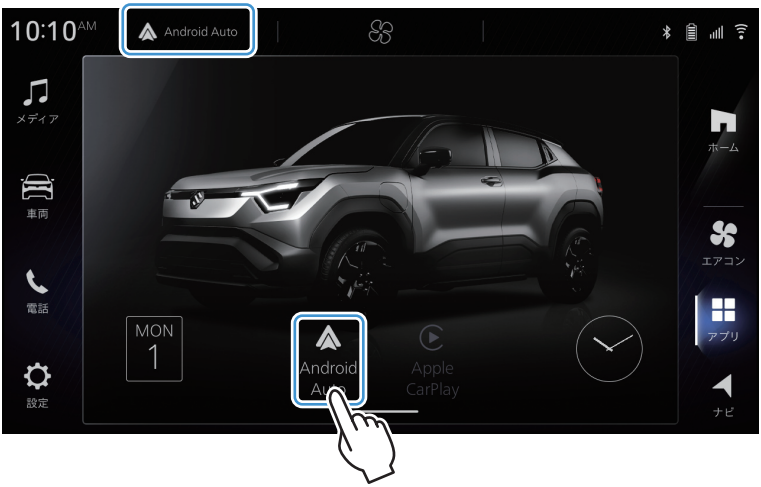
1 本機と Android 端末をデータ転送用 USB ケーブルを使って接続する

USB 端子の位置については「各部の名称と配置」（22 ページ）を参照してください。

- USB で接続すると Android Auto の画面が表示されます。

■ Android Auto が利用可能なとき

ステータスバーおよびアプリ画面にアイコンが表示されます。表示されているアイコンをタッチすると Android Auto を利用できます。



- Android Auto 画面が表示されます。

■Android Auto 画面



① Android Auto 画面が表示されているときは、ホームアイコンと設定アイコンが表示されます。

② ホーム画面に戻ります。

③ Android Auto 対応アプリを起動します。

④ 音声操作が可能になります。

MEMO

- Android 端末の OS のアップデートや、Android Auto アプリのアップデートにより、Android Auto で使用できる機能が変わる場合があります。

ナビゲーションシステムについて

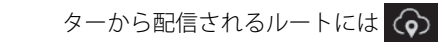
地図更新などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。
地図情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。

ハイブリッドナビ

センターから最新の地図データと目的地情報を取得してナビゲーションを行うセンター通信型のナビゲーションサービスです。ご利用にはスズキコネクト (ナビ) 契約が必要です。車載器にナビ地図を持っているため、センターと通信できないエリアでは車載ナビの地図表示、ルート探索を行います。通信環境の良いエリアに入ると、自動的にセンターと通信を開始してハイブリッドナビによる地図表示、ルート探索を行います。

- 現在地周辺の最新地図をセンターから取得して表示します。ルート案内時にはルート沿いの最新地図も取得します。
- センターからプローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を考慮した最適なルートを配信します。
- ルート案内中もセンターで定期的なタイミングで最適ルート探索を行い、より短時間で目的地に到着できるルートがあれば、新しいルートを提案します。

MEMO

- 目的地をセットすると、自動的にセンターでルート探索を行います。センターから配信されるルートには  が表示されます。
- スズキコネクト (ナビ) 未契約の場合も、車載ナビによる地図表示、ルート案内を利用できます。
- 最新地図ソフトの全更新に対応する期間についてはポータルサイトでご確認ください。
  https://www.integrated-infotainment-system.com/portal/
- スズキコネクトをご利用いただくには別途「スズキコネクト」利用契約と、iPhone およびスマートフォンへの「スズキコネクト」アプリのインストールが必要となります。

地図画面の各表示について

施設情報の見方

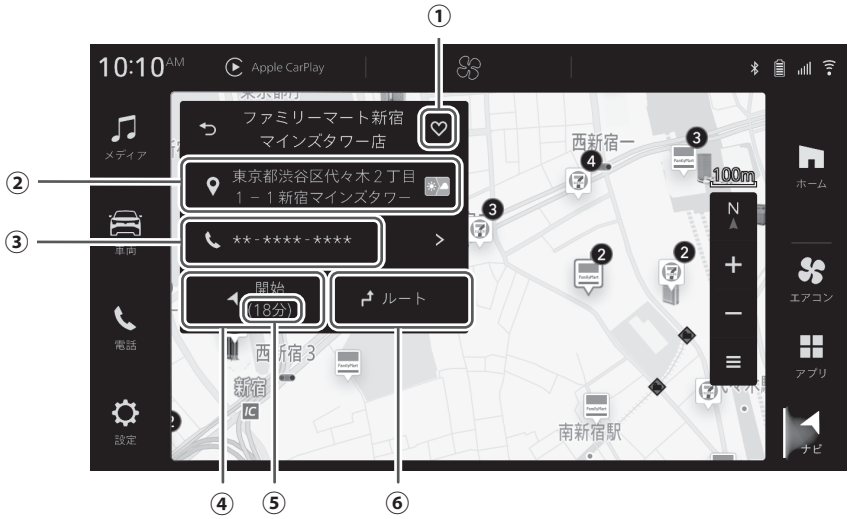
地図画面上の地点や施設の情報を確認することができます。

1 施設アイコンをタッチ、または希望の地点を長押しする

MEMO

- 希望の地点を短押ししたときは、タッチした地点の住所が表示されます。

2 希望の項目をタッチする



- 施設情報が表示されます。

① 登録地に設定します。

② タッチした地点の住所や営業時間などの詳細な情報が表示されます（スズキコネクト（ナビ）契約時に限ります）。

③ 施設に登録された電話番号を表示し、電話をかけることができます（電話を本機に接続している場合）。

④ 地点を目的地としてルート案内を開始します。

⑤ 選択した地点までの所要時間が表示されます。

⑥ 地点を目的地として全ルート図表示画面が表示されます。すでに目的地を設定している場合、経由地として追加することもできます。

■同じ地点に複数の施設が重なっている場合



- 同じ地点に複数の施設が重なっている場合に施設のリストが表示されます。
- タッチすると、その施設の情報表示に切り換わります。

周辺施設を表示する

レストランなどの施設記号を地図上に表示することができます。

1 **メインメニュータブの [ナビ] をタッチする**

2 **地図画面上の → [周辺施設表示] をタッチする**



3 **地図上に表示させたい施設をタッチする**



MEMO

- 地図データに含まれていない施設は表示できません。
- 施設記号は 800m スケールより広域の地図には表示されません。
- 表示できる施設は、自車位置マーク または から半径約 10km 以内にある施設のみです。（最大 200 件まで）
- 表示施設が密集している場合は道路を見やすくするため、簡易的な表示になります。
  表示されるアイコンの右上に、そのアイコンが示す施設の数が表示されます。
  （例： ）
  アイコンをタッチすると、すべての施設が表示されます。
- 施設アイコン表示のオン／オフは、ナビ設定画面でも設定できます。「ナビ設定」（180 ページ）を参照してください。

■他のジャンルを表示する場合

表示されている施設以外のジャンルを表示できます。
ただし運転中はナビ操作が制限されます。

1 **メインメニュータブの [ナビ] をタッチする**

2 **地図画面上の → [周辺施設表示] をタッチする**

3 **[周辺施設表示] → [他の施設に変更] →登録済みの施設→登録する施設をタッチする**



交通情報や走行軌跡などを表示する

交通情報などの地図上に表示する情報を設定することができます。

1 メインメニュータブの [ナビ] をタッチする

2 地図画面上の → [地図表示] をタッチする



3 地図上に表示させたい情報をタッチする

情報の詳細については、「ナビ設定」（180 ページ）を参照してください。

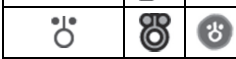
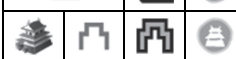
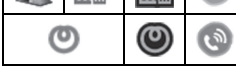


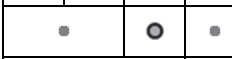
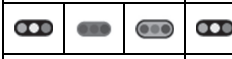
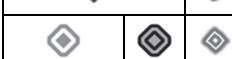
地図記号・地図表示一覧

選択した地図色や昼モード／夜モードの表示状況により、道路の表示色および記号のデザインが異なります。

表示	内容
（橙色）	高速道路 （都市高速道路・有料道路を含む）
（淡黄）	国道
（灰色）	主要道・都道府県道・一般幹線道
	トンネル （各道路で表示色は異なります。）
	私鉄
	JR
（青色）	水域
	都道府県界
（緑色）	緑地
（薄茶色）	敷地

表示	内容
	駅
	学校
	銀行等金融機関
	デパート
	ホテル
	競技場
	スキー場
	ゴルフ場
	キャンプ場
	温泉

表示	内容
	海水浴場
	スケート場
	ヨットハーバー
	駐車場
	国の機関
	郵便局
	公園、緑地
	消防署
	市役所
	町村役場
	都道府県庁
	警察署
	病院
	港湾
	空港
	フェリー発着場
	道の駅
	城
	神社
	仏閣
	教会
	名所・観光地
	幼稚園
	工場
	変電所
	ビル
	NTT

表示	内容
	灯台
	山岳
	霊園・墓地
	その他の施設
	SA （サービスエリア）
	PA （パーキングエリア）
	IC （インターチェンジ）
	交差点
	スマート IC
	踏切（黄色）
	ボトルネック 踏切（橙色）※1
	県庁所在地
	市町村 東京 23 区
	東京 23 区以外の区
	スズキ販売店・ 一部代理店

※1: 列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。

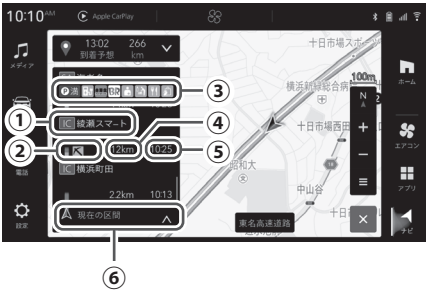
MEMO

- 地図データに収録されているボトルネック踏切データは、国土交通省の資料を参考に作成しています。

ハイウェイモードについて

ハイウェイモードを表示する設定にしているときは、自動的にハイウェイモード表示に切り換わります。
都市高速、都市間高速、一部の有料道路や自動車専用道路を走行しているときにハイウェイモードに切り換わります。
ハイウェイモードではそれぞれの施設の種類（IC（スマート IC 含む）／PA ／ SA ／ JCT ／料金所）、施設名が表示されます。

ハイウェイモードの画面の見方



① 施設名称を表示します。

② VICS ／交通情報を受信したとき、赤色（渋滞）、橙色（混雑）、黒色（通行止め）と VICS 記号を表示します。「VICS ／交通情報の表示設定」で、[一般道のみ]に設定しているときでも、VICS ／交通情報を表示します。

③ 施設の付帯施設情報を表示します。

④ 現在地からの距離を表示します。

⑤ 通過予想時刻を表示します。

⑥ 表示区間を切り換えているときに[現在の区間]をタッチすると、現在走行している区間に戻ることができます。

[SA・PA 駐車場]
SA・PA の混雑状況が表示されます。

P空 :[緑色]空き状態

P混 :[橙色]混雑状態

P満 :[赤色]満車状態

[VICS 情報]

:工事や路上障害物などによる交通規制がある場合に表示されます。

[ETC2.0]

道の駅に立ち寄る
：道の駅を経由地に追加します。

MEMO

- 一部表示されない有料道もあります。
- ルート案内中は、有料道出口のおよそ 1km 手前になると出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。

設備のマークの表示一覧

記号	内容
	ベビーコーナー
	ドッグラン
	コンビニ
	オストメイトトイレ
	インフォメーション
	トイレ
	スナックコーナー
	ショッピングコーナー
	郵便ポスト
	ハイウェイ温泉・銭湯
	FAX サービス
	キャッシュコーナー
	仮眠休憩施設
	休憩所
	ハイウェイオアシス
	レストラン
	コインシャワー
	充電ステーション

MEMO

- 一部のガソリンスタンドなど固有のロゴマークが出ることがあります。
- SA・PA に入るなど、高速道路の本線から外れたときは、ハイウェイモード表示が一時的に解除されることがあります。

目的地を検索する

目的地検索画面の見方

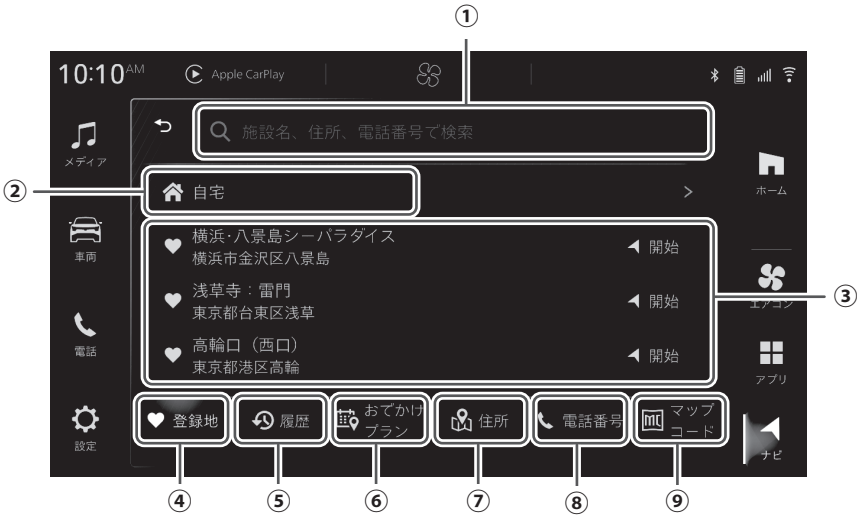
さまざまな方法で目的地に設定する場所を検索することができます。検索する方法には、文字入力、登録地、履歴、おでかけプラン、住所、電話番号、マップコードなどがあります。

1 **メインメニュータブの [ナビ] をタッチする**

2 **地図画面上の [目的地検索] をタッチする**

MEMO

- スズキコネクト (ナビ) 契約時は、コネクテッドサービス上のコンテンツを活用した目的地検索を行うこともできます。



- 目的地検索画面が表示されます。

① 施設名、住所、電話番号などを入力して検索します。

② 自宅を目的地としてルート探索を開始します。
自宅を登録していない場合は、[自宅を登録] をタッチし、登録します。

③ リストの名称部分をタッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。
[開始] をタッチすると、すぐにルート案内が始まります。

④ 登録されている地点のリストを表示します。
（地点が登録されている場合のみ利用可能です。）

⑤ 目的地履歴の地点のリストを表示します。
（過去に設定した目的地がある場合のみ利用可能です。）

⑥ スマートフォンからあらかじめ送信されたおでかけプランの地点のリストを表示します。「おでかけプランで目的地を検索する」（80 ページ）を参照してください。

⑦ 住所で検索します。

⑧ 電話番号で検索します。

⑨ マップコードで検索します。

MEMO

- リストはよく行く地点＞登録地の優先度で表示されます。よく行く地点は設定されている場合に最大 2 件を表示します。

文字入力で目的地を検索する

かな文字、アルファベットや数字を使って任意の文字を入力して、それを含む施設などを検索します。また、検索するエリアを指定して検索できます。

1 メインメニュータブの [ナビ] をタッチする

2 地図画面上の [目的地検索] をタッチする

3 [施設名、住所、電話番号で検索] をタッチする

4 施設名、住所、電話番号などを入力し、[検索] をタッチする



- 入力した文字ごとに目的地の候補が表示されます。
- 入力された文字列に対して、過去の検索入力文字列や文字列の一致条件から、ユーザーがこれから入力しようとする文字列を予測して入力文字列の候補として表示します。
- 入力ミスの可能性により目的地の候補が見つからない場合は、正しい可能性のある目的地の候補が表示されます。
- 入力した文字数が文字数制限を超えた場合は、超過した文字は削除されます。

電話番号で目的地を検索する

1 メインメニュータブの [ナビ] をタッチする

2 地図画面上の [目的地検索] をタッチする

3 [電話番号] をタッチする

4 電話番号を入力し、[検索] をタッチする



- 市外局番から入力します。
- 同じ電話番号で複数の地点があるときは、リストを表示します。リストから施設名称をタッチします。
- 検索できなかったときはメッセージが表示されます。

住所で目的地を検索する

1 メインメニュータブの [ナビ] をタッチする

2 地図画面上の [目的地検索] をタッチする

3 [住所] をタッチする

4 住所（都道府県名→市区町村名→町名→丁目）をタッチする

[○○主要部] をタッチすると、広域図が表示されます。

5 [番地指定] をタッチする

6 番地を入力し、[検索] をタッチする



履歴で目的地を検索する

1 メインメニュータブの [ナビ] をタッチする

2 地図画面上の [目的地検索] をタッチする

3 [履歴] をタッチする

4 希望の目的地をタッチする



マップコードで目的地を検索する

1 メインメニュータブの [ナビ] をタッチする

2 地図画面上の [目的地検索] をタッチする

3 [マップコード] をタッチする

4 マップコードを入力し、[検索] をタッチする



- マップコードとは、特定の位置の位置データをコード化し、1 ～ 13 桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

おでかけプランで目的地を検索する

スマートフォンアプリ「スズキコネクト」のナビ連携機能におでかけプラン（目的地、出発時間等）を設定しておくことで、乗車後に車載ナビでおでかけプランがある旨の通知を受けます。登録されたおでかけプランを選択することで目的地設定が可能となります。
スズキコネクト契約およびスズキコネクト（ナビ）契約が必要です。

1 メインメニュータブの [ナビ] をタッチする

2 地図画面上の [目的地検索] をタッチする

3 [おでかけプラン] →プランをタッチする



- 名称部分をタッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。
- [開始] をタッチすると、すぐにルート案内が始まります。

自宅を目的地に設定する

自宅を登録していると、以下の操作で自宅を目的地に設定できます。

1 メインメニュータブの [ナビ] をタッチする

2 地図画面上の [目的地検索] をタッチする

3 [自宅] をタッチする



※ 自宅登録済みの場合

自宅を登録する

1 メインメニュータブの [ナビ] をタッチする

2 地図画面上の [目的地検索] をタッチする

3 [自宅を登録] をタッチする

4 自宅を登録したい場所に移動し、[この地点を登録] をタッチする



登録地を目的地に設定する

地点を登録していると、以下の操作で登録地を目的地に設定できます。

1 メインメニュータブの [ナビ] をタッチする

2 地図画面上の [目的地検索] をタッチする

3 [（登録地）] をタッチする

4 希望の登録地をタッチする



地点を登録する

地点を登録するには、地図画面上の地点や施設アイコンをタッチ、または希望の地点を長押しして施設情報画面を表示し、♡ をタッチします。

登録地を編集する

1 メインメニュータブの [設定] →[ナビ]→[その他]→ [登録地] をタッチする

2 編集したい登録地をタッチする

3 をタッチする

- [（名称／住所）]：
  施設名称や住所を編集します。
- [フリガナ]：
  フリガナを編集します。
- [電話番号]：
  電話番号を編集します。
- [地点アイコン]：
  地点アイコンを変更します。
- [自宅登録]：
  タッチすると自宅として登録します。
- [よく行く地点登録]：
  タッチするとよく行く地点として登録します。

4 [保存] をタッチする



登録地を削除する

1 メインメニュータブの [設定] →[ナビ]→[その他]→ [登録地]→[編集] をタッチする

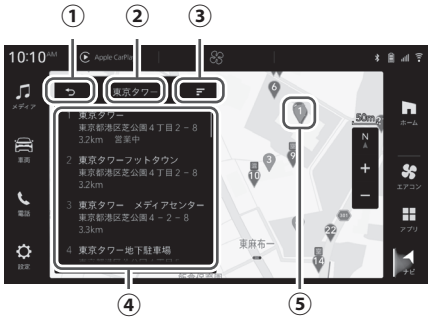
2 をタッチする

- [全削除]：
  登録地をすべて削除します。
- [キャンセル]：
  登録地の削除をキャンセルします。

3 [完了] をタッチする

検索結果リスト画面の見方

目的地を検索したとき、検索結果が複数あった場合、検索結果リストが表示されます。



① 前の画面に戻ります。

② 検索した名称を表示します。

③ 検索オプションを表示します。

④ 検索結果リストが表示されます。リストから検索地点をタッチすると、その地点を目的地とした全ルート図表示画面が表示されます。

- 同じ施設にある他の候補も併せて表示されます。

⑤ 現在表示されているリストの地点が地図に表示されます。

- 地図を移動すると［このエリアを検索］が表示されます。タッチすると、地図をスクロールしたエリア内で目的地を検索することができます。

検索結果の表示を変更する

検索結果リストの表示範囲や並び順を変更することができます。

1 検索結果リスト画面で を タッチする

2 検索オプションを設定する

- 検索地点を[指定なし]、[目的地周辺]、[現在地周辺]、[ルート沿い] から選択できます。
- 充電施設を追加するかどうかの表示がされた場合、選択した後に[急速充電のみ]、[空きのみ]、[無料のみ] の条件で絞り込みできます。

3 [確定] をタッチする

目的地の設定

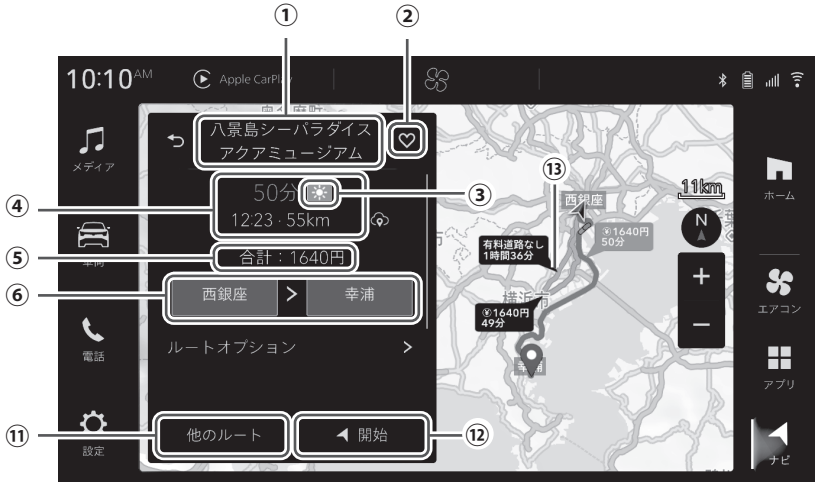
全ルート図表示画面の見方

目的地を設定すると、全ルート図表示画面になります。全ルート図表示画面から、希望ルートを選択したり、ルートの情報などを確認することができます。

1 目的地を検索する

「目的地を検索する」（76 ページ）を参照してください。

2 希望の目的地をタッチする



■ 全ルート図表示メニューを表示する

リストをフリックして画面をスライドすると、全ルート図表示画面のすべてのメニューを表示することができます。



① 目的地の名称または住所が表示されます。

② 目的地を登録地として登録します。

③ 目的地の現在の天気が表示されます。
- 「スズキコネクト（ナビ）」利用契約が必要となります。

④ 出発地点から目的地までの距離と所要時間、到着予想時刻を表示します。
目的地を複数設定している場合、タッチすると各目的地の到着予想時刻が一覧で表示されます。

⑤ 目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示します。
初期設定では ETC 料金が表示されます。ETC 料金表示設定をオフにすると、ETC を使用しない料金が表示されます。

⑥ 最初に有料道路に入る IC 名称を左側に、最後に一般道路に出る IC 名称を右側に表示します。入口および出口名称をタッチすることで利用する IC を変更することができます。
ETC 料金は通過予想時間を考慮して割引した料金が表示されますが、運転状況や交通状況、または割引制度の改定により割引が適応されない場合があります。

⑦ ルートオプションを表示します。

⑧ 目的地の詳細情報を表示します。

⑨ 目的地を設定した周辺の駐車場リストを表示します。
- 駐車場の料金が表示されます。
  - 駐車時間を設定すると、現在の時刻からの駐車時間を考慮した駐車料金が表示されます。
  - 駐車時間の設定は 1 時間〜 24 時間までの 1 時間単位で設定できます。
  - 駐車時料金が 1 万円以上かかる場合、「1 万円〜」と表示されます。
  - 「スズキコネクト（ナビ）」利用契約が必要となります。

⑩ ルートの情報を表示します。

⑪ 条件の異なるルートに変更できます。
- 推奨、距離優先、一般優先の 3 つの条件のルートから選択できます。初期設定は推奨ルートが選択されています。
  - センターへの接続状況などにより、探索されるルートが異なる場合があります。

⑫ 目的地案内を開始します。長押しすると目的地案内のデモを開始します。
- 「スズキコネクト（ナビ）」利用契約時は、施設を目的地に設定した場合に、営業時間などが表示される場合があります。
  - 施設が定休日や営業時間外で到着予想時刻が案内できない、または実際と合わない場合は確認する通知が表示されます。
  - 施設の営業時間・定休日は実際と異なる場合があります。
- 目的地が高速道路または有料道路上に近く、橋やトンネル、線路などに近いとき、高速道路上やその周辺に変更することを確認する通知が表示されます。

⑬ 選択中のルートとは別のルートを選択することで希望のルートに変更できます。

- ¥ が表示されているルートは有料道路を含むルートです。

MEMO

- 居住者規制エリアに入るルート上の地点に × が表示されます。
- ルート探索ができなかったときは、画面上に通知が表示されます。

ルートを設定する

いろいろな検索方法で目的の場所や施設を設定し、目的地へのルート探索を行います。

1 場所を検索する

「目的地を検索する」（76 ページ）を参照してください。

2 希望の目的地をタッチする

MEMO

- すでに目的地が設定されているときは、メッセージが表示されます。「経由地を追加する」（87 ページ）を参照してください。



ルートの詳細を見る

ルート案内を開始する前にルートの詳細を見ることができます。

目的地案内のデモを見る

目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。

1 全ルート図表示画面で [開始] を長押しする



2 × をタッチしてデモを終了する

走行することによってもデモは終了します。



MEMO

- 縮尺によってデモの速度は変わります。

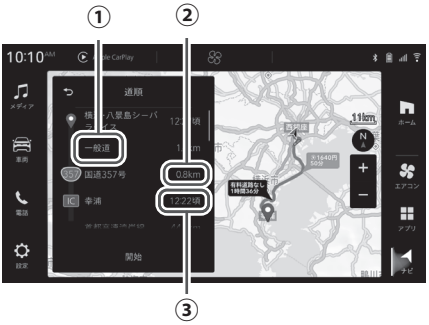
ルート情報を表示する

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・通過予想時刻）を表示させることができます。

1 全ルート図表示画面で [道順] をタッチする

2 目的地までのルート情報が表示される

現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に自車位置マーク が表示されます。



① 道路名称を表示します。

② 道路種別などの切り換わり地点までの距離を表示します。

③ 通過予想時刻を表示します。

経由地を追加する

目的地をすでに設定しているとき、新たな目的地を経由地として追加することができます。

1 目的地を設定する

「ルートを設定する」（86 ページ）を参照してください。

2 [新規目的地]、[経由地追加] をタッチする



- 目的地を追加で設定しようとするとメッセージが表示されます。
  - [新規目的地]：
    設定している目的地を削除し、新たに目的地までのルート探索を開始します。
  - [経由地追加]：
    経由地として目的地までのルート探索を開始します。

MEMO

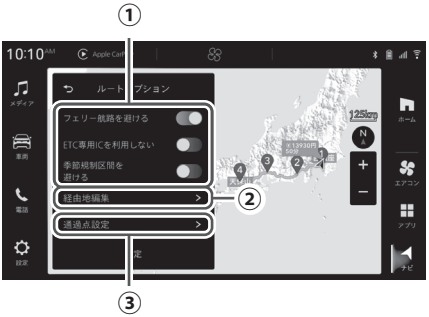
- 地図画面上で任意の地点をタッチして、経由地を追加することもできます。
- 目的地は経由地と合わせて 10 か所まで追加できます。
- 経由地は一番手前の目的地として追加されます。順番を変更する場合は、経由地編集で変更してください。「経由地を編集する」（88 ページ）を参照してください。

ルートオプションを変更する

ETC 専用料金所（スマート IC）を利用する／しないなど、ルート探索するときの条件を変更できます。

1 **全ルート図表示画面で [ルートオプション] をタッチする**

2 **設定したい条件のオン／オフを変更する**



① [フェリー航路を避ける]
[ETC 専用 IC を利用しない]
[季節規制区間を避ける]：
特定ルート探索条件のオン／オフを設定します。

② [経由地編集]：
設定されている経由地の順番を入れ替えます。「経由地を編集する」を参照してください。

③ [通過点設定]：
通過点の追加や削除をします。「通過する地点を設定する」(89 ページ) を参照してください。

3 **[確定] をタッチする**

経由地を編集する

ルート上に設定している経由地の順番の変更、および削除ができます。

1 **全ルート図表示画面で [ルートオプション] をタッチする**

2 **[経由地編集] をタッチする**

3 **[上に移動][下に移動] をタッチして、経由地の順番を入れ替える**

:タッチした経由地を削除することができます。



4 **[確定] をタッチする**

通過する地点を設定する

目的地を設定した後、経由地（目的地）とは別に通過する地点を設定することができます。

1 全ルート図表示画面で [ルートオプション] をタッチする

2 [通過点設定] をタッチする

3 通過点設定画面で ＋ をタッチする

4 通過点として追加したい地点を地図上で設定する

:タッチした通過点を削除することができます。



5 [確定] をタッチする

他の経路に変更する

条件の異なるルートから、希望のルートを選択できます。

1 全ルート図表示画面で [他のルート] をタッチする

2 [推奨]、[距離優先]、[一般優先] から希望のルートをタッチする

3 [確定] をタッチする

MEMO

- 「スズキコネクト（ナビ）」利用時は、［運転しやすい］、［省エネ］、［時間優先］が追加されます。



出入り口 IC（インターチェンジ）を指定する

全ルート図表示画面に表示される出口 IC・入口 IC をそれぞれ指定することができます。

1 全ルート図表示画面で [（IC 名称）] をタッチする



- 設定されているIC周辺のIC名称が表示されます。

2 指定したい [（IC 名称）] をタッチする

3 [確定] をタッチする

目的地の詳細情報を表示する

1 全ルート図表示画面で [目的地情報] をタッチする

地点の住所や電話番号、施設の場合は営業時間や定休日などの情報を表示します。



ルート案内を開始する

ルートの探索が終了すると、全ルート図表示画面が表示されます。

1 [開始] をタッチする



- ルート案内が開始されます。

ルートを消去して案内を中止する

案内中のルートを消去してルート案内を中止できます。

1 ルート案内開始後の現在地画面で [×] をタッチする

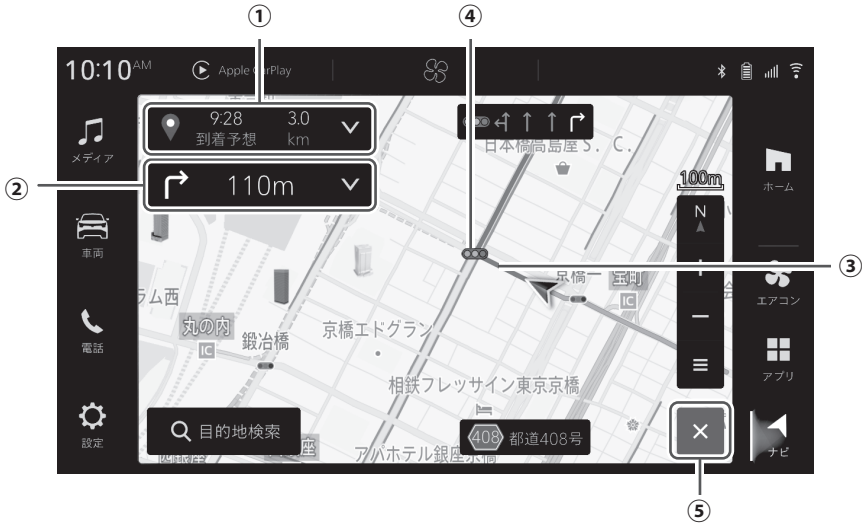


2 [案内終了] をタッチする

ルート案内

ルート案内画面の見方

ルート案内中は、ポイントとなる地点（交差点や分岐点など）で音声や画面で案内します。



① 自車位置から目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
タッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。
ルートから外れた場合は、到着予想時刻は表示されず、目的地までの直線距離が表示されます。

② 次に分岐する交差点までの距離と進行方向が表示されます。
タッチすると、目的地までの右左折などを案内するターンリストが表示されます。

③ 目的地を設定したとき、目的地までのルートが表示されます。
ルート上に混雑や渋滞があった場合はルート色が変化します。
（赤色：渋滞、橙色：混雑、黒色：通行止め）※
ルートの表示色の設定（地図表示カスタマイズ）については「ナビ設定」（180ページ）を参照してください。

④ 目的地案内中、直近の通過および分岐する交差点や分岐点が案内されます。

⑤ 案内を終了します。
複数目的地を設定している場合は、[案内終了] をタッチすることですべての目的地設定を削除し案内を終了、[次の目的地を削除] をタッチすることで次の目的地設定のみを削除し案内は継続されます。

※ 選択した地図色や昼モード／夜モードの表示状況により、表示色は異なります。

MEMO

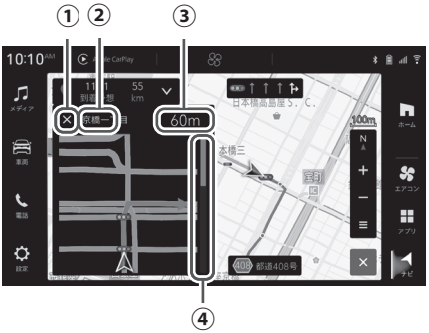
- 緊急情報を受信したとき、ルート案内画面上に通知が表示されます。
- サービス対象道路にてナビが逆走状態を検知したとき、逆走注意の案内が表示されます。

ルート案内中の表示について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、交差点拡大図に切り換わります。

交差点案内

分岐する交差点に近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点手前では、交差点拡大図が表示されます。



① 交差点拡大図を閉じます。

② 通過・分岐する交差点の名称を表示します。

③ 交差点までの残距離を表示します。

④ 交差点に近づくとともにゲージが短くなります。

MEMO

- 地図データに情報のない交差点では、レーン案内・交差点名称は表示されません。
- 交差点拡大図は実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
- 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなることがあります。

立体的な拡大図

目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

- 拡大図を解除するときは拡大図内の ✕ をタッチします。

MEMO

- 地図データに情報のある地点で表示されます。

■立体交差点



■都市高速 IC 入口



■都市高速レーン



音声案内について

■音声案内

以下の地点が近づくと、音声を出力して案内します。

- 有料道および一部の自動車専用道の合流地点
- 事故多発地点／踏切地点
- 右左折専用レーン地点／レーン減少地点
- 渋滞情報や規制情報がある地点

以下の地点を通過すると、音声を出力して案内します。

- 県境

■進行方向の案内

ルート案内中は、運転の状況や車の速度に応じて音声で進行方向（8 方向）を案内します。

MEMO

- 右方向や左方向などの案内だけでは進行方向の判断が難しい地点の場合、走行すべきレーンなどの情報も案内することがあります。
- 案内する右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 案内ポイントや他の音声案内のタイミングと重なった場合は音声案内を行わない場合があります。

都市高速レーン案内

都市高速において、レーン移動が必要な場合は音声により案内します。

■都市高速での音声案内例

- 連続車線変更事前注意
  「この先、300m ですぐに右に車線変更が必要です。」
- 車線変更禁止区間
  「およそ 1km 先○○出口です。車線変更禁止区間にご注意ください。」
- 複数レーン
  「まもなく、○○方面です。右側 2 車線を走行してください。」

交差点目印・信号機案内

目的地案内中、交差点で曲がる方向をわかりやすくするために、曲がる方向と目印となる施設を音声で案内します。

■交差点での音声案内例

「まもなく、右方向です。○○が目印です。」

別のルートを探索する

目的地案内中（ルートから外れたときも含む）に、ルートの再探索をすることができます。

1 地図画面で ∨ をタッチする



2 [ルートオプション] または [他のルート] をタッチする

3 再探索する条件をタッチする

4 [確定] をタッチする

VICS・交通情報

VICS・交通情報を使う

地図上に VICS 記号や交通情報を表示することができます。ルート上に混雑情報を表示します。

1 **メインメニュータブの [設定] →[ナビ] →[地図表示] をタッチする**

- 赤色：渋滞
- 橙色：混雑
- 緑色：空き道

交通情報の表示／非表示の切り換えは地図表示設定画面で行います。「ナビ設定」(180 ページ) を参照してください。



VICS・交通情報について

- 表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。
- 交通情報量が多い場合は、表示までに時間がかかります。
- 1.6kmスケールより広域な地図では、交通情報は表示されません。

■現況 VICS 情報について

VICS センターから提供される現況の情報です。

MEMO

- 現況情報は、1.6km スケールより広域な地図で表示することができません。VICS 記号によっては、表示できるスケールが異なります。

■現況プローブ交通情報について

センターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報です。

「スズキコネクト (ナビ)」契約期間内、かつセンターに接続されているときは現況交通情報も表示されます。

タイムスタンプの情報表示について

地図表示設定から、現況情報の提供時刻を表示することができます。



■時刻表示

- 現況情報が提供された時刻を示しています。（現況情報が受信された時刻ではありません。）
- 現況情報が継続して受信されないと、約 30 分後に自動的に消去され、[- - : - -] の表示になります。現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が [- - : - -] になります。
- POWERスイッチをACCまたはオンにした直後など、現況情報が受信されるまでは、[- - : - -] の表示になります。

渋滞や規制情報の音声案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 1km 以内）の現況情報を音声案内させることができます。

音声案内の例：

- VICS 表示がある地点：「およそ 1km 先渋滞があります」
- VICS 記号のある地点：「およそ 1km 先電気工事のため車線規制中です」

MEMO

- 渋滞と規制音声自動発声の出力オン／オフを設定できます。「ナビ設定」（180 ページ）を参照してください。

VICS 記号の内容を表示する

地図画面上に表示される記号をタッチし、道路の状況や施設情報、規制情報を表示することができます。

地図上の VICS 記号をタッチします。



VICS・交通情報を表示する道路を設定する

地図画面上の交通情報を表示する道路を設定することができます。

1 **メインメニュータブの [設定] →[ナビ]→[地図表示]→[道路種別の表示] をタッチする**

2 **表示したい道路の種別をタッチする**

MEMO

- ハイウェイモードでは、[一般道] に設定しているときでも、VICS・交通情報が表示されます。
- 非表示を選択すると VICS 情報は表示されません。

VICS・交通情報を表示する内容を設定する

地図画面上に表示する交通情報などの種類を設定することができます。

1 **メインメニュータブの [設定] →[ナビ]→[地図表示] をタッチする**

2 **表示する現況情報をタッチする**

- [渋滞表示]
- [空き道表示]
- [規制情報]
- [駐車場]
- [充電施設]

タッチするごとにオン／オフが切り換わります。

VICS 図形情報や文字情報を表示する

図形情報や文字情報を表示することができます。

1 **メインメニュータブの [設定] → [ナビ] → [交通情報] → [FM VICS] をタッチする**

2 **[FM 図形]、または [FM 文字] をタッチする**

3 **情報の番号 ([1]/[2]/[3]...) をタッチする**

4 **< > または [自動送り] をタッチする**

- [自動送り] をタッチすると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。走行中は自動送りできません。
- 情報の自動送りを中止するときは、[停止] をタッチします。
- 自動送り中に < > をタッチしたときは、自動送りを中止します。
- [目次]をタッチすると、手順3の画面に戻ります。

緊急情報の表示について

緊急情報（気象、津波、火山噴火（地震を除く））の特別警報を受信すると自動的に表示します。

緊急情報を切り換えるときは、< > をタッチします。



緊急情報を地図画面から再表示する

一度表示した緊急情報を地図画面から再表示することができます。

- 地図上部の [表示] をタッチします。

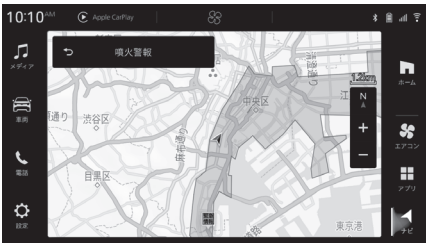
緊急情報を設定画面から再表示する

一度表示した緊急情報を設定画面から再表示することができます。

1 **メインメニュータブの [設定] → [ナビ] → [交通情報] → [FM VICS] → [FM 緊急] をタッチする**

気象、災害情報のエリア表示について

気象、災害情報を受信すると地図上に自動的に該当エリアがハイライト表示されます。



MEMO

- 文字情報と同時に受信したときは、切り換えることができます。

割込情報（ETC2.0 サービス）の表示について

ETC2.0 サービスでは、以下のサービスが受けられます。

- 安全運転支援（ETC2.0 注意警戒情報）案内サービス
- 道路交通情報提供サービス

MEMO

- 割込情報の表示時にブザー音を出力することのオン／オフを設定できます。「ナビ設定」（180 ページ）を参照してください。
- 割込情報の音量は、システム設定で調整できます。「システム設定」（190 ページ）を参照してください。

安全運転支援（ETC2.0 注意警戒情報）案内サービス

見通しの悪いカーブの先の停止車両や渋滞情報を高速道路などに設置された ITS スポットから受信して、カーブへの進入前に音声と画面表示で案内します。

MEMO

- ×をタッチすると、元の画面に戻ります。
- ETC2.0 音声案内をオンに設定した場合でも、読み上げボタンでオン／オフが切り換えできます。音声案内を中止する操作に連動して、ETC2.0 音声案内もオフに設定されます。

道路交通情報提供サービス

代表例として以下のような情報が提供されます。

■前方状況情報提供サービス

進行方向先の交通状況を画面表示と音声、または音声のみで案内します。

■長文読上げサービス

ハイウェイラジオなどの情報を音声で案内します。

「ETC2.0のハイウェイラジオ情報を受信しました。読み上げますか？」

[はい] をタッチすると、情報を読み上げます。

読上げ中、[中止] をタッチすると、読上げを中止します。

■施設情報提供サービス

進行方向先のサービスエリアやパーキングエリアの混雑情報や施設情報を画面や音声で案内します。

割込情報（ETC2.0 サービス）を再表示する

割込情報の表示をオフに設定しているときに、提供時刻より約 30 分以内に受信された割込情報を表示させることができます。また、一度表示された割込情報を再度表示させることもできます。

1 **メインメニュータブの [設定] →[ナビ] →[交通情報] →情報履歴の [ETC2.0] をタッチする**

2 **< > をタッチして、割込情報を切り換える**

自動割込を設定する

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。

1 **メインメニュータブの [設定] →[ナビ] →[交通情報] をタッチする**

2 **各項目を設定する**

■表示設定

- [ETC2.0 表示情報]:
  ETC2.0 道路交通情報を表示します。
- [ETC2.0 注意警戒情報]:
  ETC2.0 安全運転支援（注意警戒情報）案内を表示します。
- [VICS/ETC2.0 表示時間]:
  VICS および ETC2.0 割込情報の表示時間を設定します。

■音声／音設定

- [VICS 割込音]:
  VICS 割込情報の表示時にブザー音を出力します。
- [ETC2.0 割込音]:
  ETC2.0 割込情報の表示時にブザー音を出力します。
- [ETC2.0 音声案内]:
  長文読上げ情報以外の音声情報の発話を設定します。

MEMO

- 自動割込情報を非表示に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報または図形情報が表示されます。
- ETC2.0 音声案内の音量は、[設定] ／[システム] ／[音量] ／[案内音量] で設定した音量になります。「システム設定」（190 ページ）を参照してください。

自動割込表示時間を調整する

割込情報の表示時間の調整をすることができます。

1 **メインメニュータブの [設定] → [ナビ] → [交通情報] → [VICS/ETC2.0 表示時間] をタッチする**

2 **表示時間を選択する**

MEMO

- 表示時間を 5 ～ 30 秒で選択します。
- 音声案内中は、表示設定時間を経過しても、音声案内が終了するまで表示は消えません。

ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする※

※: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

走行履歴などの情報（走行位置の履歴や車両に関する情報など）をETC2.0 ユニットを通じて、ITS スポットへ送ることができます。詳しくは、「道路管理者からのお知らせとお願い」をご覧ください。

1 **メインメニュータブの [設定] → [ナビ] → [交通情報] をタッチする**

2 **走行履歴のアップリンク内の [ETC2.0] をタッチする**

タッチするごとに、オン／オフが切り換わります。

MEMO

- 本設定をオフに変更した場合は、走行履歴の情報を利用した渋滞回避などのサービスを受けられないことがあります。

ETC2.0 の個人・プライバシー情報消去について※

※: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ETC2.0 ユニットおよび本機には、以下の ETC2.0 サービスに関連する個人・プライバシー情報が保存され、消去することができます。

機器	個人・プライバシー情報
ETC2.0 ユニット	故障診断に必要な位置情報
本機	ETC2.0 走行情報

個人・プライバシー情報の消去方法

ETC2.0 ユニットの個人・プライバシー情報はスズキ販売店またはスズキ代理店にて消去することが可能です。

消去される個人・プライバシー情報には、ETC カード履歴およびセットアップ情報は含まれません。

本機の個人・プライバシー情報の消去については「システム設定」(190 ページ) を参照してください。

MEMO

- お車を手放すときに消去しなかった個人・プライバシー情報の漏洩については、スズキ株式会社は一切の責任を負いません。

新旧ルートを比較して表示する

ビーコンまたはセンターなどから提供される現況情報が受信され、渋滞および規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、[新しいルートが見つかりました]と表示されます。
[確認する] をタッチすると新ルートと元ルートの全体図を表示します。

[使用する] をタッチすると新しいルートで案内します。

比較画面を表示中に操作しなかったとき、または新ルートと元ルートの分岐点を通過したときは、元ルートで案内します。

新旧ルート比較表示をオンに設定したとき、新旧ルート比較表示ができます。「ナビ設定」(180 ページ) を参照してください。



VICS 放送局を選択する

現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。通常は、自動で受信するように設定してください。自動で受信されないときのみ手動で放送局、または放送エリアを選局してください。

1 **メインメニュータブの [設定] →[ナビ] →[交通情報] をタッチする**

2 **[VICS] の [自動選局] をタッチする**



- [自動選局] をオンにすると、現在地がある都道府県の、VICS 提供 FM 放送局が受信され、移動すると自動的に放送局が切り換わります。
- [自動選局]をオフにし、[都道府県]をタッチし、受信させる放送局のある都道府県名をタッチすると、選択した都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信されます。
  受信状態が変わると、選択した都道府県内で自動的に放送局が切り換わります。
- [自動選局] をオフにし、[＋][－] をタッチして放送局の周波数を合わせると、放送局が受信されます。
  放送局の電波が受信されると、「受信中」が表示されます。
  受信状態が変わっても自動的に放送局は切り換わりません。

知っておいていただきたいこと

VICS（Vehicle Information and Communication System：
道路交通情報通信システム）は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICSリンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会・公益財団法人日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

VICS、およびこの機器に付与されたVICSのロゴマークは一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

- VICS による交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。
- 提供されるVICS情報はあくまでも参考としてください。（提供されるVICS 情報は、最新ではないことがあります。）
- VICS の表示内容は、VICS センターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。

VICS 記号と表示一覧

記号 ※1	道路の種類／状況
（黒色）	通行止めの区間
（赤色）	渋滞している道路
（橙色）	混雑している道路
（緑色）	空き道

記号	施設情報
P P（青色）	駐車場／臨時駐車場（空車）
P P（橙色）	駐車場／臨時駐車場（混雑）
P P（赤色）	駐車場／臨時駐車場（満車）
P P（赤色）	駐車場／臨時駐車場（閉鎖）
P P（黒色）	駐車場／臨時駐車場（不明）
SA PA（青色）	SA・PA（空車）
SA PA（橙色）	SA・PA（混雑）
SA PA（赤色）	SA・PA（満車）
SA PA（赤色）	SA・PA（閉鎖）
SA PA（黒色）	SA・PA（不明）
（青色）	充電施設（空き有り）
（橙色）	充電施設（混雑）
（赤色）	充電施設（空き無し）
（赤色）	充電施設（閉鎖）
（黒色）	充電施設（不明）

※1：選択した地図色や昼モード／夜モードの表示状況により、表示色が異なります。

記号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
	注意
	災害
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
	速度規制
	イベント
	気象警戒速報
	災害速報

記号	規制情報
	緊急情報
	地震警戒宣言
	開催期間外のイベント

「VICSWIDE」について

本機は「VICSWIDE」に対応しています。従来の VICS に加えて、次のようなサービスを利用することができます。

- プローブ情報に対応した渋滞情報の提供拡大
- 緊急情報（特別警報（地震を除く））の提供
- 気象・災害情報エリアの表示

VICS のメディアについて

VICS は、FM 多重放送・電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）の 2 つのメディアを受信することができます。

- 2 つのメディアはそれぞれ特長が異なります。

■FM 多重放送

FM 多重放送は、VICS 提供 FM 放送局（NHK-FM）から電波の届く範囲の車両に VICS 情報の提供が行われます。

■電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）

電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）は、主に高速道路の路側に設置されており、その地点を通過する車両に ETC2.0 サービス情報の提供が行われます。また、ITS スポットにて受信した情報をナビゲーションに蓄積し、高速道路上の任意の場所でタイミングよく情報提供が行われる場合もあります。

VICS の運用時間について

24 時間運用されています。

ただし、FM 多重放送は、第 1・第 3 月曜日の AM1：00 ～ 5：00 のあいだはメンテナンスのため休止する場合があります。

- 休止時間については、VICS FM 多重放送の「お知らせ」で案内します。
- VICS の運用時間は予告なく変更・廃止されることがあります。

VICS FM 多重放送を受信できないとき

FM放送局から遠い場所などでは受信状態が悪くなり、受信できない場合があります。

VICS の用語について

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

■緊急情報について

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

■交通情報関連の用語について

- 渋滞：
  交通の流れが非常に悪い状態を示します。
- 混雑：
  交通の流れがやや悪い状態を示します。

■駐車場・SA・PA 関連の用語について

- 空車：
  駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
- 混雑：
  駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
- 満車：
  駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
- 閉鎖：
  駐車場（SA・PA）が閉鎖されている状態を示します。
- 不明：
  駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。

VICS センター著作権について

この製品を使用する際には、以下の条項への同意が必要です。

1 お客様は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが所有しまたは管理することに同意する。

2 お客様は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICS、ETC2.0（ITS スポット）の問い合わせ先について

■スズキ販売店またはスズキ代理店への問い合わせについて

以下の内容は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

本機、ETC2.0 ユニットの調子・機能・使用方法・表示・その他に関するもの

■VICS センターへの問い合わせについて

以下の内容は、VICS センターにご相談ください。

VICS、ETC2.0 サービスで提供される情報、およびご利用可能な場所に関するもの

■VICS センター

電話番号（受付時間 …9：30 ～ 17：45、土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）

0570-00-8831（全国共通・PHS、IP 電話などを除く）

FAX 番号（受付時間 …24 時間）

03-3562-1719

ホームページ

次のアドレスでも連絡先をご覧いただけます。https://www.vics.or.jp/

連絡先およびアドレスは、予告なしに変更・休止することがあります。ご了承ください。

道路管理者からのお知らせとお願い

車載器の ID 付きプローブ情報の利用及び取り扱い方針

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビから収集する車載器の ID 付きプローブ情報の利用や取り扱いの方針について、次の通り定めます。

車載器の ID 付きプローブ情報を提供いただくことで、経路情報を活用したサービスを提供することが可能となり、渋滞等を迂回する経路を走行したドライバーを優遇することなどが期待されます。

1. 車載器の ID 付きプローブ情報

(1) ここで「車載器の ID 付きプローブ情報」とは、ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビに記録された走行位置の履歴など「プローブ情報」に車両を特定するための「車載器の ID」を付与した情報で、道路管理者が管理する ITS スポット（DSRC 路側無線装置）※1 と通信を行うことにより ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビから収集される情報を言います。

※1：道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理する ITS スポットを含みます。

(2)「車載器の ID 付きプローブ情報」として収集される情報は次のとおりです。※2

- ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカ、型番等）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカ、型番等））
- 車両に関する情報 ※3
- 走行位置の履歴 ※4
- 急な車両の動きの履歴 ※4

※2：ただし、個別サービスの種類によっては、車載器の ID 付きプローブ情報として収集される情報以外の情報を利用する場合があるため、このようなサービスを利用する場合には、その利用や取り扱いについて、当該サービス提供者の説明を受け、同意した上で当該サービスを利用してください。

※3：車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報です。車両を特定するための車載器の ID に関する情報や自動車登録番号、車両番号が含まれます。ただし自動車登録番号、車両番号については 4 桁の一連番号は含まれません（例：「品川 500 あ 1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

※4：走行開始地点や走行終了地点は収集されません。

2. 車載器のID付きプローブ情報の利用目的

(1) 渋滞等を迂回する経路を走行したドライバーを優遇する等の経路情報を活用したサービスが実用化した場合、道路管理者は車載器の ID 付きプローブ情報を当該サービスの提供に利用します。

(2) 道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報を、経路情報を活用したサービスの有効性検証等のために利用する場合があります。

(3) 道路管理者は、(1) または (2) の目的以外で車載器のID付きプローブ情報を利用しません。

3. 車載器のID付きプローブ情報の収集

(1) 道路管理者は、道路管理者が管理す

る ITS スポット※1 によって、車載器のID付きプローブ情報を収集する場合があります。

(2) ETC2.0 対応カーナビと連動する
ETC2.0 車載器の利用者は、設定により 1. (2) で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択できる場合があります。※5

※5 : ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、設定により道路管理者へ車載器の ID 付きプローブ情報の提供を拒否する選択は行えません。また、ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、道路管理者からのお知らせとお願いとして周知している「プローブ情報の利用及び取り扱いについて」におけるプローブ情報の収集についても同様に、設定により道路管理者への情報の提供を拒否する選択は行えません。「プローブ情報の利用及び取り扱いについて」は ETC2.0 車載器の説明書または道路管理者 Web サイト等に掲載されています。ETC2.0 車載器を取得する前に、車載器の説明書等によりあらかじめ確認し、取得する ETC2.0 車載器を選択してください。

(3) ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ利用者は、設定により道路管理者への (2) で示す車載器の ID 付きプローブ情報の提供を拒否する選択をした場合、2. (1) の経路情報を活用したサービスによる優遇は受けられません。※6

※6 : カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは経路情報を活用したサービスによる優遇が受けられません。

4. 車載器のID付きプローブ情報の第三者への提供

(1) 道路管理者は、2. (1) 及び (2) の目的のため、収集した車載器の ID 付きプローブ情報を個別の車両を特定できないよう統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

(2) 道路管理者は、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ、ITS スポット等の関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、車載器の ID 付きプローブ情報又はこれらを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカー等に提供する場合があります。

(3) 道路管理者は、(1) 及び (2) 以外で車載器のID付きプローブ情報を第三者に提供しません。

5. 車載器のID付きプローブ情報の取り扱い等

(1) 道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報を安全に管理し、情報の漏えい等の防止に努めます。

(2) 道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報が不要となった時点で、当該車載器のID付きプローブ情報を消去します。

(3) 道路管理者は、車載器のID付きプローブ情報の提供先における情報の安全管理および提供した情報が不要となった時点で情報を消去することについて、提供先を適切に指導します。

6. 問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室

03-5253-8111(代)

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社

2015 年 7 月現在

プローブ情報の利用及び取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビからプローブ情報を収集する場合における情報の利用や取り扱いについて、次の通りお知らせします。

プローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みにも活用する予定です。

なお、道路管理者はこのお知らせを変更することがあります。この場合には変更後のお知らせを道路管理者 Web サイト等に掲載します。

1．プローブ情報

(1) ここで「プローブ情報」とは、ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者が管理するITSスポット（DSRC 路側無線装置）※1と無線通信を行うことによりETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビから収集される情報を言います。
なお、このプローブ情報から車両又は個人を特定することはできません。プローブ情報として収集する情報は次の通りです。※2

- ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカー、型番等）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカー、型番等））
- 車両に関する情報 ※3
- 走行位置の履歴 ※4
- 急な車両の動きの履歴 ※4

※1：道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理するITSスポットを含みます。

※2：ただし、個別サービスの種類によっては、車載器のID付きプローブ情報として収集される情報以外の情報を利用する場合があるため、このようなサービスを利用する場合には、その利用や取り扱いについて、当該サービス提供者の説明を受け、同意した上で当該サービスを利用してください。

※3：車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号又は車両番号の4桁の一連番号は含まれないため、車両又は個人を特定することはできません（例：「品川500あ1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

※4：走行開始地点や走行終了地点などの個人情報にかかわる情報は、収集されません。

2．プローブ情報の利用目的

(1) 道路管理者は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサービス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。※5

※5：例えば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ドライバーに情報提供することが考えられます。

(2) 道路管理者は、(1) の目的以外でプローブ情報を利用しません。

3．プローブ情報の収集

(1) 道路管理者は、道路管理者が管理す

る ITS スポット※1 によって、プローブ情報を収集する場合があります。

(2) ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ利用者は、設定により、1．(1) で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択することができる場合があります。※6※7 選択の方法は ETC2.0 車載器及び ETC2.0対応カーナビの取扱説明書をご覧下さい。

※6：カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは該当しません。

※7：ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、設定により道路管理者への (2) で示す情報の提供を拒否する選択を行えません。

(3) ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供することで、これを利用した様々な追加サービスの提供を受けられる場合があります。

4．プローブ情報の第三者への提供

(1) 道路管理者は、2．(1) の目的のため、プローブ情報を統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

(2) 道路管理者は、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ、ITS スポット等の関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。

(3) 道路管理者は、(1) 及び (2) 以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

5．プローブ情報の取り扱い

(1) 道路管理者は、プローブ情報を安全に管理し、情報の漏えい等の防止に努めます。

(2) 道路管理者は、プローブ情報が不要となった時点で、当該プローブ情報を消去します。

(3) 道路管理者は、プローブ情報の提供先における情報の安全管理について、提供先を適切に指導します。

6．問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室

03-5253-8111(代)

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社

2015 年 7 月改定

2014 年 10 月改定

2010 年 10 月現在

MEMO

- 本機でのプローブ情報の選択の可否を設定する方法は、「ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする」（101 ページ）を参照してください。

VICS 過去データについて

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

甲＝一般財団法人道路交通情報通信システムセンター

1 契約者は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を甲、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権を甲が所有しまたは管理することに同意する。

2 契約者は、甲、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに甲の共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

ETC 情報を見る

ETC の利用に関する情報を表示したり、ETC カードに関する案内のオン／オフを設定できます。

⚠警告

- ETC車線では絶対に車をバックさせないでください。ETC 車線で開閉バーが開かなかった場合、危険ですので絶対に車をバックさせずハザードランプを点灯して停止し、係員の案内にしたがってください。
  高速道路上でのバックは後続車との接触事故の危険性が高く、重大事故に繋がります。※ バックして他の車線に入りなおすことは、お客さまおよび後続車のエラー発生の原因となります。
- ETCゲート付近では利用履歴の確認を行わないでください。路側無線装置と通信ができなくなるなど、ETC 車線に設置されている開閉バーが開かず思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- ETCアンテナの近くに電波を発する電子機器を設置しないでください。電波干渉により無線通信が正常に行われず、開閉バーが開かない、料金決済サービスが正しく受けられないなどの原因となる可能性があります。
- ETC カードの取り扱いについては、ETC カード発行会社の提示する注意事項にしたがってください。
- ETCカードに記載された有効期限をあらかじめ確認してください。ETC カードの有効期限が切れていると、開閉バーが開かず思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC ゲート手前、ETC ゲート、高速道路を走行中、ETC カードを抜いたり挿したりしないでください。ETC カード内のデータが破損したり、正しく料金清算が行われなくなるおそれがあります。
- ETC カードを車載器へ確実に挿入し、エラーなどがないかを確認してください。ETC カードが確実に挿入されていても、車載器が正しく作動していない場合開閉バーが開きません。車載器への ETC カードの挿し忘れ、挿し込み不良により開閉バーが開かないケースが多発しています。

ETC カード情報を見る

現在使用中の ETC カードの有効期限を表示できます。
連動タイプの ETC2.0 車載器（別売）／連動タイプの ETC 車載器（別売）を搭載している場合は、車載器情報などを表示できます。

1 メインメニュータブの [設定] → [ナビ] → [その他] → [ETC] → [登録情報表示] をタッチする



ETC の利用履歴を見る

1 メインメニュータブの [設定] → [ナビ] → [その他] → [ETC] → [履歴情報] をタッチする



- ETC 利用履歴が表示されます。

MEMO

- ETC 利用履歴を見るには ETC カードを挿入しておく必要があります。

プローブ情報アップリンクを設定する※

※: ETC2.0 車載器のみの機能になります。

プローブ情報は、走行した自動車から収集される位置や時刻などのデータをもとに作られる道路交通情報です。自車から道路側に情報を送信（提供）することをアップリンクといいます。

1 **メインメニュータブの [設定] → [ナビ] → [交通情報] をタッチする**

2 **走行履歴のアップリンク内の [ETC2.0] をタッチする**

タッチするごとに、オン／オフが切り換わります。
ETC2.0 車載器でプローブ情報アップリンク機能を使用できます。「ナビ設定」（180 ページ）を参照してください。

MEMO

- プローブ情報アップリンクをオンにすると、一部の高速道路区間で実施される料金割引サービスの適用対象となる場合があります。詳しくは、各高速道路管理会社の割引情報をご確認ください。
- 地図情報が古い場合、料金割引サービスの適用対象道路に案内しない場合があります。

ETC 情報の表示と音声案内を設定する

ETC 料金および ETC カードの状態などを画面と音声で通知します。

1 **メインメニュータブの [設定] → [ナビ] → [その他] → [ETC] → [設定] をタッチする**

2 **各項目を設定する**

■表示設定

- ETC 料金／情報通知
- カード挿し忘れ警告
- カード期限切れ事前通知

■音声設定

- ETC 料金／情報通知
- カード挿し忘れ警告
- カード抜き忘れ警告
- カード期限切れ事前通知

「ナビ設定」（180 ページ）を参照してください。

ナビゲーション機能の地図更新およびソフトウェア更新

地図およびソフトウェアを更新する

最新地図ソフトの全更新に対応する期間についてはポータルサイトで確認してください。
USB メモリーは、地図更新およびソフトウェア更新専用の USB 端子に接続してください。USB 端子の位置については「各部の名称と配置」（22 ページ）を参照してください。

⚠注意

- USB メモリーを地図更新／ソフトウェア更新専用の USB 端子に接続する際、指や手を挟むなど、けがをするおそれがあるため、注意して取り扱いください。
- 地図更新およびソフトウェア更新操作が、ご自身で実施困難と判断された場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

USB メモリー（パソコン）で更新する

アップデートを実行するには、次のポータルサイトにアクセスし、アップデートデータを USB メモリーにダウンロードします。

https://www.integrated-infotainment-system.com/portal/update-summary/

■地図およびソフトウェアを取得する

1 **USB メモリーを車両の USB 端子に接続する**

2 **メインメニュータブの [設定] →[システム] →[本体情報] →[ナビアップデート（USB）] →[更新情報の書き出し] をタッチする**

3 **USB メモリーを車両の USB 端子から取り外し、パソコンに接続する**

4 **ポータルサイトに接続し、ライセンスキーの発行に必要な更新情報をアップロードする**

5 **USB メモリーに地図全更新用データをダウンロードする**

⚠注意

- ダウンロードした地図データのファイル名および拡張子を変更しないでください。
- 地図データの入っているフォルダー（diff）には、地図データ以外の情報を入れないでください。
- ソフトウェア更新はお客様の責任において実行してください。
- ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンに戻すことはできません。
- ソフトウェア更新の内容によっては一部の設定が初期化されることがあります。その場合はソフトウェア更新後、再度設定を行ってください。
- ソフトウェア更新中は、USB メモリーを抜いたりしないでください。

6 **ライセンスキーを取得し、USB メモリーにダウンロードする**

■地図およびソフトウェアを更新する

1 **地図全更新用データとライセンスキーをダウンロードした USB メモリーを車両の USB 端子に接続する**

2 **メインメニュータブの [設定] →[システム] →[本体情報] →[ナビアップデート（USB）] →[更新] をタッチする**

- ライセンスキーが確認され、地図データが更新可能か判定されます。

3 **USB メモリーの地図データが本機にダウンロードされ、地図の更新が始まることを確認する**

- 地図更新が完了して、メッセージが表示されたら USB メモリーを取り外します。

MEMO

- 地図更新中は、センターディスプレイで他の操作を行わないでください。

4 **本機を再起動する**

地図データベースの情報を見る

本機に収録されている地図データバージョンは以下の方法で確認することができます。

1 **メインメニュータブの [設定] →[システム] →[本体情報] をタッチする**

地図データベースについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。
なお、このナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社トヨタマップマスターが製作したものです。
著作権情報については、以下の URL 内記載の「ナビゲーション取扱説明書補足」をご覧ください。
https://www.integrated-infotainment-system.com/portal/user-manual/

■交通規制データの出典

この地図に使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を使用しています。この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。

■交通事故多発地点

地図データに収録されている事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータを基に作成してあります。

■渋滞考慮探索および周辺迂回路探索

JARTIC/VICSの情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が作成したデータを使用しています。

■統計交通情報

統計交通情報データは、JARTIC/VICSおよび独自で収集した交通情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

■案内標識

Copyright 2013- lindwurm (Hotaka Hitagi)
Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

https://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS.
WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

■描画文字

対象データ：表示優先順データ

対象企業：観光経済新聞社
にっぽんの温泉 100 選

■充電施設

対象データ：EV ステーションデータ

対象企業：株式会社 e-Mobility Power
EV Smart by ENECHANGE（株）

MEMO

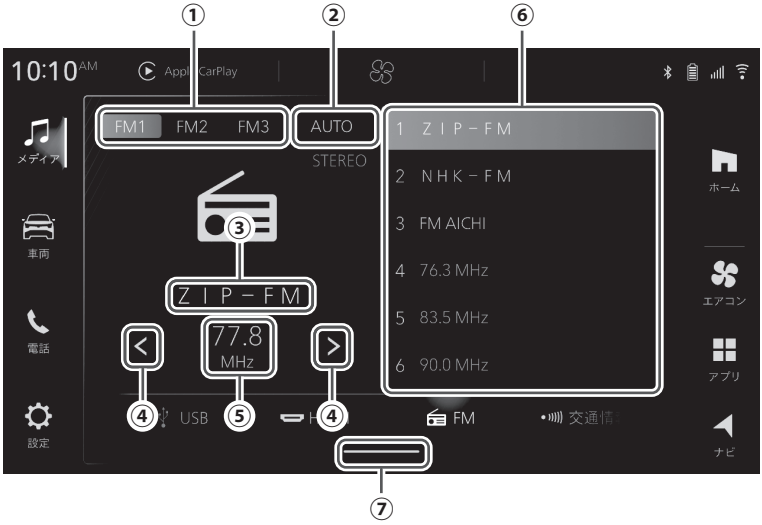
- 地図の作成にあたり、できるかぎり正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 幅が 3m 未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が 3m 未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

ラジオを聴く

希望の放送局に切り換えて、ラジオを受信できます。

ラジオ画面の見方

1 メインメニュータブの [メディア] → [FM] または [AM] をタッチする



- ラジオ画面が表示されます。

① 選択したいバンドに切り換えます。
FM 選択時：FM1、FM2、FM3
AM 選択時：AM1、AM2

② 受信可能な放送局が現在のプリセットチャンネルに上書き登録（オートストア）されます。

③ 選択中の放送局名が表示されます。

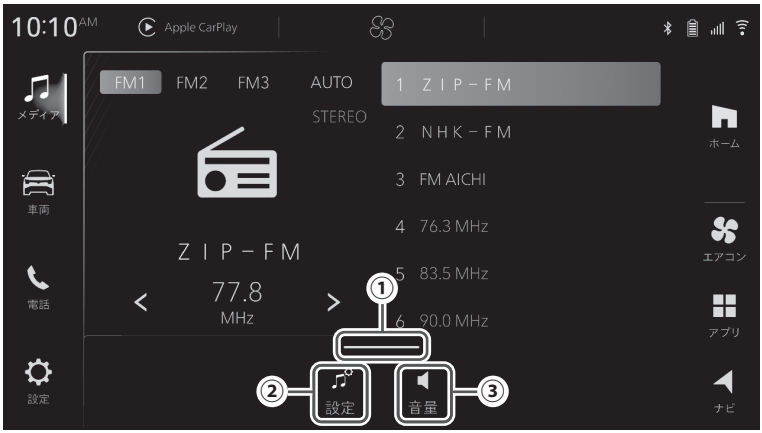
④ 放送局（周波数）を切り換えます。
タッチし続けると自動的に選局します。受信可能な放送局が見つかると自動的にその放送局を受信します。

⑤ 選択中の周波数を表示します。

⑥ 選択中のバンドにプリセットされている放送局（周波数）のリストを表示します。リストをタッチすると放送局（周波数）に切り換わります。また、リストをタッチし続けることで受信中の放送局（周波数）を登録することもできます。本機では、各バンドに放送局を 6 局まで登録しておくことができます。「リストから選局する」（122 ページ）および「放送局をプリセットする」（123 ページ）を参照してください。

⑦ タッチまたは上にフリックして格納メニューを表示します。

■格納メニュー



① タッチまたは下にフリックして格納メニューを非表示にします。

② メディア設定画面に切り換わります。「メディア設定」（169 ページ）を参照してください。

③ タッチして音量調整ポップアップ画面を表示します。スライダーをドラッグして音量を調整できます。
スライダーを表示させた状態で  をタッチすると音量をミュートして、  が表示されます。再度タッチするとミュートが解除されます。

ラジオを受信する

バンドを切り換える

1 メインメニュータブの [メディア] → [FM] または [AM] をタッチする

2 [FM1]/[FM2]/[FM3]/[AM1]/[AM2] をタッチする



MEMO

- 放送局名は、本機に収録されているデータに基づいて表示されます。
- 放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況により、受信できない場合があります。
- トンネル内や山の影、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所や電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- 本機を起動した直後は、電波状況によっては放送局名が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

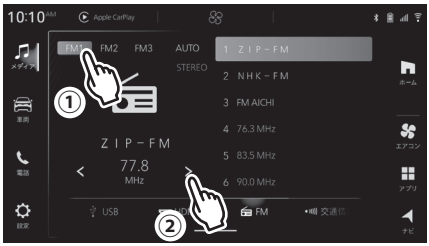
リストから選局する

1 バンドを選び、リスト内の聴きたい放送局をタッチする



自動で放送局を選ぶ

1 バンドを選び、< ／ > を周波数が連続して切り換わるまでタッチし続ける



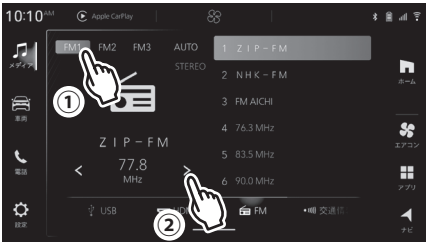
- 受信可能な放送局が見つかると自動的にその放送局を受信します。

MEMO

- 放送局名は、現在の自車位置から自動的に表示されます。

手動で放送局を選ぶ

1 バンドを選び、< ／ > をタッチする



- タッチするごとに周波数が切り換わります。

MEMO

- 放送局名は、現在の自車位置から自動的に表示されます。

放送局をプリセットする

本機はバンドごとに最大 6 つの放送局を登録できます。登録した放送局はリストに表示されます。

リストに自動で登録する（オートストア）

1 メインメニュータブの [メディア] → [FM] または [AM] をタッチする

2 バンドを選び、[AUTO] をタッチする

3 [はい] をタッチする

- 受信可能な放送局が、現在のプリセットリストに上書き登録されます。

MEMO

- 自動登録を停止するには、[中止] をタッチします。

リストに手動で登録する

1 メインメニュータブの [メディア] → [FM] または [AM] をタッチする

2 バンドを選び、放送局を受信する

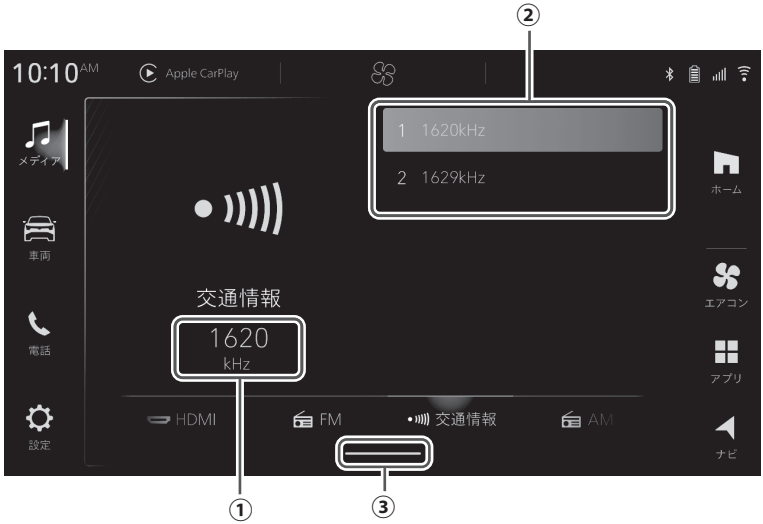
3 リスト内の上書きする放送局を登録が完了するまでタッチし続ける

交通情報を聴く

希望の周波数で交通情報を聴くことができます。

交通情報画面の見方

1 メインメニュータブの [メディア] → [交通情報] をタッチする



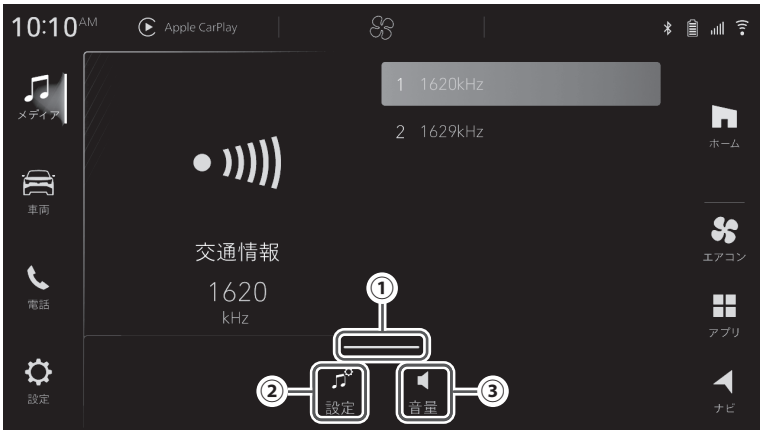
- 交通情報画面が表示され、交通情報が音声で案内されます。

① 選択中の交通情報の周波数を表示します。

② 交通情報の周波数リストを表示します。リストをタッチするとその周波数に切り換わります。

③ タッチまたは上にフリックして格納メニューを表示します。

■格納メニュー



① タッチまたは下にフリックして格納メニューを非表示にします。

② メディア設定画面に切り換わります。「メディア設定」（169 ページ）を参照してください。

③ タッチして音量調整ポップアップ画面を表示します。スライダーをドラッグして音量を調整できます。
スライダーを表示させた状態で  をタッチすると音量をミュートして、  が表示されます。再度タッチするとミュートが解除されます。

テレビを視聴する

希望のチャンネルに切り換えてテレビを視聴できます。

⚠警告

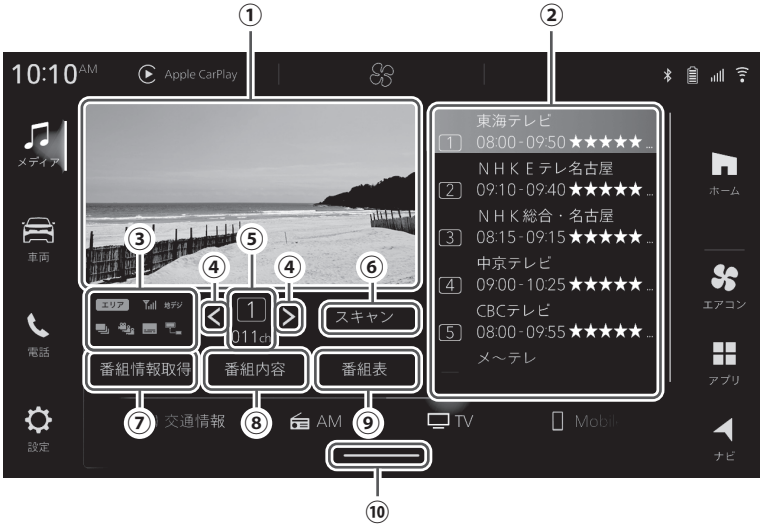
- 運転者がテレビを見るときは必ず安全な場所に停車させ、パーキングブレーキをかけてからご覧ください。

⚠注意

- 走行中、安全のため映像は表示されません。

テレビ画面の見方

1 メインメニュータブの [メディア] → [TV] をタッチする



- テレビ画面が表示されます。

① 受信中の映像を表示します。
停車中は自動で全画面表示になります。

② プリセットされているチャンネルのリストを表示します。リストをタッチするとそのチャンネルに切り換わります。

③ 電波の受信感度や、フルセグ／ワンセグの状態などを表示します。

- ホーム ドライブ エリア
  ：チャンネルモード - ホーム／ドライブ／エリア
- 
  ：アンテナ受信感度
- 
  ：フルセグ／ワンセグ放送を受信中
- 
  ：マルチ編成放送を受信中
- 
  ：マルチビュー放送を受信中
- 
  ：字幕放送を受信中
- 
  ：ワンセグ→フルセグの切り換え操作が可能

④ チャンネルを切り換えます。
タッチすると前後のチャンネルに切り換わります。タッチし続けると受信できるチャンネルを自動的に選局します。

⑤ 選択中のチャンネル番号（1 ～ 12）を表示します。

⑥ 受信状態の良いチャンネルをスキャンし、ホームモードまたはドライブモードのプリセットチャンネルにそれぞれ自動で登録します。「チャンネルをプリセットする」（129 ページ）を参照してください。

⑦ 番組表や番組内容を最新の状態にします。
- フルセグ放送の場合は当日分の番組情報を取得できます。
- ワンセグ放送の場合は最大で 10 番組分の番組表を取得できます。

⑧ 視聴中の番組内容を表示します。

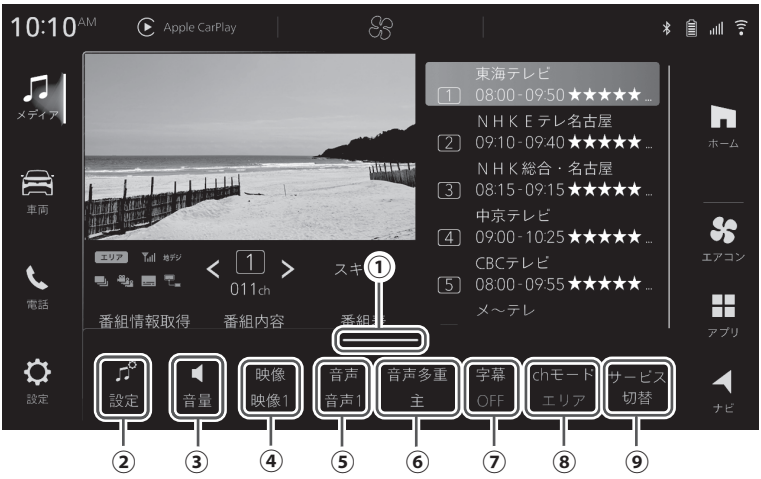
⑨ 番組表を表示します。
- フルセグ放送の場合は、本機が取得したチャンネルの当日分の番組表を表示できます。番組表は最大翌日まで表示する事ができます。
- ワンセグ放送の場合は最大で 10 番組分の番組表を表示できます。「番組表から探す」（130 ページ）を参照してください。

⑩ タッチまたは上にフリックして格納メニューを表示します。

MEMO

- リストにチャンネルが表示されていても、現在地の環境や電波状況により、受信できない場合があります。
- 放送内容によって表示されないアイコンがあります。
- ハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像です。また、双方向通信には対応していません。

■格納メニュー



① タッチまたは下にフリックして格納メニューを非表示にします。

② メディア設定画面に切り換わります。「メディア設定」（169 ページ）を参照してください。
テレビ放送を受信するときの機能を設定します。

③ タッチして音量調整ポップアップ画面を表示します。スライダーをドラッグして音量を調整できます。
スライダーを表示させた状態で  をタッチすると音量をミュートして、  が表示されます。再度タッチするとミュートが解除されます。

④ マルチビューなど複数の映像がある番組の場合は、映像を切り換えられます。

⑤ 番組に複数の音声言語がある場合は、音声を切り換えられます。

⑥ 番組が音声多重放送をしている場合は、主音声と副音声を切り換えられます。

⑦ 番組に字幕がある場合は、字幕言語と表示のオン／オフを切り換えられます。

⑧ チャンネルモード（ホームモード／ドライブモード／エリアモード）を切り換えられます。「チャンネルをプリセットする」（129 ページ）を参照してください。

⑨ 現在受信中のチャンネルで複数のサービスやワンセグが提供されている場合は、サービスを切り換えられます。

チャンネルをプリセットする

本機でテレビを見るには、まずチャンネルをプリセットしてください。
チャンネルは、以下の 3 つの場所ごとにプリセットできます。
以下のモードの例を参考にプリセットしてください（チャンネルモード）。

モード	チャンネルプリセットする場所
ホーム（自宅）	自宅のある住所など、通常テレビを視聴する場所にて手動でチャンネルをプリセットします。
ドライブ（行先）	ドライブでの行先（目的地）など、一時的にテレビを視聴する場所にて手動でチャンネルをプリセットします。
エリア（現地）	現在地で受信可能なチャンネルを自動でプリセットします。※

※ エリアチャンネルは自動でプリセットされますが、更新のタイミングにより、チャンネルをタッチしても受信できない場合があります。その場合は、チャンネルが更新されるまでしばらくお待ちください。

ホームモードでチャンネルプリセットする

初回起動時は、自動的にチャンネルをプリセットする状態になります。

1 **メインメニュータブの [メディア] → [TV] をタッチする**

2 **[TV] → [地域] →スキャンしたい地域名をタッチする**



- スキャンが開始されます。
- スキャンが完了すると、テレビメニュー画面が表示されます。
- 初回起動時以外の場合は、[スキャン] をタッチしてください。



MEMO

- 視聴する地域が変わった場合は、[TV] → [地域] でプリセットする地域を再度選択してください。

ドライブモードでチャンネルプリセットする

ドライブモードでチャンネルをプリセットする手順もホームモードの場合と同様です。ただし、ドライブモードの場合は地域を設定する操作はありません。

- [スキャン] をタッチしてください。

エリアモードでチャンネルプリセットする

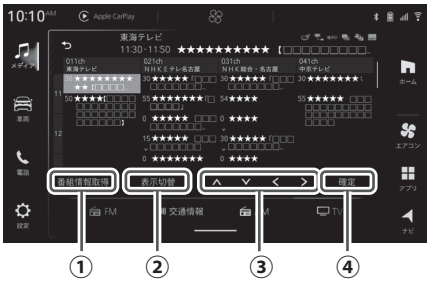
自車の位置に応じて受信可能なチャンネルを自動的にプリセットします。

番組表から探す

電子番組表（EPG）は最大翌日まで取得する事ができます。

1 **メインメニュータブルの [メディア] → [TV] をタッチする**

2 **[番組表] をタッチする**



- 番組表が表示されます。

① 番組情報を取得して、番組表や番組内容を最新の状態にします。

② 番組表に表示するチャンネル数を切り換えられます。
タッチするとチャンネル数が 4 チャンネル、6 チャンネル、1 チャンネルと切り換わります。

③ 選択したい番組を切り換えます。

④ 選択した番組の番組内容を表示します。

MEMO

- 番組情報取得を行っていない場合は、現在受信中のチャンネル以外が空欄で表示されることもあります。
[番組情報取得] をタッチすると当日分の番組情報を取得し、番組表に表示します。ワンセグ放送の場合は最大で 10 番組分の情報が表示されます。

iPod を使う

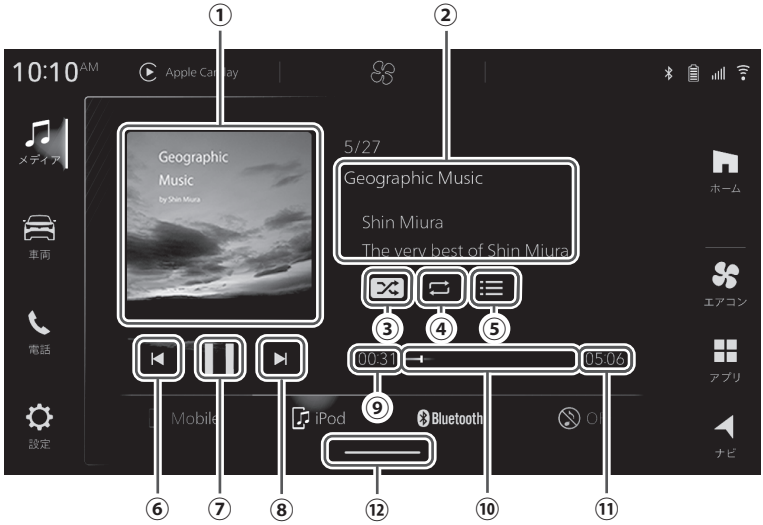
本機に接続した iPhone/iPod の音楽を再生できます。

iPod の再生と画面の見方

1 iPod を車両の USB 端子に接続する

USB 端子の位置については「各部の名称と配置」（22 ページ）を参照してください。

2 メインメニュータブの [メディア] → [iPod] をタッチする



- iPod 再生画面が表示されます。

① 再生中のジャケットを表示します。

② 再生中の曲名、アーティスト名、アルバム名を表示します。

③ 再生する曲の順番をシャッフルします。

タッチするとシャッフル再生のオン  ／オフ  が切り換わります。

④ リピート再生をします。
タッチするとリピート再生の範囲が切り換わります。

-  （全曲リピート）：すべての曲をリピートします。
-  （1 曲リピート）：再生中の曲をリピートします。
-  （リピートオフ）：リピート再生を解除します。

接続機器によっては、  （リピートオフ）が選択できない場合があります。

⑤ タッチするとアーティスト名やアルバムなどのリストを表示します。リストから曲を選択して再生できます。「リストから音楽を再生する」（133 ページ）を参照してください。接続機器によっては、リストを表示できない場合があります。

⑥ タッチすると曲の先頭に戻ります。さらにタッチすると前の曲に移動します。タッチし続けると、早戻しします。

⑦ 音楽の再生と一時停止をします。

-  ：タッチすると曲を一時停止します。
-  ：タッチすると曲を再生します。

⑧ タッチすると次の曲に移動します。タッチし続けると早送りします。

⑨ 再生している曲の経過時間を示します。

⑩ 現在の再生位置を示します。
カーソルをドラッグすると位置（時間）を指定して再生できます。
オーディオブック、Apple Music ラジオなどの一部のコンテンツについては再生位置の指定はできません。

⑪ 曲の総再生時間を表示します。

⑫ タッチまたは上にフリックして格納メニューを表示します。

■格納メニュー



① タッチまたは下にフリックして格納メニューを非表示にします。

② メディア設定画面に切り換わります。「メディア設定」（169 ページ）を参照してください。

③ タッチして音量調整ポップアップ画面を表示します。スライダーをドラッグして音量を調整できます。
スライダーを表示させた状態で  をタッチすると音量をミュートして、  が表示されます。再度タッチするとミュートが解除されます。

iPod の再生について

⚠注意

- iPod や接続ケーブルを車内に放置しないでください。特に炎天下などで車内が高温になり、iPod やケーブルが変形・変色したり、故障の原因となることがあります。
- 接続中の iPod の上に物を乗せたり、強い力を加えたりしないでください。iPod の故障の原因となることがあります。
- 車の POWER スイッチをオフにした後は、必ず iPod を取り外してください。接続したままでは iPod の電源が切れない場合があるため、iPod のバッテリーを消耗するおそれがあります。
- iPod の動作については、すべてを保証するものではありません。
- 本機と接続するときは、iPod のヘッドフォンなどのアクセサリーを使用しないでください。
- iPod の機種やソフトウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。
- ビデオファイルのみ保存している場合、「再生可能なファイルが見つかりません」と表示されます。

MEMO

- Apple CarPlay の使用中は、同じ機器で iPod の機能を使用できません。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機から iPod を取り外して再度接続してください。
- iPod が操作不能になった場合は、iPod 本体をリセットし、再度接続してください。
- リセット方法は、iPod の取扱説明書などで確認してください。
- Bluetooth で接続しても音楽やオーディオブックを再生できます。
  「Bluetooth 機器と接続する」（176 ページ）を参照してください。
- 楽曲情報は iPod に保存されたファイルのデータに基づいて表示されます。
- 接続可能な機器の最新情報については Web サイトをご覧ください。

リストから音楽を再生する

リストを表示し、ファイルを直接選択して再生できます。

1 **メインメニュータブの [メディア] → [iPod] をタッチする**

2 **→カテゴリーをタッチする**

3 **再生する曲をタッチする**

選択した曲の再生が始まります。

MEMO

- ご使用の iPod によって、リストに表示されるカテゴリーは異なります。
- iPod で表示されるリストと、本機で表示されるリストの並び順は一致しない場合があります。

Bluetooth Audio を使う

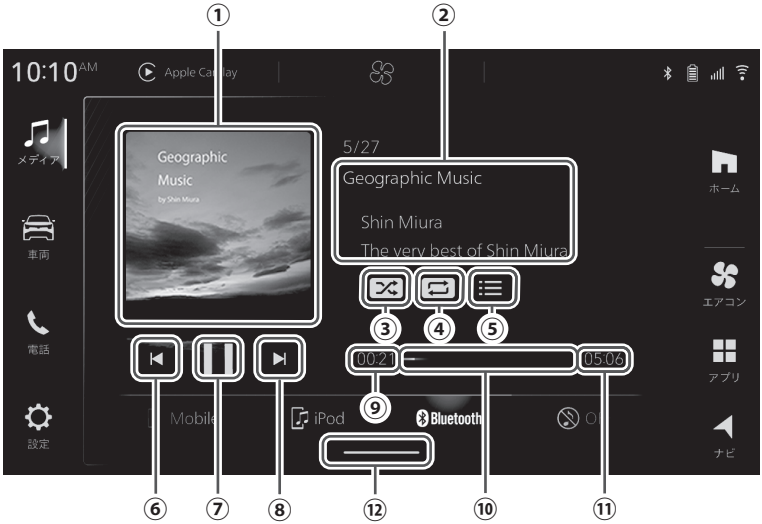
本機に接続した Bluetooth 機器の音楽を再生できます。

Bluetooth Audio の再生と画面の見方

1 Bluetooth 機器を接続する

Bluetooth 機器を使うには、あらかじめ Bluetooth 機器を登録してください。
「Bluetooth 機器を登録する」（56 ページ）または「本機を待ち受け状態にして Bluetooth 機器を登録する」（176 ページ）を参照してください。

2 メインメニュータブの [メディア] → [Bluetooth] をタッチする



- Bluetooth Audio 再生画面が表示されます。

① 再生中のジャケットを表示します。

② 再生中の曲名、アーティスト名、アルバム名を表示します。

③ 再生する曲の順番をシャッフルします。
タッチするとシャッフル再生のオン ／オフ が切り換わります。
接続機器によっては、機能しない場合があります。

④ リピート再生をします。
タッチするとリピート再生の範囲が切り換わります。

-  （全曲リピート）：すべての曲をリピートします。
-  （1 曲リピート）：再生中の曲をリピートします。
-  （リピートオフ）：リピート再生を解除します。

接続機器によっては、  （リピートオフ）が選択できない場合があります。

⑤ タッチするとアーティスト名やアルバムなどのリストを表示します。リストから曲を選択して再生できます。「リストから音楽を再生する」（137 ページ）を参照してください。接続機器によっては、リストを表示できない場合があります。

⑥ タッチすると曲の先頭に戻ります。さらにタッチすると前の曲に移動します。タッチし続けると、早戻しします。

⑦ 音楽の再生と一時停止をします。

-  ：タッチすると曲を一時停止します。
-  ：タッチすると曲を再生します。

⑧ タッチすると次の曲に移動します。タッチし続けると早送りします。

⑨ 再生している曲の経過時間を示します。

⑩ 現在の再生位置を示します。

⑪ 曲の総再生時間を表示します。

⑫ タッチまたは上にフリックして格納メニューを表示します。

■格納メニュー



① タッチまたは下にフリックして格納メニューを非表示にします。

② メディア設定画面に切り換わります。「メディア設定」（169 ページ）を参照してください。

③ タッチして音量調整ポップアップ画面を表示します。スライダーをドラッグして音量を調整できます。
スライダーを表示させた状態で  をタッチすると音量をミュートして、  が表示されます。再度タッチするとミュートが解除されます。

Bluetooth Audio の再生について

⚠注意

- Bluetooth 機器を車内に放置しないでください。特に炎天下などで車内が高温になり、Bluetooth 機器が変形・変色したり、故障の原因となることがあります。

MEMO

- 本機の電源をオフ／オン（POWER スイッチをオフ／オン）した場合、電源をオフする前に接続していた Bluetooth 機器とは異なる Bluetooth 機器と接続することがあります。
- Apple CarPlay/Android Auto の使用中は、Bluetooth での音楽再生はできません。
- Bluetooth 方式に対応しているオーディオ機器をお使いください。ただし、Bluetooth 機器の種類によっては、ご利用になれない場合や、利用できる機能に制限がある場合があります。
- Bluetooth 機器の収納場所、本機との距離によっては、音楽を再生できなかったり、音飛びが発生したりする場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置いてご利用ください。
- Bluetooth オーディオ対応のスマートフォンや携帯電話を使用して電話機能を使用している場合は、再生音は聴こえません。
- 楽曲情報は Bluetooth 機器に保存されたファイルのデータに基づいて表示されます。
- 接続する Bluetooth 機器によって、ジャケットが表示されない場合があります。
- Bluetooth 機器について、詳しくはそれぞれに付属の取扱説明書をご覧ください。

リストから音楽を再生する

リストを表示し、ファイルを直接選んで再生できます。

1 **メインメニュータブの [メディア] → [Bluetooth] をタッチする**

2 **→カテゴリーをタッチする**

3 **再生する曲をタッチする**

選択した曲の再生が始まります。

MEMO

- 接続中の Bluetooth 機器の状態によって、リストに表示される内容は異なります。

USB メモリーを使う

本機に接続した USB メモリーの音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。

⚠警告

- 運転者が動画を見るときは必ず安全な場所に停車させ、パーキングブレーキをかけてからご覧ください。

⚠注意

- 走行中、安全のため映像は表示されません。

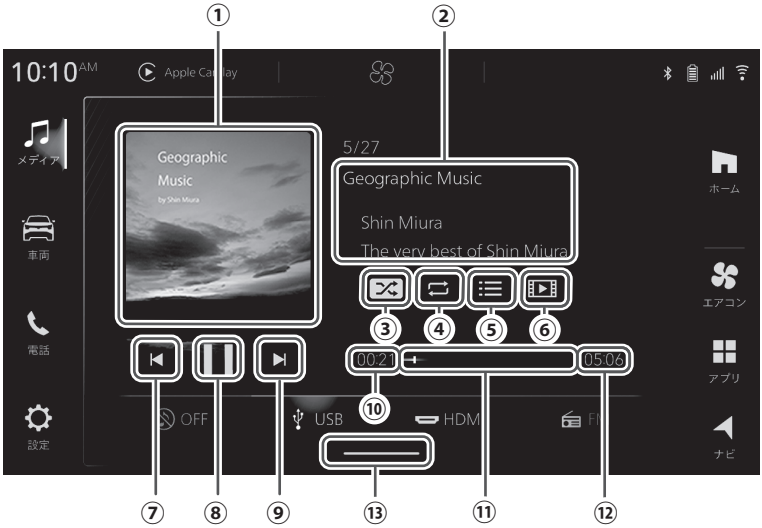
USB の再生と画面の見方

音楽ファイル

1 USB メモリーを車両の USB 端子に接続する

USB 端子の位置については「各部の名称と配置」(22 ページ) を参照してください。

2 メインメニュータブの [USB] をタッチする



- 音楽ファイル再生画面が表示されます。

① 再生中のジャケットを表示します。

② 再生中の曲名、アーティスト名、アルバム名を表示します。

③ 再生する曲の順番をシャッフルします。

タッチするとシャッフル再生のオン  ／オフ  が切り換わります。

④ リピート再生をします。
タッチするとリピート再生の範囲が切り換わります。

-  （全曲リピート）：すべての曲をリピートします。
-  （1 曲リピート）：再生中の曲をリピートします。
-  （フォルダーリピート）：再生中のフォルダーをリピートします。

アーティストやアルバムなどのカテゴリーで絞り込んでいる場合、再生中に  (全曲リピート)と  (1 曲リピート)を切り換えることができます。

⑤ タッチするとアーティスト名やアルバムなどのリストを表示します。リストから曲を選択して再生できます。「リストからファイルを 再生する」（144 ページ）を参照してください。

⑥ USB メモリー内に音楽ファイルと動画ファイルの両方が存在する場合は、映像ファイル操作画面に切り換わります。「再生モードを切り換える」（145 ページ）を参照してください。

⑦ タッチすると曲の先頭に戻ります。さらにタッチすると前の曲に移動します。タッチし続けると、段階的に早戻しします。

⑧ 音楽の再生と一時停止をします。

-  ：タッチすると曲を一時停止します。
-  ：タッチすると曲を再生します。

⑨ タッチすると次の曲に移動します。タッチし続けると、段階的に早送りします。

⑩ 再生している曲の経過時間を示します。

⑪ 現在の再生位置を示します。

カーソルをドラッグすると位置（時間）を指定して再生できます。

⑫ 曲の総再生時間を表示します。

⑬ タッチまたは上にフリックして格納メニューを表示します。

■格納メニュー



① タッチまたは下にフリックして格納メニューを非表示にします。

② メディア設定画面に切り換わります。「メディア設定」（169 ページ）を参照してください。

③ タッチして音量調整ポップアップ画面を表示します。スライダーをドラッグして音量を調整できます。
スライダーを表示させた状態で  をタッチすると音量をミュートして、  が表示されます。再度タッチするとミュートが解除されます。

④ 前の再生フォルダーに切り換わります。

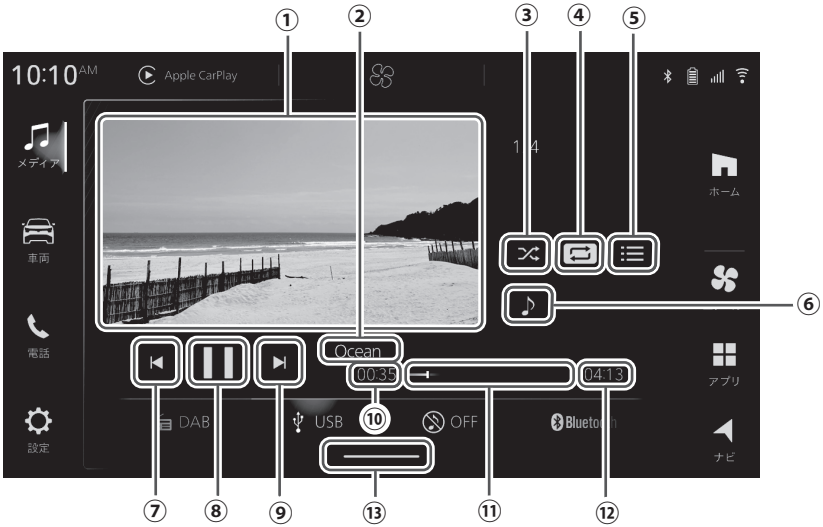
⑤ 次の再生フォルダーに切り換わります。

映像ファイル

1 USB メモリーを車両の USB 端子に接続する

USB 端子の位置については「各部の名称と配置」（22 ページ）を参照してください。

2 メインメニュータブの [メディア] → [USB] をタッチする



- 映像ファイル再生画面が表示されます。

① 再生中の映像を表示します。
停車中は自動で全画面表示になります。

② 再生中の映像ファイルのタイトルを表示します。

③ 再生する映像の順番をシャッフルします。

タッチするとシャッフル再生のオン ／オフ が切り換わります。

④ リピート再生をします。
タッチするとリピート再生の範囲が切り換わります。

- （全ファイルリピート）：すべてのファイルをリピートします。
- （ファイルリピート）：再生中のファイルをリピートします。
- （フォルダーリピート）：再生中のフォルダーをリピートします。

⑤ タッチすると映像リストを表示します。リストから映像を選択して再生できます。
「リストからファイルを 再生する」（144 ページ）を参照してください。

⑥ USB メモリー内に音楽ファイルと動画ファイルの両方が存在する場合は、音楽ファイル操作画面に切り換わります。「再生モードを切り換える」（145 ページ）を参照してください。

⑦ タッチすると映像の先頭に戻ります。さらにタッチすると前の映像に移動します。タッチし続けると、段階的に早戻しします。

⑧ 映像の再生と一時停止をします。

-  ：タッチすると映像を一時停止します。
-  ：タッチすると映像を再生します。

⑨ タッチすると次の映像に移動します。タッチし続けると、段階的に早送りします。

⑩ 再生している映像の経過時間を示します。

⑪ 現在の再生位置を示します。

カーソルをドラッグすると位置（時間）を指定して再生できます。

⑫ 映像の総再生時間を表示します。

⑬ タッチまたは上にフリックして格納メニューを表示します。

■格納メニュー



① タッチまたは下にフリックして格納メニューを非表示にします。

② メディア設定画面に切り換わります。「メディア設定」（169 ページ）を参照してください。

③ タッチして音量調整ポップアップ画面を表示します。スライダーをドラッグして音量を調整できます。
スライダーを表示させた状態で  をタッチすると音量をミュートして、  が表示されます。再度タッチするとミュートが解除されます。

④ 前の再生フォルダーに切り換わります。

⑤ 次の再生フォルダーに切り換わります。

⑥ タッチすると映像の表示設定が切り換わります。

-  （フル）：映像のアスペクト比を変更し、画面全体に引き伸ばして表示します。
-  （ズーム）：映像の上下をカットし、画面全体に引き伸ばして表示します。
-  （ノーマル）：映像のアスペクト比を変更せず、画面の縦幅に合わせて表示します。

USB メモリーファイルの再生について

⚠注意

- USB メモリーを車内に放置しないでください。特に炎天下などで車内が高温になり、USB メモリーの故障の原因となることがあります。
- 接続中の USB メモリーの上に物を乗せたり、強い力を加えたりしないでください。USB メモリーの故障の原因となることがあります。

MEMO

- 楽曲情報は USB メモリーに保存されたファイルのデータに基づいて表示されます。
- 再生できるファイルについては「USB で再生できるファイルの種類」（235 ページ）を参照してください。
- Apple CarPlay/Android Auto 接続中は USB 機能（オーディオ／映像ファイル再生）は使用できません。

リストからファイルを再生する

リストを表示し、ファイルを直接選択して再生できます。

1 **メインメニュータブの [メディア] → [USB] をタッチする**

2 **→ファイルをタッチする**

フォルダー選択などで階層を下げた場合は、 をタッチして階層を戻すことができます。

USB メモリー内にある曲を本機がカテゴリー別に分けて表示します。カテゴリーは次の 4 つに分かれます（音楽ファイルのみ）。

- アーティスト
- アルバム
- 曲
- ジャンル

USB メモリー内のフォルダーからファイルを選ぶ場合は [フォルダー] をタッチします。

MEMO

- 各カテゴリー内の項目ごとに一括再生できます。一括再生する場合は、リストから [All] をタッチしてください。
- カテゴリーから絞り込んだ場合は、リストに表示されている順番で楽曲を再生します。絞り込みを行い再生範囲を調整してください。
- 本機で再生できないファイルは自動でスキップされます。

再生モードを切り換える

USB メモリー内に音楽ファイルと映像ファイルが混在している場合、再生するファイルを切り換えることができます。ここでは、音楽ファイルの操作画面から映像ファイルの操作画面に切り換える例で説明します。

1  **をタッチする**



- 映像ファイルの操作画面に切り換わります。

Apple CarPlay で音楽を聴く

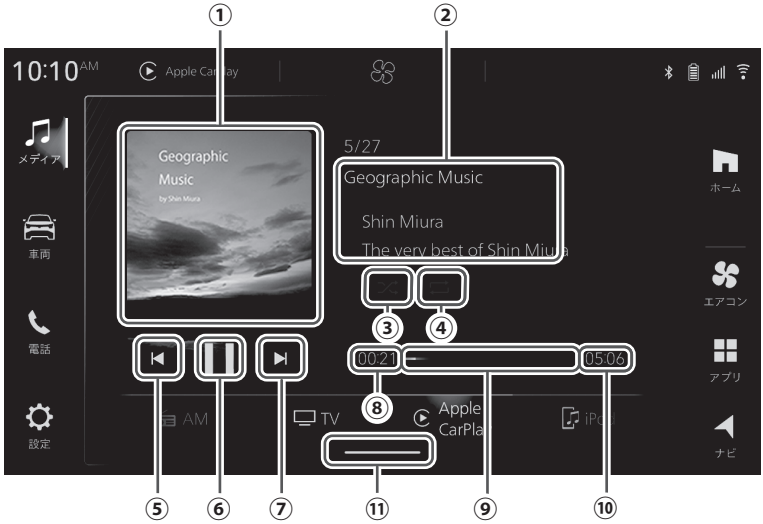
iPhone の音楽ファイルを再生できます。

Apple CarPlay の再生と画面の見方

1 iPhone を接続する

本機と iPhone を USB または Wi-Fi で接続し、Apple CarPlay を利用できます。
USB での接続については「USB で接続する」（62 ページ）を参照してください。
Wi-Fi での接続については「Wi-Fi で接続する」（204 ページ）を参照してください。
USB 端子の位置については「各部の名称と配置」（22 ページ）を参照してください。

2 メインメニュータブの [メディア] → [Apple CarPlay] をタッチする



- Apple CarPlay 再生画面が表示されます。

① 再生中のジャケットを表示します。
ジャケットをタッチすると、Apple CarPlay 側のオーディオ再生画面が表示されます。ホーム画面のタイルにあるジャケットをタッチしても、Apple CarPlay 側のオーディオ再生画面が表示されます。

② 再生中の曲名、アーティスト名、アルバム名を表示します。

③ シャッフル再生のオン ／オフ を表示します。シャッフル再生のオン／オフは端末機器側または Apple CarPlay 画面で操作します。

④ リピート再生の範囲を表示します。
リピート再生のオン／オフは端末機器側で操作します。

-  （全曲リピート）：すべての曲をリピートします。
-  （1 曲リピート）：再生中の曲をリピートします。
-  （リピートオフ）：リピート再生を解除します。

接続機器によっては、  （リピートオフ）が選択できない場合があります。

⑤ タッチすると曲の先頭に戻ります。さらにタッチすると前の曲に移動します。
タッチし続けると、早戻しします。
音楽アプリによっては、機能しない場合があります。

⑥ 音楽の再生と一時停止をします。

-  ：タッチすると曲を一時停止します。
-  ：タッチすると曲を再生します。

⑦ タッチすると次の曲に移動します。タッチし続けると早送りします。
音楽アプリによっては、機能しない場合があります。

⑧ 再生している曲の経過時間を示します。

⑨ 現在の再生位置を示します。

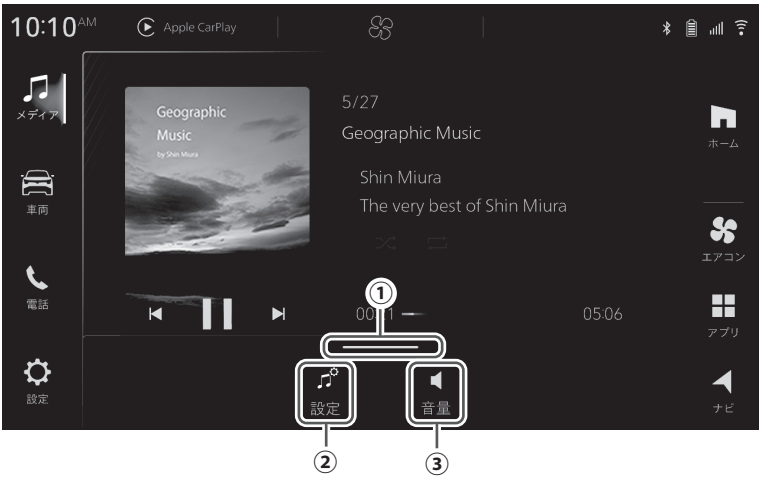
⑩ 曲の総再生時間を表示します。

⑪ タッチまたは上にフリックして格納メニューを表示します。

MEMO

- Apple CarPlay での音楽再生は、Apple CarPlay 接続中にのみ使用できます。

■格納メニュー



① タッチまたは下にフリックして格納メニューを非表示にします。

② メディア設定画面に切り換わります。「メディア設定」（169 ページ）を参照してください。

③ タッチして音量調整ポップアップ画面を表示します。スライダーをドラッグして音量を調整できます。
スライダーを表示させた状態で  をタッチすると音量をミュートして、  が表示されます。再度タッチするとミュートが解除されます。

Apple CarPlay での音楽再生について

⚠注意

- iPhone や接続ケーブルを車内に放置しないでください。特に炎天下などで車内が高温になり、iPhone やケーブルが変形・変色したり、故障の原因となることがあります。
- 接続中のiPhoneの上に物を乗せたり、強い力を加えたりしないでください。iPhone の故障の原因となることがあります。

MEMO

- 曲が正常に再生されない場合や音が途切れるなどの症状がある場合、iOS を最新のバージョンに更新してください。更新すると、問題が解消されることがあります。
- 楽曲情報は iPhone に保存されたファイルのデータに基づいて表示されます。
- Apple CarPlay が接続されている場合には、iPhone の Bluetooth 機能は使用できません。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機から iPhone を取り外して再度接続してください。
- iPhone が操作不能になった場合は、iPhone 本体をリセットし、再度接続してください。
- リセット方法は、iPhone の取扱説明書などで確認してください。

Android Auto で音楽を聴く

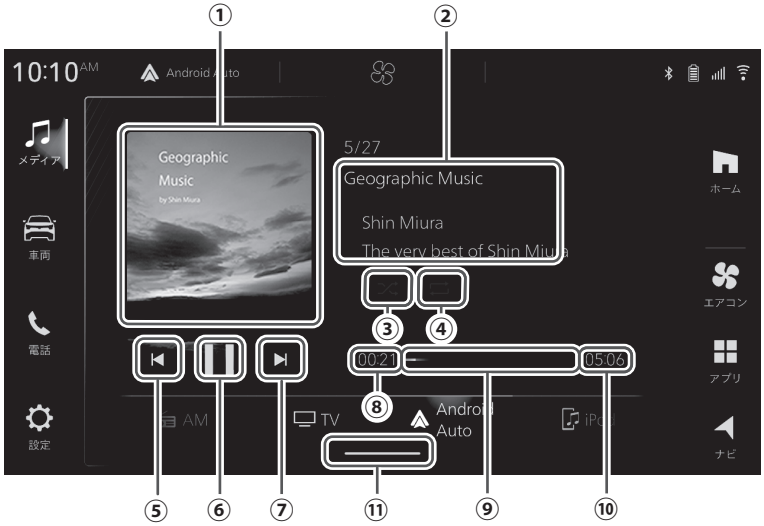
Android 端末の音楽ファイルを再生できます。

Android Auto の再生と画面の見方

1 Android 端末を接続する

本機と Android 端末を USB または Wi-Fi で接続し、Android Auto を利用できます。
USB での接続については「USB で接続する」（64 ページ）を参照してください。
Wi-Fi での接続については「Wi-Fi で接続する」（208 ページ）を参照してください。
USB 端子の位置については「各部の名称と配置」（22 ページ）を参照してください。

2 メインメニュータブの [メディア] → [Android Auto] をタッチする



- Android Auto 再生画面が表示されます。

① 再生中のジャケットを表示します。
ジャケットをタッチすると、Android Auto 側のオーディオ再生画面が表示されます。ホーム画面のタイルにあるジャケットをタッチしても、Android Auto 側のオーディオ再生画面が表示されます。

② 再生中の曲名、アーティスト名、アルバム名を表示します。

③ シャッフル再生のオン ／オフ を表示します。シャッフル再生のオン／オフは端末機器側または Android Auto 画面で操作します。

④ リピート再生の範囲を表示します。
リピート再生のオン／オフは端末機器側で操作します。

-  （全曲リピート）：すべての曲をリピートします。
-  （1 曲リピート）：再生中の曲をリピートします。
-  （リピートオフ）：リピート再生を解除します。

接続機器によっては、  （リピートオフ）が選択できない場合があります。

⑤ タッチすると曲の先頭に戻ります。さらにタッチすると前の曲に移動します。
タッチし続けると、早戻しします。
音楽アプリによっては、機能しない場合があります。

⑥ 音楽の再生と一時停止をします。

-  ：タッチすると曲を一時停止します。
-  ：タッチすると曲を再生します。

⑦ タッチすると次の曲に移動します。タッチし続けると早送りします。
音楽アプリによっては、機能しない場合があります。

⑧ 再生している曲の経過時間を示します。

⑨ 現在の再生位置を示します。

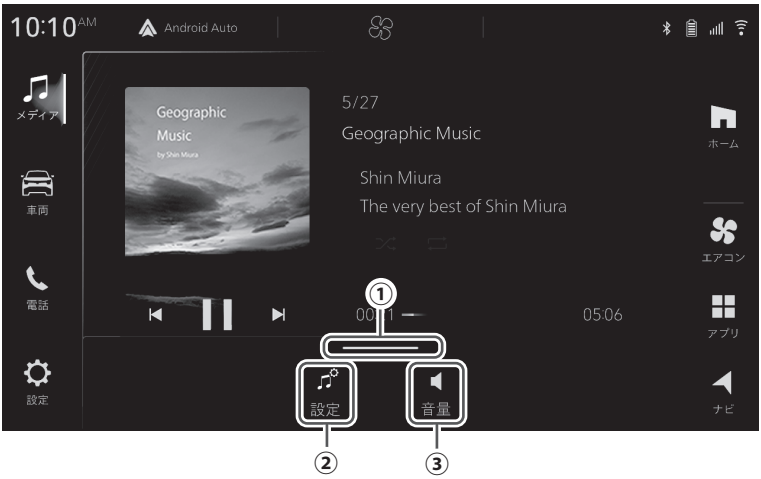
⑩ 曲の総再生時間を表示します。

⑪ タッチまたは上にフリックして格納メニューを表示します。

MEMO

- Android Auto での音楽再生は、Android Auto 接続中にのみ使用できます。

■格納メニュー



① タッチまたは下にフリックして格納メニューを非表示にします。

② メディア設定画面に切り換わります。「メディア設定」（169 ページ）を参照してください。

③ タッチして音量調整ポップアップ画面を表示します。スライダーをドラッグして音量を調整できます。
スライダーを表示させた状態で  をタッチすると音量をミュートして、  が表示されます。再度タッチするとミュートが解除されます。

Android Auto での音楽再生について

⚠注意

- Android端末や接続ケーブルを車内に放置しないでください。特に炎天下などで車内が高温になり、Android端末やケーブルが変形・変色したり、故障の原因となることがあります。
- 接続中のAndroid端末の上に物を乗せたり、強い力を加えたりしないでください。Android 端末の故障の原因となることがあります。

MEMO

- 楽曲情報は Android 端末に保存されたファイルのデータに基づいて表示されます。
- Android Auto が接続されている場合には、Android 端末の Bluetooth 機能は使用できません。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機から Android 端末を取り外して再度接続してください。
- Android 端末が操作不能になった場合は、Android 端末をリセットし、再度接続してください。
- リセット方法は、Android 端末の取扱説明書などで確認してください。

HDMI を使う

HDMI ケーブル（別売）を使用して、HDMI 端子に接続した外部機器を再生して、音楽や映像を楽しむことができます。

⚠警告

- 運転者が動画を見るときは必ず安全な場所に停車させ、パーキングブレーキをかけてからご覧ください。

⚠注意

- 走行中、安全のため映像は表示されません。

HDMI 再生画面の見方

1 外部機器を車両の HDMI 端子に接続する

HDMI 端子の位置については「各部の名称と配置」(22 ページ) を参照してください。

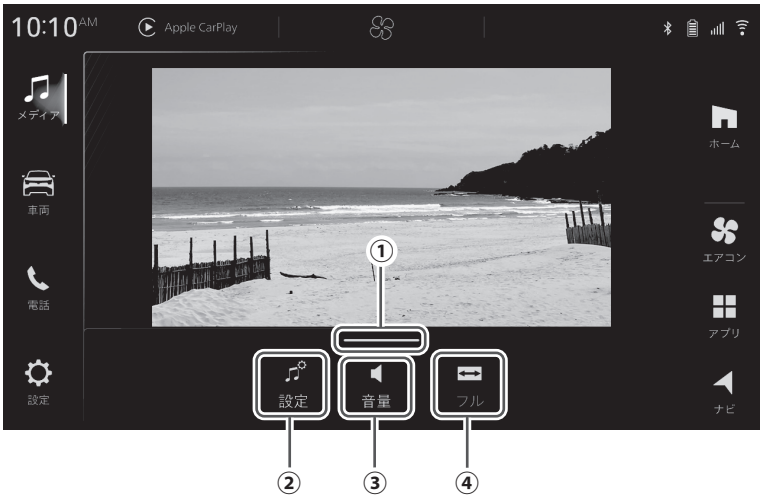
2 メインメニュータブの [メディア] → [HDMI] をタッチする



① 再生中の映像を表示します。
停車中は自動で全画面表示になります。

② タッチまたは上にフリックして格納メニューを表示します。

■格納メニュー



① タッチまたは下にフリックして格納メニューを非表示にします。

② メディア設定画面に切り換わります。「メディア設定」（169 ページ）を参照してください。

③ タッチして音量調整ポップアップ画面を表示します。スライダーをドラッグして音量を調整できます。
スライダーを表示させた状態で をタッチすると音量をミュートして、 が表示されます。再度タッチするとミュートが解除されます。

④ タッチすると映像の表示設定が切り換わります。

- （フル）：映像のアスペクト比を変更し、画面全体に引き伸ばして表示します。
- （ズーム）：映像の上下をカットし、画面全体に引き伸ばして表示します。
- （ノーマル）：映像のアスペクト比をスタンダードに変更し、画面の縦幅に合わせて表示します。

⚠注意

- 外部機器や接続ケーブルを車内に放置しないでください。特に炎天下などで車内が高温になり、外部機器やケーブルが変形・変色したり、故障の原因となることがあります。

通話する（ハンズフリー）

本機と携帯電話や iPhone またはスマートフォンを接続すると、ハンズフリー通話やプライベート通話が可能です。また、スマートフォンへの着信時に SMS で返信したり、iPhone またはスマートフォンへの SMS 着信を通知したりできます。

⚠ 警告

- 安全のため、走行中に携帯電話を操作したり、画面の注視をしないでください。周囲の交通状況などへの注意が不十分になり、交通事故の原因となります。
  どうしても必要な場合は、いったん安全な場所に駐車するか、周囲の安全を確認してから電話の発着信を行い、通話は手短に済ませてください。
- 安全のため、運転中は画面を注視しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- 携帯電話などを車の室内に放置しないでください。炎天下などで室内が高温になると、故障の原因となります。

MEMO

- ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。
- 本機の電源を入れた直後は、電話の着信を受けられないことがあります。
- Apple CarPlay の使用中および Android Auto の使用中は、Apple CarPlay または Android Auto によるハンズフリー通話が自動的に可能となります。
- ハンズフリー通話では、相手の声が車両のスピーカーを通して聴こえます。
- プライベート通話は、携帯電話などで通常通話するのと同じ通話方法です。

携帯電話と本機を接続する

携帯電話、iPhone またはスマートフォンと本機とは、Bluetooth で接続します。
Bluetooth に対応した携帯電話、iPhone またはスマートフォンを準備してください。

1 Bluetooth 機器を登録する

携帯電話を本機に登録していない場合は、登録を行ってください。また、接続プロファイルは、「電話」または「電話＋SMS」を設定してください。

「Bluetooth® 機器の登録」（55 ページ）を参照してください。

ステアリングスイッチで操作する

ハンズフリー通話の一部の機能はステアリングスイッチから操作できます。「ステアリングスイッチで操作する」（30 ページ）を参照してください。

MEMO

- ステアリングスイッチのお気に入りスイッチを押して電話を受けたり切ったりできます。
  この操作を有効にするには、お気に入りスイッチの登録画面で [オンフック / オフフック] を選択します。「お気に入りスイッチ」（167 ページ）を参照してください。
- 着信音と通話音量は、ステアリングスイッチの音量スイッチで調整できます。
- 着信中や通話中に、ステアリングスイッチのミュートスイッチを押すと音量が下がります。スイッチをもう一度押すと、元の音量に戻ります。

電話帳を本機に読み込む

携帯電話や iPhone またはスマートフォンに登録されている電話帳の情報を本機に読み込みます。

読み込んだ電話帳から直接電話をかけることができます。

MEMO

- 電話帳は、携帯電話 1 台につき最大で 2000 件まで読み込むことができます。

1 **メインメニュータブの [電話] → [電話帳] をタッチする**

2 **[取得] をタッチする**



- 電話帳の読み込みが始まります。
- 読み込みが完了すると、読み込みしたデータを電話帳として使用できます。

MEMO

- 再読み込みについては、追加読み込みのみで、差分読み込みはできません。
- 読み込みの際は " ー " および " 空白 " は番号から削除されます。また "0 ～ 9"、" ＊ "、" ＃ "、" ＋ "、" ー "、"("、")"、" 空白 " 以外の特殊文字が使用されている場合は、以降の番号が削除されます。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリ件数は、携帯電話によって異なります。
- 携帯電話によっては、携帯電話のシークレット機能により登録された電話帳も読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号も電話帳と同時に読み込まれる場合があります。
- 携帯電話の設定によっては、電話帳を読み込みできないことがあります。
- 携帯電話で表示される電話帳と、本機の電話帳の表示順序は、一致しない場合があります。

電話帳を消去する

1 **メインメニュータブの [電話] → [電話帳] をタッチする**

2 **[全削除] をタッチする**

3 **[はい] をタッチする**

MEMO

- 読み込み済みの電話帳が消去されます。接続した携帯電話の電話帳は消去されません。

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 メインメニュータブの [電話] → [キーパッド] をタッチする

- キーパッドが表示されます。

2 電話番号入力→ [ ] をタッチする



- 入力した電話番号に発信します。

リダイヤルする

直前にかけた電話番号に、もう一度かけ直します。

1 メインメニュータブの [電話] → [キーパッド] をタッチする

2 をタッチする



- 直前にかけた電話番号に発信します。

電話帳から電話をかける

1 メインメニュータブの [電話] →[電話帳] をタッチする

2 相手先をタッチする



- 電話帳の詳細画面が表示されます。

3 かけたい番号をタッチする

MEMO

- 電話帳は、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換えると、表示される電話帳の内容も切り換わります。
- 電話帳の読み込み方法は、「電話帳を本機に読み込む」（159 ページ）を参照してください。

ワンタッチダイヤルで電話をかける

1 メインメニュータブの [電話] →[ワンタッチダイヤル] をタッチする

2 相手先をタッチする



- タッチした相手に発信します。

MEMO

- 携帯電話にお気に入りとして登録された連絡先が、ワンタッチダイヤル画面に表示されます。
- 携帯電話によっては、お気に入りに登録された電話番号が、ワンタッチダイヤルに登録されないことがあります。

発着信履歴から電話をかける

携帯電話から読み込みした発信履歴、着信（不在着信含む）履歴を表示し、電話をかけられます。

1 **メインメニュータブの [電話] →[履歴] をタッチする**

2 **相手先をタッチする**



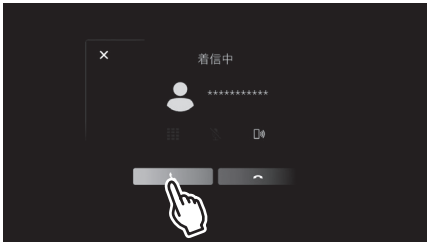
- タッチした相手に発信します。

MEMO

- 発信／着信／不在着信の履歴を合わせて 150 件分記憶します。（履歴表示件数はお使いの携帯電話端末や OS のバージョンによって異なります。）
- 本機で発信／着信の操作を行った場合は、履歴情報が自動で表示されます。
- 携帯電話で発信／着信の操作を行った場合は、履歴情報は自動で表示されません。最新の履歴情報を表示したい場合は、手動で履歴情報を読み込みすることができます。「通信設定」（173 ページ）を参照してください。
- 携帯電話の設定によっては、発着信履歴を読み込めないことがあります。

電話を受ける

1 **電話の着信中に [ ] をタッチする**



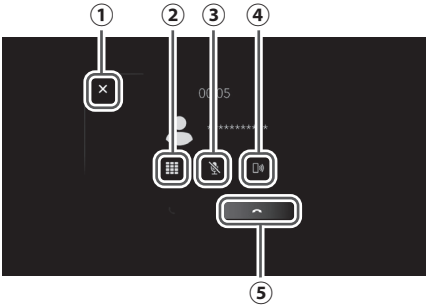
- 通話中メニューが表示されます。

MEMO

- 電話帳に登録済みの電話番号と一致すると、電話帳に登録された名称が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況により、発信者の電話番号や名前が表示されないことがあります。
- 受話音量、着信音量はシステム設定画面からも設定できます。「システム設定」（190 ページ）を参照してください。
- 携帯電話によっては、着信と通話（受話）の音量が個別に設定できない場合があります。

通話中の画面について

通話中は、通話中メニューが自動的に表示され、マイクのミュートやハンズフリーのオン／オフ、電話を切る操作ができます。



① 通話中メニューを一時的に消すことができます。[電話]をタッチすると再度通話中メニューを表示できます。

② キーパッド画面に切り換わります。

③ マイクのミュート設定をオン／オフします。エコーにより相手の声が聞き取りにくい場合は、ミュートの設定をオンにするとエコーを軽減できます。

④ ハンズフリー通話とプライベート通話を切り換えます。携帯電話機で通話したいときはオンにします。

⑤ 電話を切ります。

MEMO

- 携帯電話で電話を切ることもできます。

割込着信について

現在の通話を保留にして、別の電話を受けることができます。
割込通話を利用するためには、携帯電話事業者などと契約が必要です。

1 割込着信中に [電話] をタッチする



通話中メニューで [保留] をタッチするごとに現在の通話と保留中の通話が切り換わります。

[終了] をタッチすると、現在の通話が終了し保留中の通話に切り換わります。

MEMO

- 本機能をご利用する場合、割込通話サービス等の契約が必要です。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。

電話着信時に SMS で返信する

「電話＋ SMS」の接続プロファイルで携帯電話と接続している場合、電話の着信を受けることができないときは、相手先に SMS を送信できます。

1 **着信中に、送信したいメッセージをタッチする**



2 **[送信] をタッチする**

MEMO

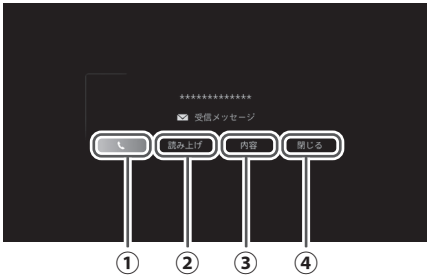
- 携帯電話の SMS 機能を本機でご利用いただくには、携帯電話の Bluetooth 設定を操作してください。また本機とペアリング後、通知表示を有効にしてください。
- 「送信しました。」と表示されても、お使いの携帯電話によっては相手に SMS 送信できていない場合があります。
- SMS 返信メッセージの内容を変更できます。「通信設定」（173 ページ）を参照してください。

SMS の着信を通知する

「電話＋ SMS」の接続プロファイルで携帯電話と接続している場合、SMS を受信すると、本機の画面に受信したことを通知できます。

また、SMS の内容を表示したり、読み上げたり、SMS の送信者に電話をかけたりできます。

SMS 着信時の設定について詳しくは「通信設定」（173 ページ）を参照してください。



① SMS の送信者に電話をかけます。

② メッセージを読み上げます。

③ メッセージを表示します。

④ 通知画面を閉じます。

MEMO

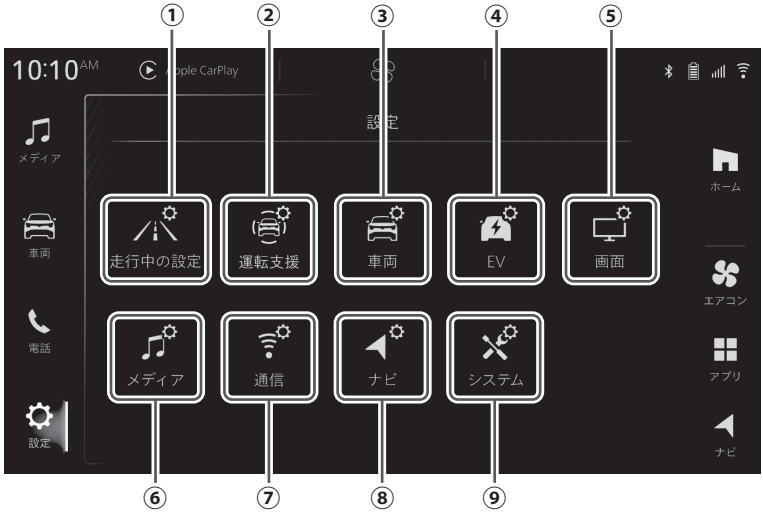
- SMS 送信者の電話番号が読み込みできない場合、SMS の送信者に電話をかけられません。
- 走行中はメッセージ確認画面を表示できません。
- 携帯電話側で通知設定が有効になっていない場合、[電話＋ SMS] のプロファイルで接続することができません。
- 携帯電話のプロファイルを変更した場合、携帯電話を再接続しないと使用できなくなる場合があります。

設定メニューの表示

本機のさまざまな設定を変更できます。

設定メニューについて

1 **メインメニュータブの [設定] をタッチする**



- 設定メニューが表示されます。

① 走行を補助する装置などのオン／オフ設定ができます。詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。

② 運転支援などの各種設定ができます。詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。

③ 盗難防止、ドアロック、報知音・音声案内などの各種設定ができます。詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。

④ 充電、回生ブースト、外部給電などの各種設定ができます。詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。

⑤ センターディスプレイ、メーターディスプレイ画面の各種設定ができます。「画面設定」（168 ページ）を参照してください。

⑥ 音質、TV、USB ビデオ画質、HDMI 画質の各種設定ができます。「メディア設定」（169 ページ）を参照してください。

⑦ 接続端末リストの表示、Wi-Fi、Bluetooth の各種設定ができます。「通信設定」（173 ページ）を参照してください。

⑧ 地図表示、ルート、案内などの各種設定ができます。「ナビ設定」（180 ページ）を参照してください。

⑨ 時計、音声認識などの各種設定ができます。「システム設定」（190 ページ）を参照してください。

車両設定

1 メインメニュータブの [設定] →[車両] をタッチする

2 [インテリア] をタッチする

[エクステリア] については車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。



- 車両の設定項目が表示されます。

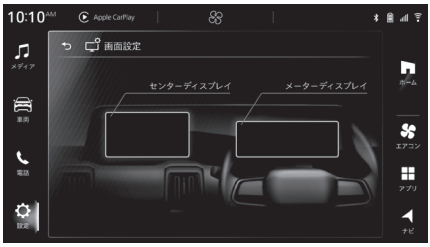
3 各項目をタッチして設定する

項目		説明
センターディスプレイ		センターディスプレイ設定画面が表示されます。「画面設定」（168 ページ）を参照してください。
メーターディスプレイ		メーターディスプレイ設定画面が表示されます。「画面設定」（168 ページ）を参照してください。
報知音・音声案内		
	スタートアップ音	• 車両の起動音のオン／オフを切り換えます。
	報知音	• ドアが完全に閉まっていない状態で運転した場合などの通知音の音量を [大][中][小] から選択します。
	音声案内	• [お知らせ音声]： ドアが完全に閉まっていない状態で運転した場合などの音声案内の音量を [大][中][小][OFF] から選択します。 [OFF] を選択すると音声による案内を行いません。 • [運転サポート音声]： シフト操作サポートの音声案内の音量を [大][中][小][OFF] から選択します。[OFF] を選択すると音声による案内を行いません。
お気に入りスイッチ		ステアリングスイッチのお気に入りスイッチを押したときに表示する画面や、お気に入りとして使用する機能を選択します。「ステアリングスイッチで操作する」（30 ページ）を参照してください。
アンビエントライト		詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。
足元照明		詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。

画面設定

1 メインメニュータブの [設定] →[画面] をタッチする

2 [センターディスプレイ] または [メーターディスプレイ] をタッチする



- 各ディスプレイの設定項目が表示されます。

3 各項目をタッチして設定する

項目		説明
センターディスプレイ		
	レイアウト	3 パターンの中から選択します。 • 3 画面表示 ：  • 2 画面表示（1:2）：  • 2 画面表示（2:1）： 
	輝度	センターディスプレイの明るさは、昼モードと夜モードで個別に調整できます。車両のライトが消灯しているとき昼モードの設定ができ、点灯すると夜モードの設定ができます。 • 1 ～ 7（夜） • 1 ～ 7（昼） スライダーまたはボタンを操作して設定します。クイックアクセスメニューからも調整できます。「クイックアクセスメニュー」（36 ページ）を参照してください。
	昼夜切り換えモード（地図色）	地図色の切り換えについて設定します。 • [ライト ON/OFF 連動]： 車両のライトを点灯すると夜モードの画面に、消灯すると昼モードの画面に自動的に切り換わります。 • [昼モード固定]： 常に昼モードの画面に固定します。 • [夜モード固定]： 常に夜モードの画面に固定します。
メーターディスプレイ		詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。

メディア設定

1 メインメニュータブの [設定] →[メディア] をタッチする



- メディアの設定項目が表示されます。

2 各項目をタッチして設定する

項目		説明
音質		
	フェーダー / バランス	前後左右の音量バランスを調整します。 操作領域をタッチしてカーソルを目的の位置までドラッグし、前後左右のバランスを調整します。  0 ～ 25 の範囲で調整できます。 • 左（L）／右（R）： L25 ～ 0 ～ R25（0: センター） • 前（F）／後（R）： F25 ～ 0 ～ R25（0: センター） [＜ ／ ∧ ／ ＞ ／ ∨] をタッチしても調整できます。 [センターに戻す] をタッチすると、音量バランスをセンターに戻します。

項目		説明
	プリセットイコライザー （プレミアムサウンド非搭載）	音楽ジャンルに合わせたイコライザー設定を選択できます。 また、お好みの設定をカスタマイズすることもできます。 • [Flat]： 音の補正をしません。選択したイコライザー設定と交互に切り換えると、イコライザーの効果を確認することができます。 • [Rock]、[Classic]、[Pops]、[Jazz]、[Hip-hop]： それぞれのジャンルに合わせたイコライザー設定を選択します。さらにそれぞれ周波数バーをドラッグまたはフリックして任意のレベルに変更できます。 • [User]： お好みの周波数のレベル調整を行った値を設定できます。周波数バーエリアをドラッグまたはフリックしてレベルを調整します。  周波数は、50Hz、125Hz、315Hz、800Hz、2kHz、5kHz、12.5kHzから選択します。 0 を基準に ±9 ステップの範囲で調整できます。 • [デフォルトに戻す]： それぞれのプリセットごとのイコライザー設定の初期値に戻します。
	Bass/Mid/Treble （プレミアムサウンド搭載）	• [Treble]（高音）周波数のレベル： -14 ～ 0 ～ +14dB • [Mid]（中音）周波数のレベル： -14 ～ 0 ～ +14dB • [Bass]（低音）周波数のレベル： -14 ～ 0 ～ +14dB 高音／中音／低音を個別に調整することができます。  • [デフォルトに戻す]： 初期値に戻します。

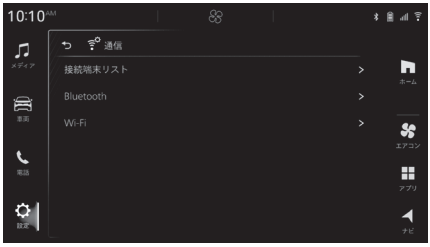
項目		説明
TV		
	画質	テレビ画面の「コントラスト」、「色合い」を調整します。
	地域	チャンネルをスキャンする地域を設定します。
	裏番組情報取得 / 裏中継局サーチ	視聴中に裏番組情報取得 / 裏中継局サーチをするかを設定します。 • [ON（オート）]： 一部のチューナーを使用して自動で裏番組を受信し、受信感度の良い中継局へのサーチや、裏番組情報の取得を行います。 • [OFF]： 常にすべてのチューナーで放送を受信します。 ※ 視聴中の裏番組情報取得 / 裏中継局サーチは車種によっては対応していない場合があります。
	12セグ/ワンセグ切り換え	視聴中の番組の受信レベルが低くなった場合に、12 セグ（フルセグ）とワンセグを自動的に切り換えるか手動で切り換えるかを設定します。 • [オート]： 12 セグ（フルセグ）とワンセグを自動的に切り換えます。 • [マニュアル]： 12 セグ（フルセグ）とワンセグを手動で切り換えます。
	チャンネルモード	プリセットするチャンネルモードを [ホーム]、[ドライブ]、[エリア] から選択します。
	オート放送局サーチ	受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探します。 • [中継局 + 系列局]： 自動で中継局・系列局を探します。 • [中継局]： 自動で中継局を探します。 • [OFF]： 中継局、系列局は探しません。
	文字スーパー表示	文字スーパーの言語表示を設定します。 • [第 1 言語]： 第 1 言語で表示します。 • [第 2 言語]： 第 2 言語で表示します。 • [OFF]： 文字スーパーを表示しません。
	イベントリレー	視聴中の番組が別のチャンネルで延長放送されるときに、自動的にチャンネルを切り換える／切り換えないを設定します。
	緊急警報放送割り込み	テレビ視聴中以外で緊急警報放送を受信したときに、自動で音声を切り換えるかを設定できます。オンを選択時に受信すると、音声を切り換えます。
	バージョン情報	チューナーバージョン、オリジナル RMP メーカー ID、局管理 RMP メーカー ID が表示されます。
	視聴者設定クリア	本機を手放すときに、[はい] をタッチすると本機に記録済みの視聴者設定を消去することができます。チャンネルおよび番組表、TV 設定が消去されます。

項目	説明
USB ビデオ画質	USB ビデオ画面の「コントラスト」、「色合い」を調整します。
HDMI 画質	HDMI 画面の「コントラスト」、「色合い」を調整します。

通信設定

1 メインメニュータブの [設定] →[通信] をタッチする

クイックアクセスメニューからも通信設定画面を表示できます。「クイックアクセスメニュー」（36 ページ）を参照してください。



- 通信の設定項目が表示されます。

2 各項目をタッチして設定する

項目		説明
接続端末リスト		詳細については、「Bluetooth 機器のプロファイルを切り換える」（59 ページ）および「Bluetooth 機器と接続する」（176 ページ）を参照してください。 接続端末リスト画面は、クイックアクセスメニューからも表示できます。「クイックアクセスメニュー」（36 ページ）を参照してください。
	端末名表示	端末名が表示されます。
	プロファイル	端末のステータスが表示されます。 （端末にできることをアイコンで確認できます。） • 電話 • 電話＋ SMS • 音楽 • Android Auto • Apple CarPlay
	端末検索	周辺の Bluetooth 端末を検索してリスト表示します。

項目			説明
Bluetooth			
	Bluetooth		Bluetooth 機能のオン／オフを設定します。 Bluetooth 機能はクイックアクセスメニューからも設定できます。「クイックアクセスメニュー」（36 ページ）を参照してください。
	待ち受け開始 （車載器検出）		Bluetooth 機器から本機を検索して登録する場合に設定します。「本機を待ち受け状態にして Bluetooth 機器を登録する」（176 ページ）を参照してください。
	自動接続		本機を起動したときに、最後に接続していた Bluetooth 機器と自動接続のオン／オフを設定します。
	車載器名称変更		本機の名称を設定します。
	電話		
		発着信履歴読み込み	携帯電話を接続したときに、発着信履歴を手動で読み込みます。
		発着信履歴消去	[はい]をタッチすると読み込んだ発着信履歴を消去します。※ 接続している携帯電話に保存された発着信履歴は削除されません。
		電話帳 / 発着履歴自動読み込み	携帯電話を接続したときに、電話帳と発着信履歴を自動的に読み込むかを設定します。
		電話帳並べ替え	タッチするとポップアップリストが表示され、電話帳の並び順を [姓 / 名] または [名 / 姓] から設定します。 • [姓 / 名]： 電話帳並び替え設定を [姓 / 名] に設定します。 • [名 / 姓]： 電話帳並び替え設定を [名 / 姓] に設定します。
		SMS メッセージ自動通知	タッチするとポップアップリストが表示され、携帯電話への SMS メッセージ着信の通知について設定します。 • [Mode1]： ポップアップ表示に加え、自動的に読み上げます。 • [Mode2]： ポップアップ表示します。 • [OFF]： SMS メッセージ着信を通知しません。
		SMS 返信メッセージ編集	SMS 返信メッセージを変更できます。[編集] をタッチして SMS 返信メッセージを選択します。

項目		説明
Wi-Fi		
	Wi-Fi	Wi-Fi 機能のオン／オフを設定します。 Wi-Fi 機能はクイックアクセスメニューからも設定できます。 「クイックアクセスメニュー」（36 ページ）を参照してください。
	パスワード更新	パスワードをランダムに自動生成します。 • [パスワード]： 車載器の Wi-Fi のパスワードの下 4 桁が表示されます。

Bluetooth 機器と接続する

携帯電話、iPhone やスマートフォンなどのBluetooth機器を本機に接続して、Bluetooth 機器の音楽などを再生したり、ハンズフリー通話をすることができます。
はじめてBluetooth機器を使用するときは、本機に登録（ペアリング）してください。登録には以下の 2 つの方法があります。
ここでは本機を待ち受け状態にしてBluetooth機器を登録する方法を記載します。
本機側からBluetooth機器を検索して登録する際は、「Bluetooth® 機器の登録」(55 ページ) を参照してください。

MEMO

- 接続できる機器の最新情報については、ホームページをご覧ください。
  https://www.integrated-infotainment-system.com/portal/device-compatibility/
- 本機の電源を入れると、前回使用していた Bluetooth 機器に自動で再接続されます。
- 手動で再接続するには、Bluetooth 機能をオンにして、接続端末リスト画面から Bluetooth 機器の名称をタッチして接続してください。
- 本機の名称は変更可能です。「通信設定」（173 ページ）を参照してください。
- Bluetooth 機器は、10 台まで登録できます。すでに 10 台登録済みで新たに Bluetooth 機器を登録する場合は、登録済みの Bluetooth 機器を消去してください。

本機を待ち受け状態にして Bluetooth 機器を登録する

1 **接続する機器の Bluetooth 機能をオンにする**

2 **メインメニュータブの [設定] → [通信] をタッチする**

3 **[Bluetooth] をタッチする**



4 **[待ち受け開始（車載器検出）] をタッチする**



5 **Bluetooth 機器側から接続の操作をする**

Bluetooth 機器で、本機の名称を探して接続します。
購入時の名称は Suzuki と表示されます。

6 **[はい] をタッチする**

Bluetooth 機器によっては、機器側で表示されたパスキーの確認操作が必要です。
登録（ペアリング）が完了すると、プロファイル選択画面が表示されます。

MEMO

- Apple CarPlay/Android Auto 対応端末を登録した場合は登録の最後に Apple CarPlay/Android Auto を開始するかを確認するメッセージが表示されます。[はい] をタッチすると Apple CarPlay/Android Auto の接続を開始します。

7 **利用したい機能をタッチして設定をオンにする**

「登録した Bluetooth 機器を設定する」（178 ページ）を参照してください。

8 **[確定] をタッチする**

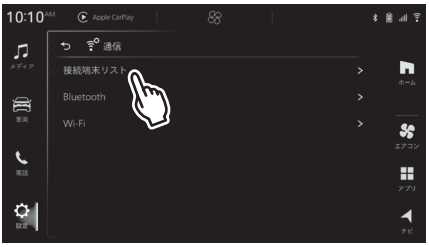
使用する Bluetooth 機器を切り換える

本機に 2 台以上の Bluetooth 機器を登録してある場合、以下の操作で使用する機器を切り換えます。

1 **使用する機器の Bluetooth 機能をオンにする**

2 **メインメニュータブの [設定] → [通信] をタッチする**

3 **[接続端末リスト] をタッチする**



接続端末リスト画面は、クイックアクセスメニューからも表示できます。「クイックアクセスメニュー」（36 ページ）を参照してください。

4 **切り換えたい Bluetooth 機器をタッチする**



5 **表示される指示に従って操作する**

「Bluetooth 機器のプロファイルを切り換える」（59 ページ）を参照してください。

MEMO

- 現在接続中の Bluetooth 機器の切り換えを行うと、発着信履歴などの機器情報も自動的に切り換わります。

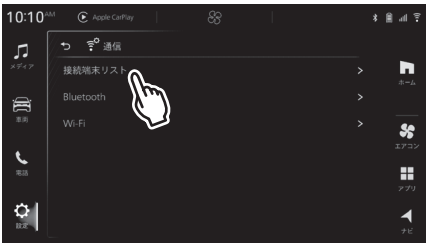
登録した Bluetooth 機器を設定する

本機に登録した Bluetooth 機器に接続プロファイルを設定し、どの機能を使用するか設定できます。

1 **設定する機器の Bluetooth 機能をオンにする**

2 **メインメニュータブの [設定] →[通信] をタッチする**

3 **[接続端末リスト] をタッチする**



- 接続端末リスト画面は、クイックアクセスメニューからも表示できます。「クイックアクセスメニュー」（36 ページ）を参照してください。

4 **設定する機器名の右側にあるプロファイルアイコン領域をタッチする**



5 **利用する機能をタッチして設定をオンにする**



電話：

ハンズフリー通話を行う機器としてオン／オフを設定します。

電話＋ SMS：

ハンズフリー通話を行う機器としてオン／オフを設定します。

また、SMS 返信機能や SMS 受信通知機能を使うための機器としてオン／オフを設定します。

音楽：

Bluetooth Audio 機器としてオン／オフを設定します。

Android Auto：

Android Auto を使用する機器としてオン／オフを設定します。

Apple CarPlay：

Apple CarPlay を使用する機器としてオン／オフを設定します。

6 **[確定] をタッチする**

MEMO

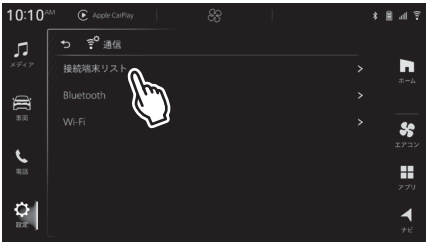
- [音楽] のプロファイルは、[電話] と [電話＋ SMS] のプロファイルとは別に Bluetooth 機器を登録して接続できます。
- すでに別の Bluetooth 機器で同じプロファイルを接続していた場合、既存の Bluetooth 接続を切断してから新たに選択した Bluetooth 機器でプロファイルを接続します。

登録した Bluetooth 機器を消去する

登録（ペアリング）済みの Bluetooth 機器の情報を消去します。

1 **メインメニュータブの [設定] → [通信] をタッチする**

2 **[接続端末リスト] をタッチする**



- 接続端末リスト画面は、クイックアクセスメニューからも表示できます。「クイックアクセスメニュー」（36 ページ）を参照してください。

3 **消去したい Bluetooth 機器の [削除] をタッチする**

4 **[はい] をタッチする**

ナビ設定

1 メインメニュータブの [設定] →[ナビ] をタッチする



- ナビゲーションの設定項目が表示されます。

2 各項目をタッチして設定する

項目			説明
地図表示			
	県境案内		県境案内のオン／オフを設定します。 県境案内音声も同時にオン／オフされます。
	交通情報		交通情報表示のオン／オフを設定します。
	高速略図		高速略図（ハイウェイモード）表示のオン／オフを設定します。
	走行軌跡		走行軌跡表示のオン／オフを設定します。
	航続可能範囲		航続可能範囲表示のオン／オフを設定します。航続可能範囲は円で表示されます。
	地図表示カスタマイズ		地図表示のカスタマイズ設定を行います。 • [フォントサイズ] : 希望のフォントサイズを選択し、[確定] をタッチします。 • [地図テーマ] : 希望の地図テーマを選択し、[確定] をタッチします。
	道路種別の表示		交通情報を表示する道路の種別を設定します。 [全道路][高速道路][一般道][非表示] から表示する道路の種別をタッチします。
	リアルタイム情報		
		渋滞表示	現況情報に基づいて、渋滞および混雑を表示するかのオン／オフを設定します。
		空き道表示	現況情報に基づいて、空き道を表示するかのオン／オフを設定します。
		規制情報	現況情報に基づいて、規制情報を表示するかのオン／オフを設定します。
		駐車場	VICS（FM 多重放送）で受信した駐車場の表示のオン／オフを設定します。
		充電施設	VICS（FM 多重放送）で受信した充電ステーションの表示のオン／オフを設定します。

項目			説明
	興味のあるスポット ※1		
		充電施設	充電施設のアイコンを表示するかのオン／オフを設定します。
		コンビニ	コンビニのアイコンを表示するかのオン／オフを設定します。
		駐車場	駐車場のアイコンを表示するかのオン／オフを設定します。
		レストラン	レストランのアイコンを表示するかのオン／オフを設定します。
		カフェ	カフェのアイコンを表示するかのオン／オフを設定します。
		ファストフード	ファストフードのアイコンを表示するかのオン／オフを設定します。
	施設アイコン表示設定		「周辺施設を表示する」（71 ページ）で使用する 6 つのジャンルを設定します。
	3D ビュー俯角設定		地図を表示するときの 3D 角度を調整します。 調整した後、[確定] をタッチします。
ルート			
	迂回エリア		迂回エリアの登録と編集を行います。「迂回エリアを設定する」（185 ページ）を参照してください。
	新旧ルート比較表示		新旧ルート比較表示のオン／オフを設定します。
	バッテリー低下時 充電施設の表示		充電施設の自動表示のオン／オフを設定します。
	ETC 料金表示		ETC 料金表示のオン／オフを切り換えます。 全ルート図表示画面の料金案内を ETC 料金表示に切り換えます。
案内			
	交差点拡大図		交差点拡大図のオン／オフを設定をします。
	オートマップズーム		オートマップズームのオン／オフを設定します。 ルート案内中、案内点に接近したときに地図を自動でズームします。
	渋滞・規制音声案内		渋滞・規制音声案内のオン／オフを設定します。
	駐車場提案		駐車場提案のオン／オフを設定します。 目的地に設定した駐車場が満車である場合に付近の駐車場を表示します。
	逆走注意案内		逆走を検知したときの案内のオン／オフを設定します。 サービス対象道路にて、逆走を検知し、画面表示と音声で「ポーン、逆走のおそれがあります。進行方向をご確認ください」と案内します。「逆走注意案内を設定する」（186 ページ）を参照してください。
	踏切案内		踏切に近づいたときの案内のオン／オフを設定します。 踏切に近づくと、案内マーク  と音声で案内します。 「道路形状案内を設定する」（187 ページ）を参照してください。
	合流案内		合流道路に近づいたときの案内のオン／オフを設定します。 合流道路に近づくと、案内マーク  、  と音声で案内します。「道路形状案内を設定する」（187 ページ）を参照してください。

項目			説明
	事故多発地点案内		交通事故多発地点の案内のオン／オフを設定します。 高速道路上の交通事故が多発している地点に近づくと、案内マーク  と音声で案内します。「事故多発地点案内を 設定する」（189 ページ）を参照してください。
	レーン案内		都市高速道路走行中のレーン数が減少する案内のオン／オフを設定します。 都市高速道路走行中にレーン数が減少する地点に近づくと、案内マーク  、  と音声で案内します。 一般道走行中に直進する交差点に右左折専用レーンがある場合、交差点に近づくと音声で案内します。 「道路形状案内を設定する」（187 ページ）を参照してください。
	自宅到着案内		自宅到着案内のオン／オフを設定します。
交通情報			
	情報履歴		
		FM VICS	
			FM 図形	VICS 図形情報を表示することができます。
			FM 文字	VICS 文字情報を表示することができます。
			FM 緊急	一度表示した緊急情報を再表示することができます。
		ETC2.0※2	提供時刻より約 30 分以内に受信された割込情報を表示させることができます。
	走行履歴のアップリンク		
		ETC2.0※2	走行履歴のアップリンクのオン／オフを設定します。 走行履歴などの情報（走行位置の履歴や車両に関する情報など）を ETC2.0 ユニットを通じて、ITS スポットへ送ることができます。
	VICS		
		自動選局	受信する放送局を自動で選択するかのオン／オフを設定します。
	受信状況		
		受信状況	現在の受信状況を受信中／検出中／未受信で表示します。
		都道府県	都道府県内の放送局の周波数を自動選局します。 自動選局をオフに設定すると手動で選局できます。
		周波数	FM 放送局の周波数を選局します。 自動選局をオフに設定すると手動で選局できます。
	表示設定		
		ETC2.0表示情報※2	ETC2.0道路交通情報を表示するかのオン／オフを設定します。
		ETC2.0 注意警戒情報※2	ETC2.0注意警戒情報を表示するかのオン／オフを設定します。
		VICS/ETC2.0 表示時間※2	割込情報の表示時間を設定します。 5 秒、10 秒、15 秒、20 秒、25 秒、30 秒から選択します。

項目					説明
	音声／音設定				
		VICS 割込音			ビーコン受信時の通知設定です。
		ETC2.0 割込音 ※2			ETC2.0割込情報の表示時にブザー音を出力するかのオン／オフを設定します。
		ETC2.0音声案内※2			長文読上げ情報以外の音声情報の発話をするかのオン／オフを設定します。
その他					
	目的地履歴の消去				削除したい目的地の 🗑 をタッチして [確定] をタッチします。 すべて削除する場合は [全削除] をタッチします。
	登録地				登録地の一覧を表示します。 タッチすると登録地を編集できます。「登録地を編集する」（82 ページ）を参照してください。
	現在地補正				自車位置を補正します。
	ETC※2				
		ステータス情報			ETC の現在の状況を表示します。
		設定			
			表示設定	ETC 料金／情報通知	ETC の通行料金などを画面に表示するかのオン／オフを設定します。
				カード挿し忘れ警告	カードの挿し忘れなどを画面に表示して警告するかのオン／オフを設定します。
				カード期限切れ事前通知	ETC カードの有効期限が当月であるときに、画面に通知を表示するかのオン／オフを設定します。
			音声設定	ETC 料金／情報通知	ETC の通行料金などを音声で案内するかのオン／オフを設定します。
				カード挿し忘れ警告	カードの挿し忘れなどを音声で警告するかのオン／オフを設定します。
				カード抜き忘れ警告	ETC カードの抜き忘れを ETC ／ ETC2.0 ユニットからの音声で警告するかのオン／オフを設定します。
				カード期限切れ事前通知	ETC カードの有効期限が当月であるときに、音声で案内するかのオン／オフを設定します。
		履歴情報			履歴情報リストが表示されます。
		登録情報表示			ETC ／ ETC2.0 ユニットの登録情報が表示されます。
		エラーコード			最後に発生したエラーコードの情報が確認できます。

項目		説明
	センサー学習初期化	センサー学習内容を初期化できます。 本機の 3D ハイブリッドセンサーが走行状況（距離／方位／傾斜（3D））を検知して、その結果を学習しています。学習した結果は本機に内蔵のセンサーメモリーに蓄積され、走行を重ねるごとに自車位置の精度が高くなります。 以下の場合は、センサー学習状態のリセットが必要です。 • 本体の取り付け位置や角度を変更した場合または別の車両へ載せ替えた場合 • 測位の誤差が大きくなった場合 • タイヤを交換した後、しばらく経っても距離誤差が補正されない場合

※1：スポットの種別は変更できます。

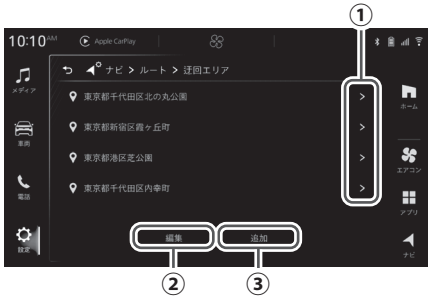
※2：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

迂回エリアを設定する

工事や通行止め、よく渋滞する場所などが分かっているとき、迂回エリアとして登録しておくと、そのエリアを迂回するルートを探索します。

1 メインメニュータブの [設定] →[ナビ] →[ルート] →[迂回エリア] をタッチする

2 各項目を設定する



① タッチした迂回エリアを編集できます。

② 登録した迂回エリアの削除を行います。

③ 迂回エリアを登録します。

迂回エリアを登録する

1 メインメニュータブの [設定] →[ナビ] →[ルート] →[迂回エリア] →[追加] をタッチする

2 迂回エリアを地図画面からスクロールして表示する

3 [確定] をタッチする

迂回範囲が黄色の四角で表示されます。

4 迂回範囲を ＋ （広くする）、または － （狭くする）をタッチして設定し、[確定] をタッチする



5 編集画面で各項目を設定後、[保存] をタッチする

MEMO

- 迂回エリアを通らないと目的地に行けないようなときは、迂回エリアを通るルートが探索されることがあります。
- 迂回範囲を最小にすると、 （迂回メモリ地点）に切り換えることができます。高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることができません。迂回したいときは、迂回メモリ地点を道路上に設定してください。

迂回エリアを編集する

1 メインメニュータブの [設定] → [ナビ] → [ルート] → [迂回エリア] をタッチする

2 編集したい迂回エリアをタッチする

3 設定したい項目をタッチする



① 迂回エリアの名称を変更します。

② 迂回エリアと迂回範囲を変更します。

4 [保存] をタッチする

迂回エリアを削除する

1 メインメニュータブの [設定] → [ナビ] → [ルート] → [迂回エリア] → [編集] をタッチする

2 削除したい迂回エリアの 🗑 をタッチする

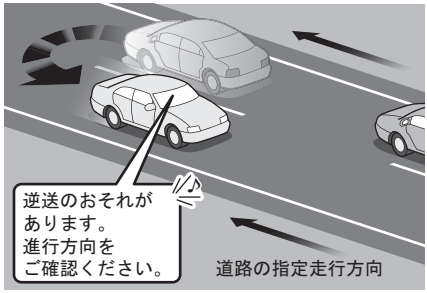
- ［全削除］：
  すべての迂回エリアを削除します。
- ［キャンセル］：
  迂回エリアの削除を中止します。

3 [完了] をタッチする

逆走注意案内を設定する

案内対象道路にて、逆走を検知し、画面表示と音声で「ポーン、逆走のおそれがあります。進行方向をご確認ください」と案内します。
案内対象道路は、都市間高速道路／都市高速道路／一部の有料道路の本線および IC/JCT/SA/PA 施設です。





1 メインメニュータブの [設定] → [ナビ] → [案内] をタッチする

2 [逆走注意案内] をタッチする

MEMO

- 以下のようなときは、逆走注意案内が行われない場合があります。
  - 対象道路以外を走行している場合
  - 一般道から高速道出口へ進入し逆走する場合など、「本線、または本線につながる区間での U ターン、SA/PA 進入路からの逆走」以外の方法で逆走する場合

- ナビゲーション、またはナビゲーションの各種センサーが故障している場合
- ナビゲーションが、対象道路を走行中であることを特定できていない場合
- 地図データに情報のない道路を走行している場合
- 急激な回転をした場合
- 自車位置補正、方位補正が行われた直後
- 地図更新が行われた直後
- 料金所付近を走行している場合
- 本線への合流区間が短い場合
- スマート IC 付き SA/PA、その他特定の SA/PA である場合

• 以下のようなときは、誤って逆走注意案内が行われる場合があります。
- 自車位置を逆走対象道路上と誤認識し、U ターン動作をした場合
- 自車位置マーク [ ] の位置が正しくない場合
- 料金所手前などの U ターンが禁止されている場所で、逆走とはならない U ターンを行った場合
- SA/PA 内での一方通行違反など、交通規制に従わない走行を行った場合
- 重大事故発生時など警察および道路管理会社の誘導により U ターンを行った場合

道路形状案内を設定する

注意する案内がある地点に近づくと、案内マークと音声でお知らせします。

MEMO

• 地図データに情報のない地点では、道路形状案内は行われません。

• 以下のようなときは、道路形状案内が行われない場合があります。
- 目的地案内開始直後
- 再探索直後
- 目的地周辺

• 現在地から道路形状案内地点までの距離が短い、道路形状案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。

• 道路形状案内は、遅れたり早くなることがあります。

• 次の道路形状案内マークが表示されている地点までの距離が短いときは、続けて道路形状案内が行われます。

踏切案内を設定する

踏切に近づくと、案内マーク と音声で案内します。

1 メインメニュータブの [設定] →[ナビ]→[案内] をタッチする

2 [踏切案内] をタッチする

合流案内を設定する

合流道路に近づくと、案内マーク 、 と音声で案内します。

1 メインメニュータブの [設定] →[ナビ]→[案内] をタッチする

2 [合流案内] をタッチする

レーン案内を設定する

1 メインメニュータブの [設定] →[ナビ]→[案内] をタッチする

2 [レーン案内] をタッチする

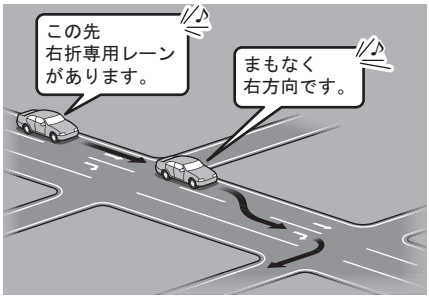
■都市高速道路の場合

都市高速道路走行中、レーン数減少地点に近づくと、案内マーク 、 と音声で案内します。

■一般道の場合

直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折／左折専用レーン案内はされません。
この場合は「ポーンまもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。

右折／左折専用レーン案内の例



事故多発地点案内を設定する

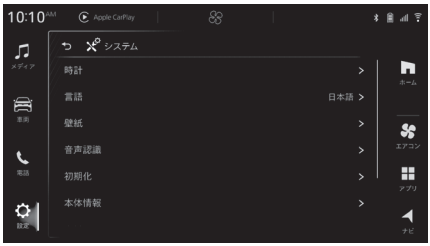
高速道路上の交通事故が多発している地点に近づくと、案内マーク  が表示され、音声で案内します。

1 メインメニュータブの [設定] →[ナビ] →[案内] をタッチする

2 [事故多発地点案内] をタッチする

システム設定

1 メインメニュータブの [設定] →[システム] をタッチする



- システムの設定項目が表示されます。

項目			説明
時計			
	12/24h 表示		時刻の表示形式を切り換えます。 時刻の表示形式を [12h]（12 時間表記）または [24h]（24 時間表記）から設定します。
	日付順序		日付の表示形式を切り換えます。 日付の表示形式を [yyyy/mm/dd]、[dd/mm/yyyy]、[mm/dd/yyyy] から設定します。
	時刻設定		現在の時刻は GPS 衛星の情報に基づいて表示されますが、手動で調整できます。メーターに表示される時計も変更されます。
		TimeZone	TimeZone を UTC-12 ～ UTC+14 および Auto から選択します。 日本標準時は UTC+09 です。
		時刻 / 日付設定	設定時刻の時／分を手動で調整します。 ∧ ／ ∨ をタッチして現在の時刻を変更し、[確定] をタッチします。タッチし続けると連続して調整できます。 [削除] をタッチすると、GNSS 衛星の情報に基づいた時刻に戻ります。
	映像画面時刻表示		映像が全画面で表示されているときの、時刻表示のオン／オフを設定します。
言語			表示する言語を切り換えます。 言語を [日本語] または [American English] から設定します。

項目		説明
壁紙		
	日付	アプリ画面に日付を表示するかのオン／オフを設定します。
	時計	アプリ画面に時計を表示するかのオン／オフを設定します。
	壁紙変更	• [壁紙ダウンロード]： 壁紙画像をダウンロードする場合に選択します。「壁紙画像をダウンロード する」（198 ページ）を参照してください。 • 壁紙を変更できます。「壁紙画像を変更する」（198 ページ）を参照してください。
	壁紙位置変更（センターディスプレイ）	センターディスプレイの壁紙画像の表示位置を設定します。「壁紙画像の表示範囲を 設定する」（199 ページ）を参照してください。
	壁紙位置変更（メーターディスプレイ）	メーターディスプレイの壁紙画像の表示位置を設定します。「壁紙画像の表示範囲を 設定する」（199 ページ）を参照してください。
音声認識		
	ウェイクワード	ウェイクワードを発話して音声操作を起動するかのオン／オフを設定します。
初期化		
	工場出荷状態に戻す	すべての設定を消去し、工場出荷時の設定に戻します。ナビゲーションの登録地点なども消去されます。 初期化する場合は、画面の指示に従って操作し、POWER スイッチをオフにしてください。 約 3 分待ってから POWER スイッチをオンにして本機を起動させます (POWER ON または READY ON にしてください。ACC では初期化完了しません)。 正常に完了すると、起動後に初期化が完了した内容のメッセージが表示されます。 セキュリティロックが有効になっている場合は、初期化できません。
本体情報		
	ナビソフトウェア	本機のソフトウェアバージョンや地図データバージョンを表示します。 • ソフトウェアバージョン : ソフトウェアバージョンを表示します。 • 地図データバージョン : マップバージョンを表示します。
	ナビアップデート（USB）	• [更新情報の書き出し]： ライセンスキー発行に必要な情報を USB メモリーにダウンロードします。「地図およびソフトウェアを更新する」（116 ページ）を参照してください。 • [更新]： 地図およびソフトウェアが更新されます。「地図およびソフトウェアを更新する」（116 ページ）を参照してください。

項目		説明
音量		
	操作音	操作音のオン／オフを設定します。
	案内音	ナビゲーション案内音声のオン／オフを設定します。
	案内音量	ナビゲーション案内音声の音量を調整します。
	受話音量	ハンズフリー通話時の受話音量を調整します。
	着信音量	電話の着信音量を調整します。
	音声認識音量	音声認識ガイド音声の音量を調整します。
	案内時のメディア音量減衰	ナビゲーション案内音声が流れたときのメディア音量（下げる／下げない）を設定します。 • [大]： メディア音量を大きく減衰します。 • [小]： メディア音量を小さく減衰します。 • [減衰しない]： メディア音量を減衰しません。
	警告時の他機能音量減衰	半ドアなど重要な警告音が鳴っているときに、メディアやナビゲーション案内音声などの音量を減衰できます。 • [大]： 大きく減衰します。 • [小]： 小さく減衰します。 • [減衰しない]： 減衰しません。
	カメラ映像表示中のメディア音量減衰	全方位モニターの映像が表示されているときに、聴いているメディアの音量を調整します。 • [減衰する]： メディア音量を減衰します。 • [減衰しない]： メディア音量を減衰しません。
	車速連動ボリューム	
		■プレミアムサウンド非搭載 車の速度に連動して音量を自動調整する感度を設定します。 • [Level3]、[Level2]、[Level1]： レベル数値が大きいほど感度が高くなります。 • [OFF]： 車速に連動して音量を調整しません。 ■プレミアムサウンド搭載 車の速度に連動して音量を自動調整するかのオン／オフを設定します。

項目		説明
ドライブレコーダー		
	カメラモニター	ドライブレコーダー映像を表示します。
	保存画質	[標準] と [高画質] から選択します。
	表示画質	画面の「コントラスト」、「色合い」を調整します。
	感度設定	急加速・急減速を検知する感度を設定します。 • [1 ～ 5]： [1]（低感度）～ [5]（高感度）の範囲で選択します。
	音声録音	録画中の音声録音のオン／オフを設定します。
	急加速・急減速の感知音	急加速・急減速の感知音のオン／オフを設定します。
	駐車時録画	駐車中に振動を検知したときに、録画を開始するかのオン／オフを設定します。
	駐車録画のお知らせ	電源が入ると駐車中に録画があったことを、メッセージでお知らせするかのオン／オフを設定します。
	駐車録画の感度設定	駐車中の振動を検知する感度を設定します。 • [1 ～ 5]： [1]（低感度）～ [5]（高感度）の範囲で選択します。
	駐車録画の時間	駐車録画の時間を[10秒]、[30秒]、[1分]から選択します。
	駐車録画の無効時間	駐車録画の無効時間を[1分]、[3分]、[5分]から選択します。
	起動音	電源が入るとドライブレコーダーの起動音と警告音を出力するかのオン／オフを設定します。
	起動音・感知音の音量	起動音と感知音の音量を [1] ～ [5] の範囲で選択します。
	本体の取付位置学習	ドライブレコーダーの取付調整を行います。
	バージョン情報	ドライブレコーダーのバージョンを表示します。
	SD カードのフォーマット	SD カード内のすべてのデータを消去します。
	設定初期化	ドライブレコーダー設定を初期化します。

項目		説明
コネクテッドサービス		※「スズキコネクト」利用契約が必要となります。
	コネクテッドサービス状態	• [有効]： 接続しているサービスが利用可能です。 • [一時停止中] または [無効]： 接続しているサービスが利用できません。
	コネクテッドサービス	コネクテッドサービスを一時停止したい場合に設定します。 • オフ： サービスを一時停止します。 • オン： サービスを有効にします。
	スズキトラブルサポートへ連絡する	• [電話する]： スズキトラブルサポートに電話します。 「コールセンターに電話する」（196 ページ）を参照してください。
	通知履歴	警告灯通知や定期点検通知などの通知履歴を表示／削除できます。希望の項目を選択すると通知内容が表示されます。 警告灯通知があった場合、通知履歴画面からコールセンターに電話をかけることができます。「通知画面を見る」（197 ページ）を参照してください。
お知らせ設定		車検やタイヤ交換の時期（任意）を設定すると、期限が近づいたら起動時に通知します。 スズキコネクト契約をしている場合は、非表示になります。 ※ 詳しくはコネクテッドの取扱説明書を確認ください。 スズキコネクト契約をしていない場合は、お知らせする項目と条件を設定できます。 詳しくは「お知らせ設定の項目と条件」（195 ページ）を参照してください。 また、設定したお知らせ項目が起動時に表示された場合は、以下を選択してください。 • [次回から表示しない]： チェックして [閉じる] をタッチするとお知らせ情報を削除します。 • [確認]： タッチするとお知らせ情報を削除します。 ただし、車検時期お知らせメッセージの初回表示の場合のみ [確認] をタッチしても削除されません。

項目	説明
セキュリティロック	[有効] [無効] の設定を行います。 • [有効] : セキュリティコードを設定します。任意の 4 桁の数字を 2 回入力します。 • [無効] : セキュリティコードを解除します。設定時に入力したセキュリティコードを入力します。 セキュリティコードを設定すると、いったん本機を取り外したり補機用バッテリーを交換した後に本機を使用する際に、設定したセキュリティコードの入力が求められます。正しいセキュリティコードを入力しないと本機の使用ができなくなります。 ただし、以下の操作などは可能です。 • 車速などのメーター表示 • 全方位モニターの映像表示 • シフトポジションをリバース（R）にしたときのカメラ映像表示

⚠注意

- セキュリティロックについて
  設定したセキュリティコードを忘れないよう、記録を取っておいてください。セキュリティコードを一定回数間違えると、セキュリティコードを入力できなくなります。その場合は販売店にご相談ください。

お知らせ設定の項目と条件

お知らせ設定で、設定できる項目と条件は以下のとおりです。

項目	設定する条件	設定可能範囲	お知らせ時期
車検	更新日	—	満了日の 3 か月前と 1 か月前
定期点検	更新日	—	定期点検日の 1 か月前
自動車保険更新	更新日	—	更新日の 1 か月前
免許更新	更新日	—	更新日の 1 か月前
以下の各時期 • エアコンフィルター交換 • ワイパーゴム交換 • タイヤローテーション • タイヤ交換 • タイヤ空気圧点検	走行距離 （1000km 単位）	1000km ～ 30000km	設定した距離を走行したとき
• ブレーキパッド交換 • ブレーキフルード交換 • バッテリー交換 • クーラント交換	経過時間 （1 か月単位）	1 か月～ 36 か月	設定した月が経過したとき

スズキコネクトを使う

本機を操作してコールセンターのオペレーターと通話したり、定期点検などの通知を受け取ることができます。

⚠警告

- 安全のため、走行中に機器を操作したり、画面の注視をしないでください。周囲の交通状況などへの注意が不十分になり、交通事故の原因となります。
  どうしても必要な場合は、いったん安全な場所に駐車するか、周囲の安全を確認してから電話の発着信を行い、通話は手短に済ませてください。

⚠注意

- 携帯電話や iPhone またはスマートフォンの Bluetooth 接続中にコールセンターとの通話を行うと、Bluetooth 接続はいったん解除されます。コールセンターとの通話が終了すると携帯電話や iPhone またはスマートフォンとの Bluetooth 接続は復帰します。
- Apple CarPlay/Android Auto の使用中にコールセンターとの通話を行うと、Apple CarPlay/Android Auto は使用できなくなります。

MEMO

- スズキコネクトをご利用いただくには「スズキコネクト」利用契約と、iPhone およびスマートフォンへの「スズキコネクト」アプリのインストールが必要となります。
- オペレーターとの通話では車両側に搭載されたコールセンター通話専用のマイクとスピーカーが使用されます。

コールセンターに電話する

本機を操作してコールセンターに電話をかけてオペレーターと通話することができます。

1 メインメニュータブの [設定] →[システム] →[コネクテッドサービス] をタッチする

2 [スズキトラブルサポートへ連絡する] をタッチする



3 [電話する] をタッチする

接続中画面が表示されます。

4 通話中画面になったら、オペレーターに状況を伝える

5 をタッチして通話を終了する

通知画面を見る

■警告灯通知



- 警告灯が点灯した場合にコールセンターに通話するためのボタンが表示されます。
- [はい] をタッチすると電話をかけます。
- [いいえ] をタッチすると電話をかけずに通知を閉じます。

■その他の通知



- 無償修理、定期点検、車検、その他の通知が表示されているときは内容を確認して、[閉じる] をタッチします。

■通知履歴を見る

受け取った通知は、後から通知履歴画面で確認することができます。

1 メインメニュータブの [設定] →[システム] →[コネクテッドサービス] をタッチする

2 [通知履歴] をタッチする



- 通知履歴画面が表示されます。

3 見たい項目をタッチする



- 通知内容が表示されます。

壁紙画像をダウンロードする

お気に入りの画像を壁紙として画面に表示できます。

画像ファイルを「スズキコネクト」アプリにアップロードします。アップロードした画像ファイルを本機にダウンロードするには、以下の手順に従ってください。

1 メインメニュータブの [設定] →[システム] →[壁紙] →[壁紙変更] →[壁紙ダウンロード] をタッチする

- ダウンロードが成功すると、ダウンロードした画像が表示されます。
- [キャンセル] を選択すると、ダウンロードした画像は破棄されます。

2 画像一覧の空き領域を選択してダウンロードした画像を保存する



MEMO

- 画像一覧に表示されている画像を選択すると、上書きするかのメッセージが表示され画像が差し替わります。ただし、初期設定として登録されている画像は差し替えることはできません。
- ダウンロードした画像は 7 枚まで保存できます。
- 本機を起動したとき、画像のダウンロードが完了している場合は、ダウンロードした画像を確認するかのメッセージが表示されます。
- 車両をしばらく運転せずに POWER スイッチを押して POWER ON モードにしたとき、壁紙画像のダウンロードが完了するまでに通常より時間がかかる場合があります。
  ダウンロードに失敗した場合は、POWER スイッチをオフにし、しばらくしてから POWER ON モードにすると、ダウンロードが再開されます。

壁紙画像を変更する

1 メインメニュータブの [設定] →[システム] →[壁紙] →[壁紙変更] をタッチする

2 壁紙として表示させたい画像を画像一覧から選択する

MEMO

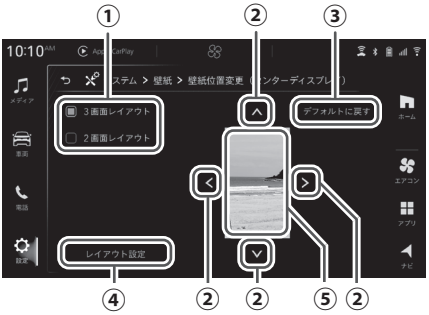
- [削除] をタッチすると選択された画像が削除されます。ただし、初期設定として登録されている画像は削除できません。

壁紙画像の表示範囲を設定する

センターディスプレイ／メーターディスプレイに表示される画像の表示範囲を設定します。

■センターディスプレイ

1 **メインメニュータブの [設定] →[システム] →[壁紙] →[壁紙位置変更（センターディスプレイ）] をタッチする**



① 表示範囲を設定するセンターディスプレイレイアウト（1/3 表示または 2/3 表示）を選択します。

② 画像の表示範囲を調整方向（右／左、上／下）をタッチして調整します。長押しでも調整できます。

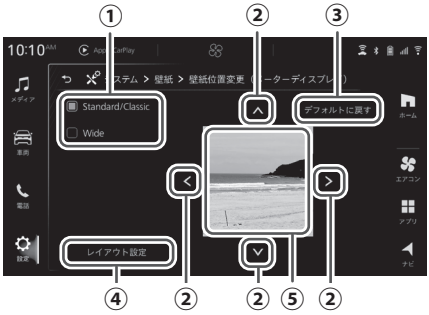
③ 画像を初期状態（画像中央）に戻します。

④ センターディスプレイレイアウト選択画面が表示されます。レイアウトタイプを選択してください。

⑤ ドラッグ操作で画像の表示範囲を調整します。

■メーターディスプレイ

1 **メインメニュータブの [設定] →[システム] →[壁紙] →[壁紙位置変更（メーターディスプレイ）] をタッチする**



① 表示範囲を設定するメーターディスプレイレイアウトを選択します。

② 画像の表示範囲を調整方向（右／左、上／下）をタッチして調整します。長押しでも調整できます。

③ 画像を初期状態（画像中央）に戻します。

④ メーターディスプレイレイアウト選択画面が表示されます。レイアウトタイプを選択してください。

⑤ ドラッグ操作で画像の表示範囲を調整します。

Apple CarPlay を使う

本機と iPhone を USB または Wi-Fi で接続し、Apple CarPlay を利用できます。Apple CarPlay 操作画面については「Apple CarPlay® の操作」（62 ページ）を参照してください。

MEMO

- サポートされているアプリケーションの内容および機能は、アプリケーションプロバイダーの責任となります。
- Apple CarPlay では、運転中の使用は制限されており、機能とコンテンツの利用可否はアプリケーションのプロバイダーによって決定されます。
- iPhone やアプリケーションの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- 接続する iPhone の世代や機種によって、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。
- Apple CarPlay の使用中は、Apple CarPlay アプリ内での通話や音楽再生が行われます。そのため Apple CarPlay の使用中は、Apple CarPlay に接続された機器やそれ以外の機器で Bluetooth 通話はできません。
- Apple CarPlay の使用中は、自動的にハンズフリーの電話が接続されます。
- Apple CarPlay をサポートする iPhone モデルとソフトウェアバージョンの詳細については、次のサイトをご覧ください。
  https://www.integrated-infotainment-system.com/portal/device-compatibility/
- スズキ株式会社が正式に認めていないアフターマーケット製品／サービスを接続してご使用いただいた際の損害につきましては、一切責任を負いかねます。

⚠注意
● iPhone で Apple CarPlay の機能制限をしている場合は、解除してください。

Apple CarPlay でできること

以下に、Apple CarPlay でできることの例をいくつか示します。

できること	操作方法（例）
iPhone のマップを使って目的地を設定する	• 本機の画面をタッチしてマップを起動し、Siri で「○○○へ行く」と話す。 • 本機の画面をタッチしてマップを起動し、マップをタッチ操作して目的地を検索する。
連絡先に登録されている相手にメッセージを送信する	• 本機の画面で [メッセージ] をタッチし、Siri の誘導に従ってメッセージを送る相手の名前、メッセージの内容を話す。
連絡先に登録されている相手に電話をかける	• Siri で「電話」と発話し、Siri の誘導に従って電話をかける相手の名前を発話する。 • 本機の画面を、iPhone と同様の操作方法でタッチし、「連絡先」などを使って電話をかける。
iPhone の音楽を聴く	• Siri で「○○○を再生する」と話す。 • 本機の画面で [ミュージック] をタッチして希望の曲を聴く。
Apple CarPlay に対応したアプリを利用する	• 本機の画面で利用したいアプリのアイコンをタッチする。

Siri を起動する

Apple CarPlay は、Siri による音声操作が可能です。

Apple CarPlay は、Siri による音声操作が可能です。
次の操作で Siri を起動できます。

- Apple CarPlay 画面の  または  を長くタッチする。
- ステアリングスイッチの音声認識スイッチを長押しする。
- ウェイクワードを発話する。

MEMO

- iPhone にインストールされていても、Apple CarPlay に対応していないアプリは本機で起動できません。
- iOS のアップデートにより、予告なく Apple CarPlay のサービスが終了したり、使用できる機能が変わったりする場合があります。
- Apple CarPlay のマップでは、音声案内中に音声案内の音量を変更できます。
- 端末や OS によっては、Apple CarPlay が使用できない、または動作が不安定な場合があります。

USB で接続する

USB での接続方法については「USB で接続する」(62 ページ) を参照してください。

Wi-Fi で接続する

準備する

Apple CarPlay を使用するときは、iPhone の Siri 機能をオンにしてください。

■iPhone の準備

iPhone の Wi-Fi と Bluetooth をオンにします。

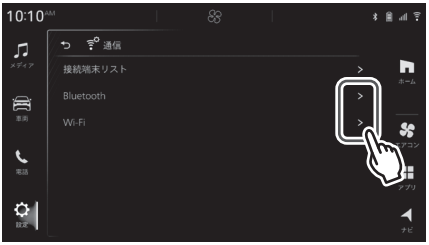
■本機の準備

Apple CarPlay を使うには、次の設定が必要です。

- Wi-Fi 機能をオンにする
- Bluetooth 機能をオンにする

1 **メインメニュータブの [設定] → [通信] をタッチする**

2 **[Wi-Fi] と [Bluetooth] をタッチする**



3 **それぞれの画面で [Wi-Fi] と [Bluetooth] をオンにする**

MEMO

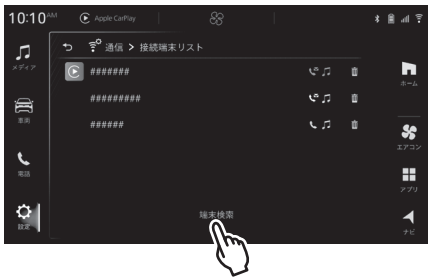
- Wi-Fi と Bluetooth はクイックアクセスメニューからもオン／オフの設定ができます。「クイックアクセスメニュー」(36 ページ) を参照してください。

接続する

1 **メインメニュータブの [設定] → [通信] → [接続端末リスト] をタッチする**

- 接続端末リスト画面が表示されます。

2 **[端末検索] をタッチする**



3 **登録したい機器をタッチする**



MEMO

- 接続端末リスト画面には、登録済みの Apple CarPlay 対応機器が表示されます。
- 再接続するには、Apple CarPlay 対応端末の Wi-Fi と Bluetooth をオンにして、登録済みの Apple CarPlay 対応機器をタッチします。

4 **本機と Apple CarPlay 対応機器の画面に表示される番号が同じことを確認し、[はい] をタッチする**

5 **Apple CarPlay 対応機器の画面の指示に従って操作する**

- 接続が成功すると、Apple CarPlay 画面が表示されます。



接続中は、アプリ画面およびステータスバーに Apple CarPlay アイコンが表示されます。

MEMO

- 本機を待ち受け状態にして Apple CarPlay 対応機器を登録するには「本機を待ち受け状態にして Bluetooth 機器を登録する」（176 ページ）を参照してください。
- 初回接続時のみ、iPhone 側に表示される内容を iPhone 側で承諾する操作が必要です。
- Apple CarPlay の画面に切り換わらない場合は、アプリ画面で または ステータスバーで Apple CarPlay をタッチして切り換えてください。
- 接続した Apple CarPlay 対応機器を削除することができます。
  削除方法については「Bluetooth 機器のプロファイルを切り換える」（59 ページ）を参照してください。

Android Auto を使う

本機と Android 端末を USB または Wi-Fi で接続し、Android Auto を利用できます。Android Auto 操作画面については「Android Auto ™の操作」（64 ページ）を参照してください。

MEMO

- サポートされているアプリケーションの内容および機能は、アプリケーションプロバイダーの責任となります。
- Android Auto では、運転中の使用は制限されており、機能とコンテンツの利用可否はアプリケーションのプロバイダーによって決定されます。
- Android Auto では、運転中の利用が制限されるリスト以外のアプリケーションにアクセスできます。
- Android Auto の使用中は、Android Auto アプリ内での通話や音楽再生が行われます。そのため Android Auto の使用中は、Android Auto に接続された機器やそれ以外の機器で Bluetooth 通話はできません。
- Android Auto の使用中は、自動的にハンズフリーの電話が接続されます。
- Android Auto をサポートする Android デバイスのモデルとソフトウェアバージョンの詳細については、次のサイトをご覧ください。
  https://www.integrated-infotainment-system.com/portal/device-compatibility/
- スズキ株式会社が正式に認めていないアフターマーケット製品／サービスを接続してご使用いただいた際の損害につきましては、一切責任を負いかねます。

Android Auto でできること

以下に、Android Auto でできることの例をいくつか示します。

できること	操作方法（例）
Android 端末のマップを使って目的地を設定する	• 音声認識機能を使って「○○○へ行く」「近くの○○○」と話す。 • 本機の画面をタッチして地図を起動し、地図画面をタッチ操作して目的地を検索する、またはキーボードで目的地を入力し検索する。
連絡先に登録されている相手にメッセージ（SMS）を送信する	• 音声認識機能を使って「メッセージを送信」と話し、音声認識機能の誘導に従ってメッセージ内容を話す。
連絡先に登録されている相手に電話をかける	• 音声認識機能を使って「電話」と話し、音声認識機能の誘導に従い電話をかける相手の名前を話す。 • 本機の画面をタッチして電話画面から電話をかける。
Android 端末の音楽を聴く	• 音声認識機能を使って「音楽の再生」と話し、「○○○（曲名またはアーティスト名）」と話す。 • 本機の画面をタッチして音楽画面から希望の曲を聴く。

音声認識機能を起動する

Android Auto は、音声認識機能を使っての音声操作が可能です。

次の操作で音声認識機能を起動します。

- Android Auto の画面で、  をタッチする。
- ステアリングスイッチの音声認識スイッチを長押しする。
- ウェイクワードを発話する。

MEMO

- Android 端末の OS のアップデートや、Android Auto アプリのアップデートにより、Android Auto でできることの内容が変わる場合があります。
- Android 端末を接続して Android Auto を開始する際、それまで Bluetooth で接続していたスマートフォン（今回接続する Android 端末以外）との接続は切断されます。
- Android 端末を本機から切断して Android Auto を終了した後も、本機とその Android 端末とのハンズフリーでの Bluetooth 接続は継続されます。
- 端末や OS によっては、Android Auto が使用できない、または動作が不安定な場合があります。

USB で接続する

USB での接続方法については「USB で接続する」(64 ページ) を参照してください。

Wi-Fi で接続する

準備する

Android Autoアプリを Google Play™ などからダウンロードし、Android 端末にインストールします。

詳しくは、Android Auto Help (https://support.google.com/androidauto) を参照してください。

■Android 端末の準備

Android 端末の Wi-Fi と Bluetooth をオンにします。

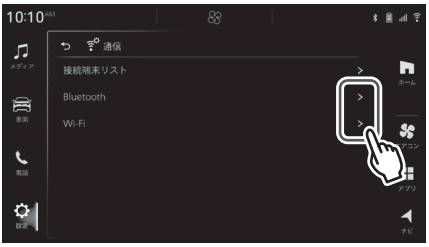
■本機の準備

Android Auto を使うには、次の設定が必要です。

- Wi-Fi 機能をオンにする
- Bluetooth 機能をオンにする

1 メインメニュータブの [設定] → [通信] をタッチする

2 [Wi-Fi] と [Bluetooth] をタッチする



3 それぞれの画面で [Wi-Fi] と [Bluetooth] をオンにする

MEMO

- Wi-Fi と Bluetooth はクイックアクセスメニューからもオン／オフの設定ができます。「クイックアクセスメニュー」(36 ページ) を参照してください。

接続する

1 **メインメニュータブの [設定] → [通信] → [接続端末リスト] をタッチする**

- 接続端末リスト画面が表示されます。

2 **[端末検索] をタッチする**



3 **登録したい機器をタッチする**



MEMO

- 接続端末リスト画面には、登録済みの Android Auto 対応機器が表示されます。
- 再接続するには、Android Auto 対応端末の Wi-Fi と Bluetooth をオンにして、登録済みの Android Auto 対応機器をタッチします。

4 **本機と Android Auto 対応機器の画面に表示される番号が同じことを確認し、[はい] をタッチする**

5 **Android Auto 対応機器の画面の指示に従って操作する**

- 接続が成功すると、Android Auto 画面が表示されます。



接続中は、アプリ画面およびステータスバーに Android Auto アイコンが表示されます。

MEMO

- 本機を待ち受け状態にして Android Auto 対応機器を登録するには「本機を待ち受け状態にして Bluetooth 機器を登録する」（176 ページ）を参照してください。
- 初回接続時のみ、スマートフォン側に表示される内容をスマートフォン側で承諾する操作が必要です。
- Android Auto の画面に切り換わらない場合は、アプリ画面で または ステータスバーで Android Auto をタッチして切り換えてください。
- 接続した Android Auto 対応機器を削除することができます。
  削除方法については「Bluetooth 機器のプロファイルを切り換える」（59 ページ）を参照してください。

音声認識を使う

音声認識機能を使用して、ナビゲーションやエアコン、オーディオ、ハンズフリー電話といったさまざまな機能を、音声で操作できます。

MEMO

- 音声認識機能を使用中は、地図画面（Apple CarPlay/Android Auto の地図表示も含む）は使用できません。
- 本機を起動すると音声認識操作が有効になるまでに時間がかかります。その間、本機はステアリングスイッチの操作やウェイクワードに反応しません。
- スマートフォンを Bluetooth 経由で本機に接続した直後は、音声コマンドで電話帳の連絡先に電話をかけることができない場合があります。
- USB 端子に USB メモリーを挿し込んだ直後は、音声コマンドを実行して接続された USB メモリー内のファイルを検索することができない場合があります。
- 接続された機器に非常に多くの曲があると、音声コマンドですべての曲を検索できない場合があります。

音声認識を起動する

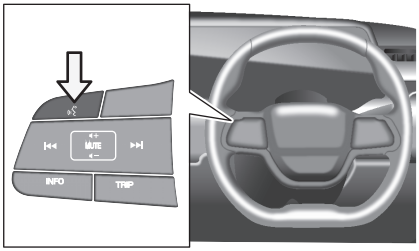
ステアリングスイッチの音声認識スイッチを短く押す、またはウェイクワードを発話すると音声操作画面が表示されます。
システムの音声ガイドが聞こえたら、表示されるコマンドの指示に従って発話してください。

MEMO

- 音声ガイドの途中でも音声コマンドを発話できます。
- 音声認識機能の音声ガイドの音量は、音声ガイド中にステアリングスイッチの  ／  スイッチ、および音量ノブ、「システム設定」（190 ページ）の［音声認識音量］から変更できます。

音声認識スイッチを押す

1 ステアリングの スイッチを押す



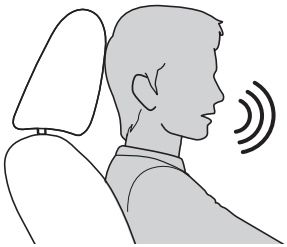
2 音声操作画面が表示されたら、音声コマンドを発話する



ウェイクワードを発話する

1 「Hi Suzuki（ハイ スズキ）」と発話する

ウェイクワード設定を事前にオンにしてください。「システム設定」（190 ページ）を参照してください。



2 音声操作画面が表示されたら、音声コマンドを発話する

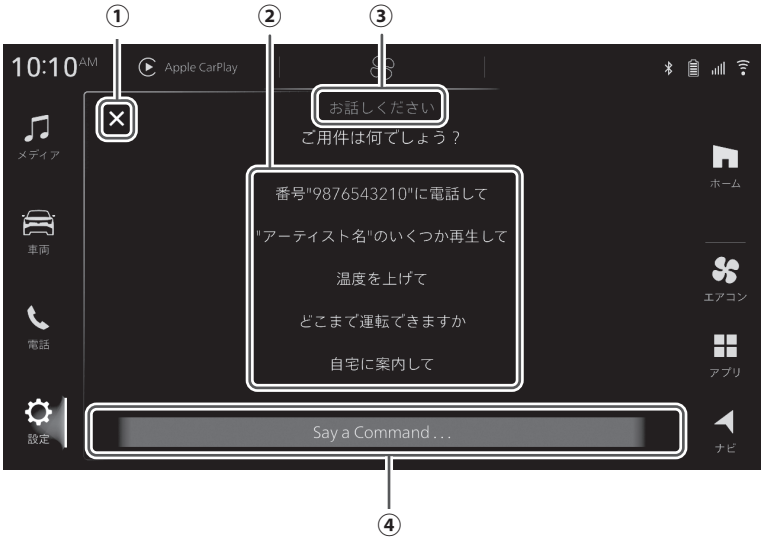


音声認識操作を終了する

次のいずれかの操作で音声認識操作を終了します。

- 「キャンセル」と発話する。
- 音声認識操作画面の × をタッチする。
- ステアリングスイッチの スイッチを長押しする。

操作中画面の見方



① 音声認識操作画面を閉じます。

② 音声認識操作でよく使用される発話の一例がリストで表示されます。

③ 音声認識の状態を表示します。

④ 音声認識操作の応答や認識結果がテキストで表示されます。

音声コマンド一覧について

音声で操作ができる主な機能と発話例の一覧です。

使用できる機能は、車両や搭載されるシステムによって異なる場合があります。

■起動コマンド

動作	発話例
音声認識操作を開始する	「ハイ スズキ」

■共通コマンド

動作	発話例
音声認識操作を終了する	「キャンセル」

■目的地検索

目的地を施設の名称やジャンル、住所から設定することができます。

動作	発話例
設定した目的地を登録する	「目的地を保存して」
目的地の履歴を表示する	「目的地履歴を見せて」
自宅を目的地に設定する	「自宅に帰る」
周辺施設を検索する	「近くのレストランを探して」
	「ルート沿いの充電施設を探して」

■ナビゲーション操作

地図の操作などができます。

動作	発話例
地図を拡大する	「ズームイン」
地図を縮小する	「ズームアウト」
地図の縮尺を標準に戻す	「ズームをリセットする」
地図を 3D 表示にする	「地図の3Dビューをオンにして」

■メディア操作

ラジオ、USB メモリー、Bluetooth オーディオなどの操作ができます。
メディアに登録されているアーティスト名、アルバム名、曲名で指定できます。

動作	発話例
楽曲を指定して再生する ※1	「< アルバム > の < アーティスト > の < 曲 > を再生」 「< ソース > の < アルバム > の < 曲 > を再生」 「< ソース > で < アーティスト > の音楽を再生」
ラジオをオンにする	「ラジオを再生」
オーディオを再生する	「再生して」
オーディオを再開する	「再開して」
オーディオを一時停止する	「一時停止して」
オーディオをミュートする	「ミュートにして」
オーディオの音量を上げる	「音量を上げて」
オーディオの音量を下げる	「音量を下げて」

■スマートフォン接続操作

iPhone やスマートフォンとの接続のオン／オフができます。

動作	発話例
Wi-Fi をオンにする	「Wi-Fi をオンにする」
Bluetooth をオフにする	「Bluetooth をオフにする」

■ハンズフリー電話操作

車両に接続されている Bluetooth 携帯電話で電話をかけることができます。
連絡先に登録されている名前、電話種別を指定できるほか、電話番号からかけることもできます。

動作	発話例
電話機能の呼び出し	「電話をかける」
名前から電話をかける	「<電話帳の名前>に電話をかける」
電話番号から電話をかける	「< 電話番号 > に電話をかける」

■エアコン操作

エアコンのオン／オフや温度を操作できます。

動作	発話例
エアコンをオン／オフする	「エアコンをつけて」 「エアコンを消して」
エアコンの温度を変更する	「温度を上げて」 「温度を下げて」

■アンビエントライト操作

アンビエントライトのオン／オフや照明の設定を操作できます。

動作	発話例
アンビエントライトをオン／オフする	「アンビエントライトをつけて」 「アンビエントライトを消して」
アンビエントライトの色を設定する	「ホワイト」 「ウォームホワイト」 「イエロー」 「グリーン」 「ターコイズ」 「ブルー」 「バイオレット」 「パープル」 「マゼンダ」 「レッド」 「アンバーオレンジ」 「ピンク」
アンビエントライトを明るくする	「アンビエントライトの明るさを二段階上げて」
アンビエントライトを暗くする	「アンビエントライトの明るさを二段階下げて」

※1: USB/iPod オーディオの楽曲のみ再生できます。

全方位モニターについて

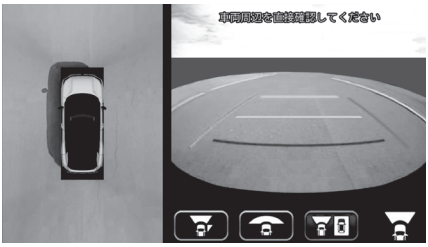
4 つのカメラで自車を真上から見ているような映像を本機に表示し、周囲を確認できます。
詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。

⚠ 警告

- 画質の調整をするときは、周囲に何もないような安全な場所で行ってください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

映像を表示する

カメラスイッチを押すか、シフトポジションをリバース (R) の位置にすると、シフトポジションの位置に応じた全方位モニターの表示に切り換わります。



画質を調整する

全方位モニターを表示中に、パーキングブレーキをかけている状態で画質調整ボタンをタッチすると調整する事ができます。

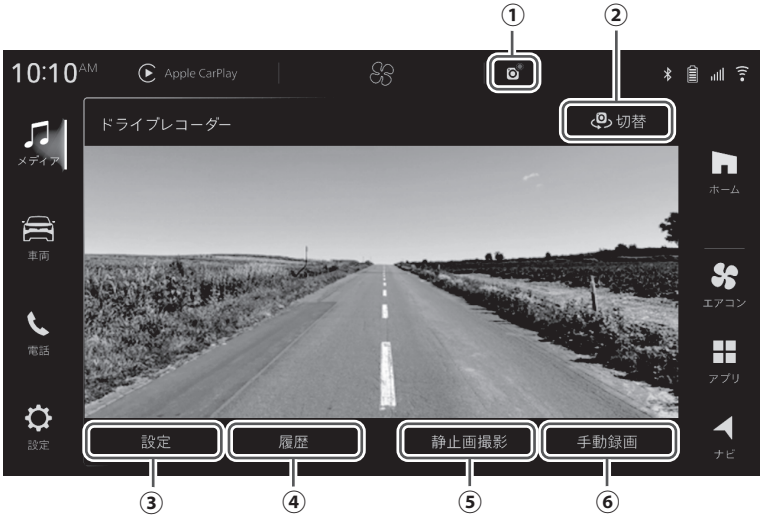


画質	調整方法
コントラスト	コントラストを調整します。(初期設定は 00)
色合い	色合いを調整します。(初期設定は 00)
明るさ	明るさを調整します。(初期設定は 10)

ドライブレコーダー画面の見方

連動タイプのドライブレコーダー（別売）を接続すると、本機を通してドライブレコーダーの録画ファイルの確認や操作を行うことができます。
詳しくはドライブレコーダーに付属の取扱説明書をご確認ください。

1 ステータスバーの をタッチする



- ドライブレコーダー画面が表示されます。

① ドライブレコーダーの録画状況を示します。

- （赤／点灯）：常時録画中
- （灰）　　：録画停止中

※ 手動録画中は常時録画中アイコンの点滅となります。

② フロントカメラとリヤカメラを切り換えて、画面に表示します。

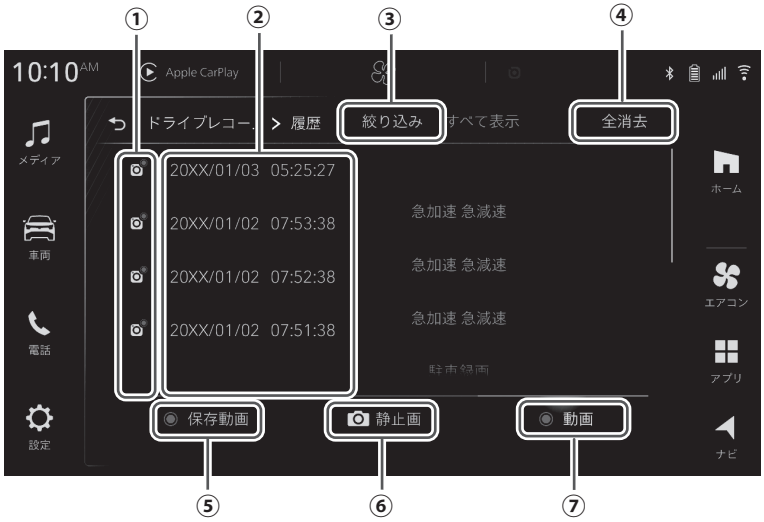
③ 録画を停止して、ドライブレコーダー設定画面を表示します。「システム設定」（190 ページ）を参照してください。

④ 録画を停止して、ドライブレコーダー再生リスト画面を表示します。「再生リスト画面の見方」（221 ページ）を参照してください。

⑤ 静止画を撮影します。

⑥ 手動録画の開始／停止を行います。

再生リスト画面の見方



① 自動録画された動画を  で示します。手動録画の場合は、表示されません。

② 動画や静止画が記録された日時のリストを表示します。
タッチするとそのファイルが再生または表示されます。

③ ファイルの種類を絞り込みます。([静止画] 選択時を除く)
- [すべて表示]: 録画されたすべての動画ファイルを表示します。
- [手動録画]: 手動で録画した動画ファイルを表示します。
- [駐車録画]: 駐車中に振動を検知したときに録画された動画ファイルを表示します。
- [急加速 急減速]: 急加速、急減速を検知したときに録画された動画ファイルを表示します。
- [ヒヤリハット]: ヒヤリハット地点で録画された動画ファイルを表示します。
- [合流地点]: 合流地点で録画された動画ファイルを表示します。

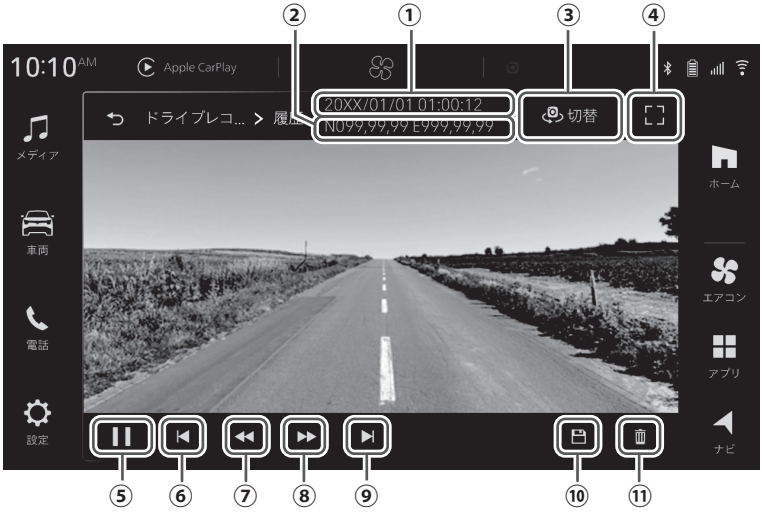
④ 現在のフォルダー内のファイルをすべて削除します。
絞り込みを行っている場合は、絞り込まれているファイルのみを削除します。

⑤ 保存操作を行った動画ファイルのリストを表示します。

⑥ 静止画ファイルのリストを表示します。

⑦ 動画ファイルのリストを表示します。

再生中画面の見方



① 動画や静止画が記録された日時を表示します。

② 動画や静止画が記録された場所の緯度・経度を表示します。

③ フロントカメラとリヤカメラで録画された映像を切り換えて表示します。

④ 再生画面を全画面モードで表示します。
全画面モードの状態で画面をタッチすると画面サイズを縮小します。

⑤ 動画の再生と一時停止をします。

-  ：タッチすると動画を一時停止します。
-  ：タッチすると動画を再生します。

⑥ タッチすると再生中の動画ファイルを最初から再生します。
再生時間が 3 秒未満の場合は、前の動画ファイルを最初から再生します。
再生中の動画ファイルが再生範囲の最初の動画ファイルの場合は、最後の動画ファイルを再生します。

⑦ タッチすると 4 倍速で早戻し再生します。
動画ファイルが早戻し・早送り再生されている場合は、通常の再生に戻ります。

⑧ タッチすると 4 倍速で早送り再生します。
動画ファイルが早送り・早戻し再生されている場合は、通常の再生に戻ります。

⑨ タッチすると次の動画ファイルを再生します。
再生中の動画ファイルが再生範囲の最後の動画ファイルの場合は、最初の動画ファイルを再生します。

⑩ 再生中の動画ファイルを [保存] フォルダーに保存します。

⑪ 再生中の動画ファイルを削除します。

故障かなと思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない、動作しない。	POWERスイッチがACCまたはオンになっていない。	POWER スイッチを ACC またはオンにしてください。
	周囲の温度が極端に低いまたは高い。	本機は使用温度範囲があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れている可能性があります。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
本機使用中に画面が暗くなった（部分的に暗くなった）、または消えてしまった。	液晶バックライトの故障か、本機の誤動作が考えられる。	いったんお車を安全な場所に停車してPOWER スイッチをオフにし、再度 ACC またはオンにしてください。その後も元に戻らない場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
タッチキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。	走行中の制限により操作できないタッチキーをタッチしている。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
本機とBluetooth機器をBluetooth 接続できない。	Bluetooth機器の登録をしていない。	接続したい Bluetooth 機器を本機に機器登録してください。 「Bluetooth® 機器の登録」（55 ページ）を参照してください。
	Bluetooth機器の動作が不安定になっている。	接続したい Bluetooth 機器を機器消去した後、再度本機に機器登録してください。 「登録した Bluetooth 機器を消去する」（179 ページ）を参照してください。 「Bluetooth® 機器の登録」（55 ページ）を参照してください。または、Bluetooth 機器を再起動してください。
地図が昼モードまたは夜モードのまま変わらない。	画面設定の「昼夜切り換えモード」が「昼モード固定」または「夜モード固定」になっている。	「ライト ON/OFF 連動」に変更してください。 「画面設定」（168 ページ）を参照してください。

ナビゲーション

症状	原因	処置
自車位置が正しくない(購入直後)。	3D ハイブリットセンサーの学習が不十分な可能性がある。	GNSS の受信しやすい場所で、しばらく走行すると精度が向上します。
自車位置がずれる(タイヤ交換直後)。	3D ハイブリットセンサーの学習が交換前のタイヤに最適化されている。	GNSS の受信しやすい場所で、しばらく走行すると精度が向上します。 しばらく走行しても精度が向上しない場合は、センサー学習の初期化を実施してください。 「ナビ設定」(180 ページ)を参照してください。
自車位置が正しくない。	衛星の配置が悪く、正しく測位できない。	しばらく走行を続けてください。自車位置が修正されます。
	3D ハイブリットセンサーが正しく学習されていない。	センサー学習の初期化を実施してください。 「ナビ設定」(180 ページ)を参照してください。
走行を開始しても地図が動かない。	現在地画面を表示していない。	現在地画面に切り換えてください。 「現在地の表示」(47 ページ)を参照してください。
ナビゲーションの案内音声が出ない。	ナビゲーションの音量設定がオフになっている。	ナビゲーションの音量設定を調整してください。 「システム設定」(190 ページ)を参照してください。
地図上に VICS 情報が表示されない。	VICS 情報は、受信から地図表示まで数分かかることがある。	表示されるまでお待ちください。
	VICS 選局の設定が手動で設定されている。	VICS 選局の設定を自動選局に設定してください。 「VICS 放送局を選択する」(103 ページ)を参照してください。
	FM電波が届かない場所(トンネル、地下駐車場、山間部)にいる。	FM 電波が届く場所に移動してください。
ルートが勝手に変更されている。	新旧ルート比較表示がオフに設定されている。	交通情報を考慮した最適なルートを設定します。故障ではありません。 新旧ルート比較表示をオンに設定すると、元ルートと新ルートを手動で選択できます。
	VICS 情報を受信している。	VICS 情報により、安全のため強制的にルートが変更になる場合があります。
	ルート上に時間規制があり規制開始時間が近づいた。	VICS 情報やルート比較表示設定にかかわらずルートが変更になる場合があります。

オーディオ共通項目

症状	原因	処置
テレビなどの映像が見られない。	走行中である。	本機は、安全のため走行中にテレビなどの映像を見ることはできません。映像をご覧になる場合は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、お楽しみください。
音が出ない。	オーディオの音量が 0 になっている。	適切な音量に上げてください。
	ミュートになっている。	ミュートを解除してください。 「画面での音量調整」（29 ページ）を参照してください。
ハンズフリー通話の着信時に、一時的にオーディオの音が途切れる。	本機がオーディオの音を消している。	自動的に行われる処理で、故障ではありません。

Apple CarPlay

症状	原因	処置
Apple CarPlay が動作しない。 Apple CarPlay のアイコンが表示されない。	iPhone と本機の接続が正しくない。	iPhone と本機を正しく接続してください。 「Apple CarPlay を使う」（202 ページ）を参照してください。
	iPhone の設定が正しくない。	iPhone の設定を確認してください。
iPhone にインストールしたアプリが動作しない。	Apple CarPlay 対応のアプリではない。	Apple CarPlay 対応のアプリであることをお確かめの上ご使用ください。

Android Auto

症状	原因	処置
Android Auto が動作しない。 Android Auto のアイコンが表示されない。	Android 端末と本機の接続が正しくない。	Android 端末と本機を正しく接続してください。 「Android Auto を使う」（206 ページ）を参照してください。
	Android 端末の設定が正しくない。	Android 端末の設定を確認してください。
Android 端末にインストールしたアプリが動作しない。	Android Auto 対応のアプリではない。	Android Auto 対応のアプリであることをお確かめの上ご使用ください。

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してください。 「ラジオを聴く」（120 ページ）を参照してください。
	周りに障害物があるなど、受信状態が悪くなった。	受信状態の安定した場所に移動して、受信してください。
	放送局の周波数が合っていない。	正しい周波数に合わせてください。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 「手動で放送局を選ぶ」（123 ページ）を参照してください。

テレビ

症状	原因	処置
画面が止まっている。画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。
受信できない。	移動により、受信できなくなった。	「エリア」で受信中は、移動により受信可能なチャンネルに自動的に切り換わります。
番組表が表示されない。	番組表を受信している途中になっている。	番組表が表示されるまでしばらく待つか、[番組情報取得] をタッチして最新の番組表を取得してください。
「プリセットチャンネルがありません」と表示されている。	購入直後や初期設定に戻した場合、プリセットチャンネルリストに登録できるチャンネルが見つからないことがある。	受信状態の安定した場所に移動して [スキャン] を選択し、チャンネルスキャンを開始してください。 「チャンネルをプリセットする」（129 ページ）を参照してください。
画質が悪くなった。	ワンセグに切り換わっている。	ワンセグを通常放送に手動で切り換えます。 「メディア設定」（169 ページ）を参照してください。
「地デジ視聴準備中。」と表示されている。	受信制御データが設定されていない場合がある。	しばらくお待ちください（最大で 30 秒かかる場合があります）。
「ご覧になることができません。コード EC23」と表示されている。	—	この受信機ではご覧になることができません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。
「このチャンネルは視聴できません。コードEC22」と表示されている。	—	このチャンネルは視聴できません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。

USB

症状	原因	処置
再生できない。	USB 機器が認識されていない。	USBコネクターを抜き挿ししてください。それでも再生できない場合は、新しいUSB機器と交換してください。
	ファイルの形式と拡張子があっていない。	USB オーディオの場合、ファイル形式がMP3、WMA、AAC、WAV、M4A、FLAC のもののみ再生できます。 USB ビデオの場合、ファイル形式が MP4、AVI、MPG、WMV、ASF のもののみ再生できます。 「再生できる USB メモリー」(232 ページ)および「再生可能な音声ファイルについて」(233 ページ) を参照してください。

iPhone/iPod

症状	原因	処置
接続できない。	お使いの iPhone/iPod が本機に対応していない。	接続している機器の取扱説明書またはホームページで確認してください。 https://www.integrated-infotainment-system.com/portal/device-compatibility/
再生できない。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	接続している機器の取扱説明書または「再生可能な音声ファイルについて」(233 ページ) を参照してください。

Bluetooth Audio

症状	原因	処置
再生できない。	Bluetooth機器登録をしていない。	Bluetooth Audioを使うときは、Bluetooth機器を本機に機器登録してください。 「Bluetooth 機器を登録する」(56 ページ) を参照してください。
	登録したBluetooth機器の設定が音楽機能を使用する設定になってない。	Bluetooth Audio として使用する設定に変更してください。 「Bluetooth 機器のプロファイルを切り換える」(59 ページ) を参照してください。
	Bluetooth機器と接続できていない。	Bluetooth 機器と接続してください。 「Bluetooth機器と接続する」(176 ページ) を参照してください。
	Bluetooth設定がオフになっている。	Bluetooth 設定をオンにしてください。 「通信設定」(173 ページ) を参照してください。

症状	原因	処置
リピートやランダム再生ができない。	Bluetooth機器がこれらのコマンドを受け付けない場合がある。	故障ではありません。

カメラ関連

症状	原因	処置
全方位モニターの映像が表示されない。	—	車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。

電話関連

症状	原因	処置
電話できない。	Bluetooth機器登録をしていない。	電話を使うときは、Bluetooth 機器を本機に機器登録してください。 「Bluetooth 機器を登録する」（56 ページ）を参照してください。
	本機に接続されているBluetooth機器が使用するBluetooth機器と違っている。	使用する Bluetooth 機器に切り換えてください。 「Bluetooth 機器のプロファイルを切り換える」（59 ページ）を参照してください。
	Bluetooth機器と接続できていない。	Bluetooth 機器と接続してください。 「Bluetooth機器と接続する」（176 ページ）を参照してください。
	Bluetooth設定がオフになっている。	Bluetooth 設定をオンにしてください。 「通信設定」（173 ページ）を参照してください。
	接続するプロファイルが間違っている。	接続するプロファイルを [電話] または [電話＋ SMS] に切り換えてください。
	ハンズフリーがオンになっていない。	通話の切り換えをオフにする。 「電話を受ける」（162 ページ）を参照してください。
会話ができない。	マイクのミュート設定がオンになっている。	マイクのミュート設定をオフにしてください。 「電話を受ける」（162 ページ）を参照してください。

ETC 関連

症状	原因	処置
ETC 料金などの音声案内がされない。	ETC 料金／情報通知の設定がオフになっている。	ETC 料金／情報通知の設定をオンにしてください。 「ナビ設定」（180 ページ）を参照してください。
POWERスイッチがACCまたはオンのときにETC カード挿入確認案内がされない。	カード挿し忘れ警告の設定がオフになっている。	カード挿し忘れ警告の設定をオンにしてください。 「ナビ設定」（180 ページ）を参照してください。
ETC2.0　サービスのプローブ情報アップリンク機能で情報をアップリンクしたが、高速料金が割引されない。	料金所の料金表示器や ETC2.0 車載器連動ナビには、ETC2.0 サービスを対象とした割引後の料金は表示されない場合があります。 その場合は、後日カード会社などから請求される際に割引が適用されますので、請求内容を確認してください。ETC 関連サービスの請求金額については、ETC 利用照会サービスで確認してください。 https://www.etc-meisai.jp/caution/toll_fare_adjustment_down_cred.html プローブ情報アップリンクの設定がオンになっているか確認してください。 「プローブ情報アップリンクを設定する」（115 ページ）を参照してください。	

地図／ソフトウェア更新関連

症状	原因	処置
ホームページから地図／ソフトウェアの更新用データがダウンロードできない。	更新用データをダウンロードするのに必要な本機の情報が USB メモリーに格納されていない。	もう一度本機の情報を USB メモリーに入れ直してください。 「ナビゲーション機能の地図更新およびソフトウェア更新」（116 ページ）を参照してください。
地図／ソフトウェアの更新ができない。	本機のバージョンがダウンロードした更新用データよりも最新の状態となっている。	現在のバージョンより古いバージョンには更新できません。 「ナビゲーション機能の地図更新およびソフトウェア更新」（116 ページ）を参照してください。
地図／ソフトウェアの更新が途中で止まってしまう。	更新用のデータが壊れている可能性がある。	一度 POWER スイッチをオフにしてから再度 ACC またはオンにしてください。その後も元に戻らない場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。 「ナビゲーション機能の地図更新およびソフトウェア更新」（116 ページ）を参照してください。

ドライブレコーダー関連

症状	原因	処置
ドライブレコーダーの電源が入らない。	POWERスイッチがオフになっている。	POWER スイッチを ACC またはオンにしてください。
	ヒューズが切れている。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーやmicroSD カードが温かくなる。	長時間使用している。	正常に機能している場合は、故障ではありません。
走行中頻繁に急加速を知らせるブザーが鳴る。	本機の加速度センサーが最適化されていない。	microSD カードをドライブレコーダー本体に挿入して、加速度センサーを最適化してください。
段差を超えた際にブザーが鳴る。	路面の段差を超えたときなどの衝撃を急加速・急減速として感知し、感知音（ブザー）が鳴る。	故障ではありません。 ［感度設定］を低感度に設定すると、段差の衝撃を急加速・急減速として感知しなくなる場合があります。 感知音（ブザー）が頻繁に鳴るときは、［急加速・急減速の感知音］をオフに設定すると、急加速・急減速を感知しても感知音（ブザー）が鳴らなくなります。 「システム設定」（190 ページ）を参照してください。
加速度センサーが最適化されない。	ドライブレコーダー本体から microSD カードが抜かれた状態で、加速度センサーを最適化しようとした。	microSD カードが抜かれた状態では最適化できません。平坦な場所に停車し、ドライブレコーダー本体に microSD カードを挿入して、加速度センサーを最適化してください。
ファイルが消える。	常時録画の場合、古い記録ファイルから順に自動的に削除されるため、連続して記録されない場合がある。	残したい記録ファイルは、保存フォルダーへ移動してください。
荷物の出し入れや飲み物を置く、またはグローブボックスの開閉を行うとブザーが鳴り、LED が点灯する。	駐車録画がオンに設定されている場合、POWERスイッチがオフのときに乗降車、荷物の出し入れ、飲み物をホルダーに置く、またはグローブボックスの開閉を行うと、本機がその振動を感知して駐車録画が開始されてブザーが鳴り、LED が点灯する。	故障ではありません。

再生できる USB メモリー

本機では以下に記載された市販の USB メモリーを使用してください。

■記録メディア

USB メモリー 1.1、2.0（lowspeed、fullspeed、highspeed）

■記録フォーマット

FAT16、FAT32、exFAT に対応

■拡張子

- 音声ファイル
  .mp3、.wma、.aac、.wav、.m4a、.flac
- 動画ファイル
  .mp4、.m4v、.avi、.mpg、.wmv、.asf

※ 雑音や故障の原因となるため、上記以外の拡張子を付けないでください。

⚠注意

- USB メモリーに記憶されているデータを本機で編集できません。
- USB メモリーは再生中に本機から外さないでください。
- USB メモリーは市販の USB ハブまたは USB 延長ケーブルを介して接続しないでください。
- USB メモリーの動作を保証するものではありません。
- 下記の USB メモリーには対応していません。
  - パーティションが複数あるもの
  - 電流が 500mA を超えるもの
  - パソコンに接続した際、ドライバを要求されるもの
  - セキュリティ機能など特殊な機能が付いているもの
  - パソコンなど、他の USB 機器へ電源供給が可能なもの
- 本機はUSB3.0での再生 には対応していません。USB3.0対応のUSBメモリーを接続した場合、USB2.0 で動作します。

再生可能な音声ファイルについて

本機では MP3、WMA、AAC、WAV、M4A、FLAC ファイルが記録されたファイルを再生できます。

■拡張子が .mp3、.wma、.aac、.wav、.m4a、.flac のファイル

（雑音や故障の原因となるため [.mp3]、[.wma]、[.aac]、[.wav]、[.m4a]、[.flac] 以外の拡張子を付けないでください。）

MEMO

- MP3、WMA、AAC の VBR ファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。

音楽データの規格について

- MP3
- WMA
- AAC
- WAV
- M4A
- FLAC
- MP4
- AVI
- MPEG-2
- WMV
- ASF

音楽データには、以下の制限が適用されます。

- ファイルシステム :FAT16/FAT32/exFAT
- 最大フォルダー階層 :11 階層
- 最大ファイル数／曲数 :20000
- 1 フォルダー内の最大ファイル数 :999
- ファイル名の最大文字数 : 半角 258 文字
- ID3 タグ：バージョン 1.0/1.1/2.2/2.3/2.4
- DRM（デジタル著作権管理）が設定されているファイルは再生できません。

MP3

- コーデック
  - MPEG2（レイヤー 1/2/3）
  - MPEG2.5（レイヤー 3）
- ビットレート
  - 8kbps ～ 320kbps（CBR）、VBR
- サンプルレート
  - 8kHz ～ 48kHz

WMA

- サンプルレート
  - 8kHz ～ 48kHz

AAC

- コーデック
  - MPEG2 AAC LC
  - MPEG4 AAC LC
- 2 チャンネル
- サンプルレート
  - 8kHz ～ 96kHz※1

WAV

- サンプルレート
  - 8kHz ～ 48kHz

FLAC

- サンプルレート
  - 8kHz ～ 48kHz

※1 48kHz 以上の音源は、再生はできますが、ハイレゾ音源としては再生されません。

MEMO

- システムの制限により、十分な音質を得られない場合があります。

再生可能な動画ファイルについて

本機では、MP4、AVI、ASF、WMV、MPG ファイルが記録されたファイルを再生できます。

■拡張子が .mp4、.m4v、.avi、.asf、.wmv、.mpg のファイル

（雑音や故障の原因となるため、[.mp4]、[.m4v]、[.avi]、[.asf]、[.wmv]、[.mpg] 以外の拡張子を付けないでください。）

動画データの規格について

	MP4	AVI	ASF	WMV	MPEG-2
ファイル拡張子	.mp4/.m4v	.avi	.asf	.wmv	.mpg
表示可能文字数	USB：全角 129 文字／半角 258 文字				
フォルダー名／ファイル名の使用可能文字	A ～ Z（全角／半角）、0 ～ 9（全角／半角）、_（アンダースコア）、全角漢字（JIS 第一水準）、ひらがな、カタカナ（全角／半角）				
最大フォルダー階層	11 階層				
1フォルダー内の最大ファイル数	999 ※ ファイル数 + フォルダー数の合計が 999 以下であること				

MEMO

- 著作権保護された動画ファイルの映像は再生できません。
- ビットレートが低いと十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート（VBR）で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。
- Global Motion Compensation、Quarter-pel Motion Compensation には対応していません。映像が乱れ正しく再生できません。
- 上記仕様から外れた動画ファイルを再生すると、再生できなかったり音飛びやコマ落ちなどが起こったりするおそれがあります。
- 動画ファイルの作成方法については各機器または PC 用アプリケーションの説明書をご覧ください。
- 動画ファイルの作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声、映像が乱れたりする場合があります。

USB で再生できるファイルの種類

本機では、次の条件に合ったファイルを再生できます。

■共通

ファイルシステム	FAT16 FAT32 exFAT
最大フォルダー数	999
最大ファイル数	20000

MEMO

- ファイルをエンコード／ライティングしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。また、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含む音楽ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- Windows Media Audio Voice には対応していません。
- パケットライトデータ転送には対応していません。
- フォルダーの選択順序やその他の操作は、エンコードしたソフトウェアおよび書き込んだソフトウェアによって変わってしまうことがあります。
- フォルダーを含めたファイル名が長い場合や、ファイル名の先頭が「.（ドット）」の場合は、そのファイルは再生できません。

■MP3

拡張子	.mp3
ビットレート	8kbps ～ 320kbps（CBR）、VBR
サンプリング周波数	8kHz ～ 48kHz
ID3 タグ	Ver.1.0/1.1/2.2/2.3/2.4

MEMO

- サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz の MP3 ファイルを再生する場合は、エンファシスに対応します。
- 次のファイルには対応していません。
  - MP3i（MP3 interactive）
  - mp3PRO
  - m3u プレイリスト

■WAV

拡張子	.wav
シグナルフォーマット	リニア PCM(LPCM)
サンプリング周波数	8kHz ～ 48kHz
量子化ビット数	8 ビット／ 16 ビット／ 24 ビット／ 32 ビット／ 32 ビット（float）

■WMA

拡張子	.wma
ビットレート	4kbps ～ 385kbps（CBR）、VBR
サンプリング周波数	8kHz ～ 48kHz

■AAC

拡張子	.aac/.m4a
ビットレート	8kbps ～ 320kbps（CBR）、VBR
サンプリング周波数	8kHz ～ 96kHz※1

■FLAC

拡張子	.flac
量子化ビット数	8 ビット／ 12 ビット／ 16 ビット／ 20 ビット／ 24 ビット
サンプリング周波数	8kHz ～ 48kHz

※1: 48kHz 以上の音源は、再生はできますが、ハイレゾ音源としては再生されません。

MEMO

- サンプリング周波数が 96kHz を超えるファイルを再生する場合は、48kHz にダウンコンバートして再生します。

オーディオおよびビデオファイルの互換性

拡張子	.mp4/.m4a/.m4v	.avi	.asf	.wmv	.mpg
ビデオコーデック	MPEG-4 H.264	MPEG-4 H.264	VC-1	VC-1	MPEG-2
オーディオコーデック	MP3 AAC	MP3 AAC	WMA	WMA	MP3
最大解像度	1920 ピクセル x 1080 ピクセル				
最大フレームレート	30fps				

MEMO

- 各ビデオコーデックにおけるプロファイルと最大ビットレートは以下のとおりです。ファイルによっては再生できない場合があります。

ビデオコーデック	プロファイル	最大ビットレート
VC-1	Simple	45Mbps
	Main	45Mbps
	Advanced	45Mbps
MPEG-4	Simple	40Mbps
	Advanced Simple	40Mbps
H.264（MPEG-4/AVC）	Baseline	50Mbps
	Main	50Mbps
	High	50Mbps
MPEG-2	Simple	80Mbps
	Main	80Mbps

- 本機の使用状況によっては、正常に再生できない場合があります。

USB メモリーのフォルダー構成

USB メモリーのデータを認識できる階層は、ルートを除く 11 階層までです。この階層内にある以下のデータのみが認識されます。

音楽ファイル：
WAV、MP3、WMA、AAC、M4A、FLAC

動画ファイル：
MP4、AVI、ASF、WMV、MPG

何階層目にデータを置かなければならないという指定はありません。

フォルダー名、ファイル名の文字数合計は全角・半角ともに 250 文字以内にしてください。

MEMO

- 音楽ファイルとして WAV、MP3、WMA、AAC、M4A、FLAC を含まないフォルダーは認識されません。
- 動画ファイルとして MP4、AVI、ASF、WMV、MPG を含まないフォルダーは認識されません。
- USB メモリーは、11 階層（ルートディレクトリを除く）までのファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダーを持つ場合は再生が始まるまでに時間がかかります。
- 1 つのフォルダーに 1000 以上のファイルが入っている場合はパソコンでデータが書き込まれた順序により、認識されるファイルは変わります。
- 1 つのフォルダーに認識可能なファイル以外のファイルを入れた場合、認識されるファイル数が少なくなることがあります。
- 認識可能な最大ファイル数は以下のとおりです。
  - デバイス内最大ファイル数：20000
  - フォルダー内最大ファイル数：999

本機で MP3・WMA を再生するためのご注意

- **最大数を超えてフォルダー・ファイル・トラックが記録されている場合、超過しているフォルダー・ファイル・トラックは本機では認識されません。**
  また、本機でのフォルダーおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- **MP3・WMA のファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./.m/.mp/.W/.WM など）が残る場合があります。その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります。）**
- **著作権保護された音楽ファイルは本機では再生できません。**

お手入れ

本体のお手入れ

本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

- 本体をお手入れするときは、やわらかい乾いた布で軽く拭いてください。
  汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量つけて軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。

  ※本体のお手入れをする際、ベンジンやシンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどは絶対に使用しないでください。火災の原因になる可能性があります。

- 液晶表示部は、ホコリが付きやすいので、ときどきやわらかい布で拭いてください。

主な仕様

共通部

定格電圧　：12V（動作電圧 10V ～ 16V）
最大消費電流：14.6A
使用温度範囲　：－ 30 ℃～＋ 80 ℃
（一部対象外機能あり）

モニター部（センターディスプレイ）

画面サイズ　：10.1 インチ
解像度　：1280 x 720
方式　：TFT アクティブ
マトリクス方式
バックライト　：LED 光源

モニター部（メーターディスプレイ）

画面サイズ　：10.25 インチ
解像度　：1920 x 720
方式　：TFT アクティブ
マトリクス方式
バックライト　：LED 光源

オーディオ部（※ プレミアムサウンド除く）

最大出力　：40W x 4
負荷インピーダンス：4Ω
7 バンドグラフィックイコライザー：
全チャンネル周波数
[50/125/315/800/2k/5k/12.5k[Hz]]
調整幅　：±9dB(1dB/step)
デコーダー　：リニア PCM

GNSS 部

対応衛星　：GPS/GLONASS/Galileo/
みちびき

FM チューナー部

受信周波数帯域：76.0MHz ～ 99.0MHz
(0.1MHz/step)
音声　：ステレオ

AM チューナー部

受信周波数帯域：522kHz ～ 1629kHz
（9kHz/step）
音声　：モノラル

Bluetooth 部

Bluetooth バージョン：5.0
出力　：最大 +0dBm

Wi-Fi 部

対応規格　：IEEE802.11ac（5GHz）
対応チャンネル：36[ch]
セキュリティ方式：
WPA3Transition（WPA3/WPA2）Personal

USB（スマートフォン接続／メディア再生用）

対応メディア：USB2.0
最大電流　：1.5A（type-A）
ファイルシステム：FAT（FAT16）/FAT32/exFAT

共通部（ナビ BOX）

定格電圧　：12V（動作電圧 10V ～ 16V）
最大消費電流：5.52A
使用温度範囲　：－ 30 ℃～＋ 80 ℃
（一部対象外機能あり）

外部入出力（ナビ BOX）

HDMI　：入力 1 系統

地上デジタル TV チューナー部（ナビ BOX）

放送方式　：地上デジタル放送方式
受信周波数帯域：470MHz ～ 710MHz
受信チャンネル：13ch ～ 52ch
出力　：最大 +15dBm

USB（地図更新／ソフトウェア更新専用）

対応メディア：USB3.0
最大電流　：900mA

商標について

- Windows Media is either a registered trademark or of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product includes technology owned by Microsoft Corporation and cannot be used or distributed without a license from Microsoft Licensing,Inc.
- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch、および Lightning は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- IOS は米国その他の国における Cisco の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Made for Apple マークの使用に関して、バッジ内に記してあるアップル製品に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたアクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
  このアクセサリをアップル製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- Apple、Apple ロゴ、iPod、CarPlay ロゴ、および Siri は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Apple CarPlay は Apple Inc. の商標です。

Made for iPhone | iPod

Works with Apple CarPlay

- Android、Google Play は Google LLC の商標です。
- Android AutoはGoogle LLCの商標です。

androidauto

- 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。



- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。アイシン株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。



- Infinity は米国およびその他の国々における HARMAN International Industries, Incorporated の登録商標です。



- Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- WPA ™、WPA2 ™、WPA3 ™は Wi-Fi Alliance® の商標です。
- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- 多言語入力エンジンは、オムロンソフトウェア（株）の iWnn を利用しています。
- インテグレーテッドディスプレイ powered by Galileo.

Bluetooth について

Bluetooth（ブルートゥース）とは

Bluetooth とは、産業団体 BluetoothSIG により提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz 帯の電波を利用して Bluetooth 対応機器どうしで通信を行います。
本機では、Bluetooth に対応した携帯電話、スマートフォンおよびオーディオ機器を接続して利用できます。

MEMO

- Bluetooth の各機能を使用するには、下記プロファイルに対応した携帯電話が必要となります。
- ハンズフリー通話：
  HFP（Hands-Free Profile Ver1.6 以上）
- SMS（Short Message Service）：
  MAP（Message Access Profile Ver1.2 以上）
- 電話帳を一括ダウンロード：
  PBAP（Phone Book Access Profile Ver1.2 以上）
- 電話帳の転送：
  OPP（Object Push Profile Ver1.2 以上）
- 高音質の音楽配信：
  A2DP（Advanced Audio Distribution Profile Ver1.3 以上）
- オーディオ／ビデオリモート制御プロファイル：
  AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile Ver.1.6.0 以上）
- Bluetooth 機器を本機とともに使用するには、あらかじめ本機に登録（ペアリング）する必要があります。
  「Bluetooth® 機器の登録」（55 ページ）を参照してください。
- Bluetooth プロファイルに対応している機器であっても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

Bluetooth 機器の取り扱いについて

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

  ※分解／改造すること。

  ※本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジなど）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声が途切れたり聞き取りにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

  ※無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声が途切れたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声が途切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。

  ※火災報知機・ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）

  ※工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム

  ※マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー

  ※自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）

  ※自動制御機器・その他、Bluetooth 対応機器や VICS（道路交通網システム）

  ※アマチュア無線局など

お車を廃棄・譲渡・売却するときは

お車を第三者に売却・譲渡するとき、または廃棄するときのご注意について説明しています。

本機内のデータ消去について

本機を第三者に譲渡・売却、または廃棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとにすべてのデータを消去していただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために

メモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータを、以下に記載した内容にしたがって初期化 (データの消去) してください。

スズキ株式会社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■著作権保護のために

メモリー内に保存されたデータを初期化（データの消去）してください。著作権があるデータを、著作権者の同意なく本機に残存させたまま譲渡（有償および無償）・売却されますと、著作権法に抵触するおそれがあります。スズキ株式会社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

データを消去（初期化）する

本機に保存されたデータをすべて消去（初期化）します。

・データの消去（初期化）の方法については「システム設定」(190 ページ）を参照してください。

地図データをご利用いただくにあたって

本機に収録されたデータベースやルート探索時の注意事項です。

検索に関する注意事項

場所を探すベースとなっているデータにより、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れる場合があります。

■位置データ

- 住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

■自然物に関するデータ

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

■ロゴマーク表示

- ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なる場合があります。

■営業時間考慮

- 営業時間を考慮するのは駐車場・コンビニ・ファミリーレストラン・ファストフード・充電施設のみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。また、一部の店舗は対応していない場合があります。
  なお、ご利用にはスズキコネクト（ナビ）契約が必要です。

ルートに関する注意事項

■ルート探索の仕様

⚠注意

- ルート探索をすると、自動的にルート / 音声案内が設定されます。曜日、時刻規制、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。
- 運転するときは必ず実際の道路標識、交通状況にしたがって走行してください。
- 冬期通行止めなどには一部対応していない場所もあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。最適とは限りません。
- ルート探索は 100m スケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象外です。
- 本州↔北海道間、本州↔四国間、本州↔九州間のルートも設定できます（本州↔北海道などのフェリーが運航している場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- フェリー航路はルート探索の補助手段であり、長距離航路は対象外です。

- すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるとは限りません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 設定済みのルートで使用する入口 / 出口 IC により、乗降 IC（インターチェンジ）を指定できない場合があります。

■ルート探索の方法

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 渋滞考慮ルート、有料道回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 異なる条件で探索した結果、同じルートを提案する場合があります。
- 場所によりルート探索できないことがあります。
  そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点 ※」付近を経由地に設定してみてください。

  ※「大きな交差点」とは、細街路（100m スケールでグレー表示の細い道）以外の道どうしの交差点です。

■ルートの道塗り

- 道路形状により、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、経由地の前後では道塗りされない場合があります。このため、経由地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

■音声案内

- 有料道のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」は音声案内されないことがあります。

■案内地点拡大図

- 案内地点拡大図は、交差点とその約 150m 手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。
  道路形状により、ヘディングアップにならない場合があります。

■ルート候補選択画面での有料料金

- 特殊な料金体系の有料道では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 一般有料道に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道上およびランプ上からルートを探索したときや、有料道上に目的地や出発地を設定したときは、有料道を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定されることがあるため、あくまで目安として使ってください。

VICS 情報に関する注意事項

■FM 多重放送

- VICS センターからの FM 多重放送を使用した VICS および VICS WIDE 情報は、NHK-FM の FM 多重放送の電波により提供されます。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 情報提供元システムのメンテナンス作業のために、VICS 道路交通情報の一部、またはすべての提供が中断される場合があります。

■ビーコン

- ETC2.0 ユニット（別売）を接続している場合、有料道の高架下の一般道を走行中に、有料道のビーコンを受信することがあります。
- 大型車と並走しているときなどは、ビーコンを受信できないことがあります。

■VICS センターのお問い合わせ先

VICS の概要、または表示された情報内容に関することは、（財）VICS センターへお問い合わせください。（ただし、レベル 3（地図）表示の表示内容は除く）

（財）VICS センターお問い合わせ窓口
サービス・サポート・センター

電話番号：0570-00-8831

※ PHS、IP 電話などからはご利用できません。

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

受付時間：平日　9：30 ～ 17：45（土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）

FAX 番号：03-3562-1719（24 時間受付）

URL　　：https://www.vics.or.jp/

収録地図データベースに関する注意事項

収録地図データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあったとしてもスズキ株式会社は補償するものではありません。

■交通規制データ

- 本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車などの規制は含まれていません。あらかじめご了承ください。

■地図データ

- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

VICS 情報に関する注意事項

第 1 章　総則

（約款の適用）

第 1 条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）

第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第 8 条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）

第 9 条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第 12 条 1 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章　料金

（料金の支払い義務）

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章　保守

（当センターの保守管理責任）

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第 15 条 1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第 17 条 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは当該変更においても変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表　視聴料金

視聴料金：330 円（税込み）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

テレビ／ラジオの受信について

- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。
- 放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- ラジオやテレビの受信は受信状態が悪くなると、音が途切れたり、静止画面や黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- ラジオやテレビの受信は受信環境によって、電波の強さの変化、障害物や他電波などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
  - トンネル内に入ったり、放送局から遠ざかったりすると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなったりする場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなる場合があります。
  - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
  - 電車の架線、高圧線、ラジオやテレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入ったりする場合があります。
  - 一部の地域において、ラジオやテレビなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
  - 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、アンテナやアンテナコードに近づけたりすると、受信状態が悪くなります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
  - ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなどが動作すると受信状態が悪化する場合があります。

索引

番号
2D ノースアップ ····· 49
2D ヘディングアップ ····· 49
3D ヘディングアップ ····· 49

A
Android Auto ····· 64, 150, 206
Apple CarPlay ····· 62, 146, 202

B
Bluetooth ····· 55, 174, 176, 243
Bluetooth Audio ····· 134

E
ETC ····· 113

H
HDMI ····· 32, 154

I
iPod ····· 131

S
SMS ····· 164

U
USB ····· 32, 138

V
VICS ····· 95

W
Wi-Fi ····· 204, 208

い
インテグレーテッドディスプレイ ····· 23

う
ウェイクワード ····· 213

え
エリアモード ····· 130

お
おでかけプラン ····· 80
音声コマンド ····· 215
音声認識スイッチ ····· 213
音量ノブ ····· 31

か
格納メニュー ····· 38
カメラ ····· 217
画面設定 ····· 168

き
キーボード ····· 27
逆走注意案内 ····· 186

く
クイックアクセスメニュー ····· 36

け
経由地 ····· 87
現在地 ····· 47

こ
交差点案内 ····· 92
交通情報 ····· 95, 124

し
事故多発地点案内 ····· 189
システム設定 ····· 190
自宅 ····· 81
車両設定 ····· 167
ジャンル ····· 71
住所 ····· 79
周辺施設 ····· 71

す
スクロール ····· 27, 47, 53
スケール ····· 48
スズキコネクト ····· 196
ステータスバー ····· 44
ステアリングスイッチ ····· 30
スワイプ ····· 20

せ
全方位モニター ····· 218

そ
ソフトウェア更新 ····· 116

た
タッチ ····· 20

ち
地図画面 ····· 46
地図更新 ····· 116

チャンネルプリセット ····· 129

つ
通信設定 ····· 173
通話 ····· 158

て
デモ ····· 86
テレビ ····· 126
電話 ····· 157
電話帳 ····· 159
電話番号 ····· 78

と
登録地 ····· 81, 82
道路形状案内 ····· 187
ドライブモード ····· 130
ドライブレコーダー ····· 219
ドラッグ ····· 20

な
ナビ設定 ····· 180

は
発着信履歴 ····· 162
番組表 ····· 130
ハンズフリー ····· 158, 216

ひ
ピンチアウト ····· 20
ピンチイン ····· 20

ふ
フリック ····· 20
プローブ情報アップリンク ····· 115

ほ
ホーム画面 ····· 33

ま
マップコード ····· 80

み
ミュート ····· 29, 30, 31, 45

め
メディア設定 ····· 169
メディアソース ····· 54

も
目的地 ····· 50
目的地検索 ····· 76
文字入力 ····· 78

ら
ラジオ ····· 120

り
履歴 ····· 79

る
ルート ····· 86, 91
ルート情報 ····· 87

わ
ワンタッチダイヤル ····· 161


SUZUKI